SONY

SONY

2-177-137-02(1)

トリニトロンデジタルテレビ　KD-28SR300/KD-32SR300

WEGA

トリニトロンデジタルテレビ取扱説明書

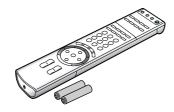
KD-28SR300
KD-32SR300

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

付属品

リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル
（1.5m）（1本）

モジュラーテレホンコード
カプラー（1個）

AVマウス（1.5m）（1本）

テレホンコード（10m）（1本）

B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）と
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙

取扱説明書

保証書

ソニーご相談窓口のご案内

ソニー用お客様ご登録カード

安全のために

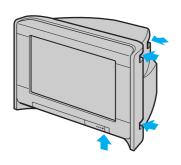
安全点検のおすすめ

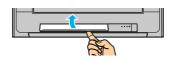
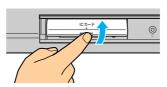
（各1部）

テレビを運ぶときのご注意

テレビを持ち運ぶときは、下の図の矢印部分（⬆）を必ず持ってください。それ以外の部分を持つと、設置時にテレビとスタンドの間に手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。持つところは、下の図のように片側4か所ずつあります。

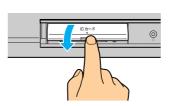
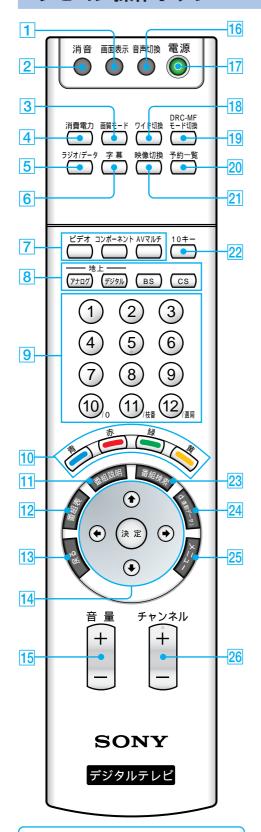
必ず2人以上で運んでください。

ブラウン管は、特に正面側が重いので、倒れないように充分注意してください。

付属のB-CAS（ビーキャス）カードについてのお願い

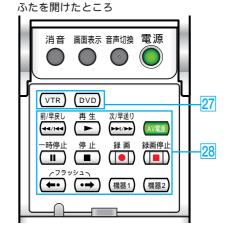
地上·BS·110度CSデジタル放送は著作権保護のため、付属のB-CASカードを本機に挿入していないと、視聴することができません。本機設置後まず、B-CASカードを挿入してください。詳しくは☞83ページをご覧ください。

本体前面パネルを開ける

ICカード挿入口のふたを開ける

台紙からカードをはがし、B-CASと書かれた面を上にして矢印の向きに奥までしっかり挿入する

ICカード挿入口のふたを閉める

開く

リモコン操作ボタン

このページを開いたままにして、ボタンの位置などを確認しながら本機を操作すると便利です。

ふたを開ける

ふたを開けたところ

1 画面表示ボタン ☞12ページ
2 消音ボタン ☞12ページ
3 画質モードボタン ☞65ページ
4 消費電力ボタン ☞11、64ページ
5 ラジオ/データボタン ☞20、24ページ
6 字幕ボタン ☞49ページ
7 入力切換ボタン ☞54、55ページ
    ビデオボタン
    コンポーネントボタン
    AVマルチボタン
8 放送切換ボタン ☞14、16、20、24、26ページ
9 数字ボタン* ☞12、58ページ
10 青/赤/緑/黄ボタン ☞22ページ
11 番組説明ボタン ☞27ページ
12 番組表ボタン ☞24ページ
13 戻るボタン ☞22ページ
14 ↑/↓/←/→選択・決定ボタン ☞3ページ
15 音量+/−ボタン ☞12ページ
16 音声切換ボタン* ☞73ページ
17 電源スイッチ ☞12ページ
18 ワイド切換ボタン ☞69ページ
19 DRC-MFモード切換ボタン ☞66ページ
20 予約一覧ボタン ☞43ページ
21 映像切換ボタン ☞48ページ
22 10キーボタン ☞16ページ
23 番組検索ボタン ☞26ページ
24 d（連動データ）ボタン ☞22ページ
25 メニューボタン ☞3ページ
26 チャンネル+/−ボタン* ☞12、14、16、20ページ
27 他機器選択ボタン ☞57ページ
    VTRボタン
    DVDボタン
28 他機器操作ボタン ☞57ページ

*の付いたボタンの上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

メニューを操作してみましょう

（例：デジタル放送専用メニューへの切り換え）

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

引き続き↑/↓で選び、決定ボタンを押して次の操作に進みます。

メニュー操作を終えるときは、メニューボタンを押すか、戻るボタンをくり返し押して、メニュー画面を消します。

テレビを見る

テレビを見るための基本的な操作方法とチャンネルの選びかたを説明しています

番組のいろいろな選びかた・探しかた

多くの番組の中から見たい番組を簡単に探したり、番組説明を見るための操作方法などを説明しています

番組を予約／録画する

デジタル放送の番組をテレビで予約して、接続機器に録画するための操作方法を説明しています

デジタル放送のその他の機能

デジタル放送特有の多彩な機能（マルチ放送、字幕放送、有料番組の購入、メール・ボードなど）について説明しています

テレビにつないだ機器の映像を見る

ビデオなどの接続機器の映像を見たり、テレビのリモコンで接続機器を操作する方法を説明しています

映像と音声

画質や音質、画面の位置やサイズの調整のしかたなどを説明しています

取扱説明書の中の画面イラストは、実際の画面と異なることがあります。メニュー画面で選べない項目は、テレビ画面上では薄く表示されます。

目次 — 準備編 — へ

次のページにつづく

テレビの接続と準備

テレビ設置時のご注意およびアンテナや電話回線のつなぎかた、チャンネル設定方法など、
テレビを見るための準備について説明しています

他機との接続

ビデオやDVDプレーヤー、ハードディスクレコーダーなど、お手持ちの機器の接続方法を説明しています

その他

テレビが正常に動かないときの解決法やお手入れ方法を説明しています
また用語集や索引などから知りたい情報を引き出すことができます

取扱説明書の中の画面イラストは、実際の画面と異なることがあります。メニュー画面で選べない項目は、テレビ画面上では薄く表示されます。

本機で楽しめるテレビ放送

本機では、次のテレビ放送をお楽しみいただけます。

既存のテレビ放送（地上アナログ放送）

現在放送されているテレビ放送です。

3種類のデジタル放送

地上デジタル放送

2003年12月より関東、中京、近畿の一部地域で本放送が開始された、受信無料のデジタル放送です。既存のテレビ放送（地上アナログ放送）がデジタル化され、より高画質でお楽しみいただけます。

BS*1デジタル放送

2000年12月に開始された、衛星を利用した受信無料（一部有料）のデジタル放送です。

*1 BSはBroadcasting（ブロードキャスティング） Satellite（サテライト）（放送衛星）の略です。

110度CS*2デジタル放送

2002年3月に開始された、衛星を利用した受信有料のデジタル放送です。

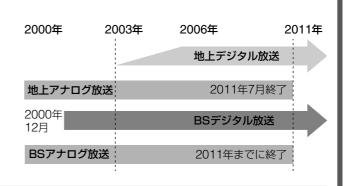
*2 CSはCommunications（コミュニケーションズ） Satellite（サテライト）（通信衛星）の略です。

デジタル放送とは？

地上デジタル放送について

アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。地上アナログ放送は2011年7月*3に、BSアナログ放送は2011年*3までに終了することが、国の方針として決定されています。

*3 2003年8月現在の情報です。

アンテナについて

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。
現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送を受信できます。
ただし、地上デジタル放送のチャンネルによってはアンテナなどの交換や調整が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信･視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

ケーブルテレビ（CATV）について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信･視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。送信方式について詳しくは、「地上デジタル放送ケーブルテレビ（CATV）パススルー対応方式について」（☞19ページ）をご覧ください。

デジタル放送

デジタル放送では、テレビ放送とは別にラジオ放送やデータ放送をお楽しみいただけます。

放送の種類	テレビ	ラジオ	データ
地上デジタル	○	—	○
BSデジタル	○	○	○
110度CSデジタル	○	○	○

デジタル化で大容量・高画質*4の情報発信

デジタル放送は、アナログ放送に比べ、映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルのテレビ放送、ラジオ放送、データ放送（双方向サービス）番組があります。

*4　デジタル放送の画質や画像方式、走査線について詳しくは、☞10ページをご覧ください。

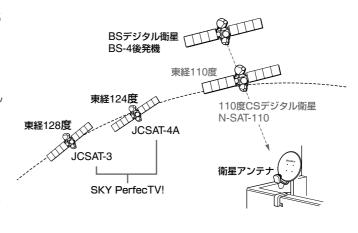
BS・110度CSの有料放送は受信契約が必要

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタル放送をご覧になるには、受信契約が必要です（☞109ページ）。
受信契約すれば、さまざまな放送やサービスが楽しめます。
詳しくは、各放送局、衛星サービス会社にお問い合わせください。

ちょっと一言
110度CSデジタルにも一部無料放送があります。このときは、受信契約は不要です。

BSと110度CSは同じアンテナや共同受信システムで受信可能

BSデジタル衛星（BS-4後発機）と110度CSデジタル衛星（N-SAT-110）は同じ東経110度の方角にあり、送信方式も同じ円偏波のため1つのアンテナや共同受信システムで受信できます。
ただし、110度CSに衛星アンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および共同受信システムが対応している必要があります。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

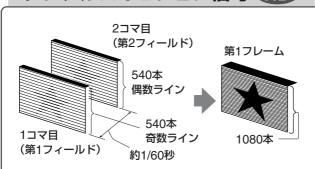
ちょっと一言
従来からあるデジタルCS放送（SKY PerfecTV!）は、図のように、BSデジタル衛星と異なる経度に2つあり、送信方式もBSと異なる水平/垂直偏波（偏波面電圧切換方式）のため、専用のCSアンテナとデジタルCSチューナーが別に必要です。

B-CASカードについて

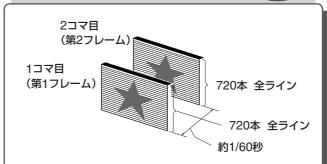
デジタル放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

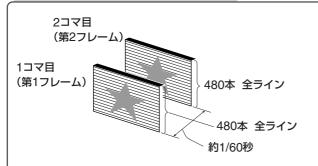
- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。
  B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できなくなります。
- 2004年4月からデジタル放送には、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。詳しくは、「録画制約について」（☞45ページ）および録画機器の取扱説明書をご覧ください。

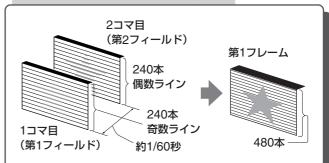
デジタル放送の画質について

デジタル放送には、高画質のデジタルハイビジョン信号HDと、地上アナログと同等の画質の標準テレビ信号SDの2種類があります。
それぞれの放送に2つずつ、以下のように**全部で4種類の画像方式があります。**
本機では、すべての画像方式を受信できますが、高画質のデジタルハイビジョン信号HDは、525P（480P）の信号に変換して表示します。

1125i（1080i）の デジタルハイビジョン信号 HD

1125本（1080本）の走査線*1を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*1）画像方式。
本機では、525P（480P）の信号に変換して表示します。

750p（720p）の デジタルハイビジョン信号 HD

750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*1）画像方式。
画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。
本機では、525P（480P）の信号に変換して表示します。

525p（480p）の 標準テレビ信号 SD

525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*1）画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

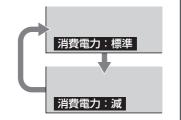
525i（480i）の 標準テレビ信号 SD

525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*1）画像方式。地上アナログやBSアナログと同等の解像度です。

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*1で数えたときの別称です。
*1　の詳しい説明は、用語集（☞154ページ）をご覧ください。

本機の省エネ対応について

本機では、通常時の消費電力量を、設定によって抑えたり、しばらく何も操作をしなかったときに自動で電源が切れるようにするなど、省エネに対応しています。

消費電力（リモコン）（☞64ページ）

リモコンの消費電力ボタン（☞64ページ）を押すたびに、右のように切り換わり、消費電力を軽減できます。
また、メニューの「消費電力減レベル」*2を設定すれば（☞64ページ）、更に消費電力を抑えられます。

*2 **メニューから**
「（各種切換）」→「消費電力減レベル」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

オートシャットオフ*3

約9分間、無信号状態が続くと、「オートシャットオフ」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイになります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。

*3 アナログ放送のときのみ働きます。

無操作電源オフ（☞64ページ）

メニューの「無操作電源オフ」*4を「1時間」または「2時間」、「3時間」に設定すると、チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、「無操作電源オフにより、まもなく電源が切れます」と表示され、その1分後に電源が自動で切れます。お買い上げ時の設定は、「切」になっています。

*4 **メニューから**
「（各種切換）」→「無操作電源オフ」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

オフタイマー（☞13ページ）

見ている番組の終了時刻などに合わせて、自動的にテレビの電源を切るように設定できます。設定できる時間は30分、60分、90分、120分です。設定した時間が過ぎると、「オフタイマーによりまもなく電源が切れます」と表示されたあと、自動的に電源が切れ、電源スタンバイになります。

テレビを見るときの基本操作

一時的に音を消す

電話がかかってきたときなど、テレビの音量が気になるときに押すだけで音を消せます。

消音

押す。
（もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出る。）

チャンネル番号などを確認する

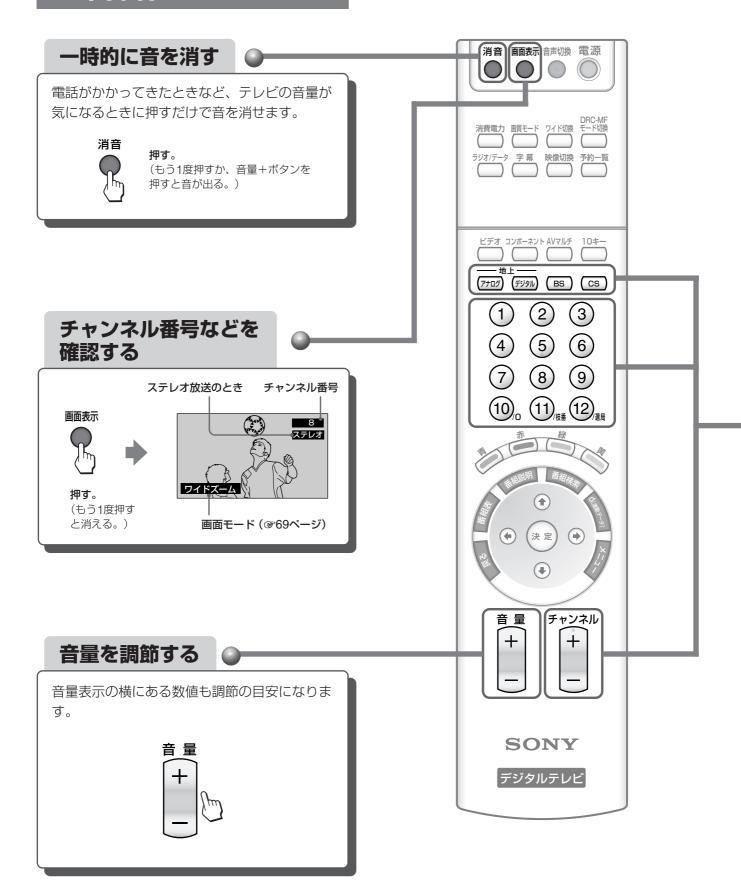
画面表示

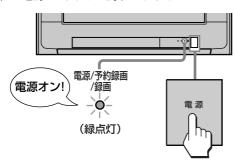
押す。
（もう1度押すと消える。）

ステレオ放送のとき
チャンネル番号
8
ステレオ
ワイドズーム
画面モード（☞69ページ）

音量を調節する

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

音 量

リモコンで電源が入らないときは

本体の電源スイッチを押します。

電源が入ると、地磁気*などの影響を取り除く自動消磁機能により「ブーン」という音がして、きれいに安定した映像が10秒前後で映ります。

* 地球が1つの大きな磁石となって発生する磁場で、方位磁石が南北を示すのも地磁気によるものです。色むらの原因になることがあります。

選局用のボタンで電源も入れる［チャンネルポン］

地上アナログボタン、地上デジタルボタン、BSボタン、CSボタン、①～⑫の数字ボタンとチャンネル+/−ボタンは、電源スタンバイ中（スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯）に押せば、電源スイッチを押さなくても自動的に電源が入ります。

自動で電源を切る［オフタイマー］

本機をつけたままでも、設定した時間（30分、60分、90分または120分）が過ぎると、自動的に電源が切れ、電源スタンバイ（スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯）になります。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

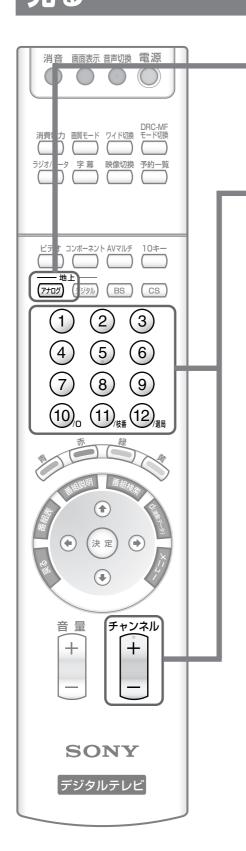
2 **↑/↓で「（各種切換）」を選んで、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「オフタイマー」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で設定したい時間を選んで、決定ボタンを押す。**
本機前面のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ちょっと一言
電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。

地上アナログ放送を見る

地上アナログ放送に切り換える

チャンネルを選局する

地上アナログボタンを押して放送を切り換えたあと、以下の方法で選局します。

ダイレクト選局

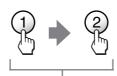
または

ちょっと一言

- ①〜⑫ボタンにお好きなチャンネルを登録できます（「地上アナログのチャンネルを手動設定する」☞97ページ）。
- ダイレクト選局時にチャンネル+/−ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます（「放送のないチャンネルをとばすには」☞99ページ）。

10キー選局

例：12チャンネルを選局するとき

選局方法を「10キー」に切り換えておく（☞15ページ）。

押せばすぐに切り換わり、押さなくても約3秒後に切り換わる。

十の位から順に押す。

ちょっと一言

- 番号が1桁のチャンネルを選局するときは、十の位を省略して入力することもできます。

  例：1チャンネルを選局するとき

  ① → ⑫

- 10キー選局時にチャンネル+/−ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます（「10キー選局のとき、順送りで選べるチャンネルを変更する」☞15ページ）。

ご注意

リモコンの10キーボタンは地上アナログ放送のときには使えません。

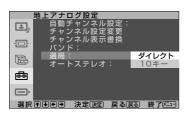
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］

お買い上げ時は、リモコンの数字ボタンを直接押してチャンネルを選ぶ「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」で選べるチャンネル数は最大12局です。そのためケーブルテレビなど受信しているチャンネルの数が12局を越えるときは、チャンネル番号の数字をリモコンボタンで十の位、一の位の順に押して選ぶ「10キー選局」に変えると便利です。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「地上アナログ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「選局」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「10キー」を選んで、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビのときは、手順3のあとに下記の操作をしてください。
  1 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順4以降を行う。
- 地上アナログのチャンネルを自動設定する（☞96ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。

10キー選局のとき、順送りで選べるチャンネルを変更する

チャンネル+/−ボタンで順送りで選局するときに、放送のないチャンネルをとばすように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「地上アナログ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「チャンネル+/−登録」欄を「−−」に変更して、決定ボタンを押す。

例：7チャンネルをとばすときは、ここを「– –」に変える。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

「数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］」の手順5で「ダイレクト」を選ぶ。

地上・BS・110度CS デジタル放送を見る

デジタル放送に切り換える

見たいデジタル放送のボタンを押します。

地上 アナログ デジタル または BS または CS

押すたびに、110度CSデジタルの衛星サービスが切り換わる。

チャンネルを選局する

ご覧になりたいデジタル放送のボタンを押して放送を切り換えたあと、以下の3通りの方法のうちいずれかで選局します。

ご注意

地上デジタル放送については、あらかじめチャンネルスキャンを行ってください（☞102ページ）。

ダイレクト選局

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11/枝番 12/選局

ちょっと一言

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル（CS1、CS2）の、それぞれの放送ごとに①〜⑫ボタンにお好きなチャンネルを登録できます（☞104、109ページ）。

順送り選局

チャンネル ＋ －

押し続けると、画面に表示されているチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映る。
放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）の中で順送りされる。

ちょっと一言

放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）を切り換えるときは、ラジオ/データボタンを押してください。

10キー選局

10キーボタンのあと、数字ボタンでチャンネル番号を押します。

例：102チャンネルを選局するとき

10キー → 1 → 10/0 → 2 → 12/選局

百の位から順に押す。

押せばすぐに切り換わり、押さなくても約3秒後に切り換わる。

他の方法で番組を選ぶには

番組表（☞24ページ）
番組検索（☞26ページ）

見ているチャンネルの番号など、情報を確認する

見ている番組の情報や、チャンネルなどを確認できます。

簡易番組説明について

「簡易番組説明入/切」を「入」に設定しておくと、画面表示ボタンを押したときに、見ている番組の放送時間やあらすじも表示します。
詳しい番組説明や、放送予定の番組の説明を見るときは、「番組説明を見る」（☞27ページ）をご覧ください。

簡易番組説明を表示するには

メニューから

「▭（メニュー切換）」→「表示設定」→「簡易番組説明入/切」→「入」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

「暗証番号入力」画面が表示されます。①〜⑩までの数字ボタンまたは↑/↓で4桁の暗証番号（☞117ページ）を入力してください。

番組購入画面が出たときは

ペイ･パー･ビュー（PPV）番組のため、視聴するには別途料金がかかります（☞50ページ）。購入するときは、画面の指示に従って、購入手続きを行ってください。

ちょっと一言

デジタル放送のPPV番組の先月分と今月分の購入金額の概算を確認できます（☞52ページ）。

次のページにつづく

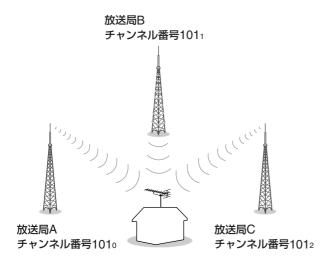
地上・BS・110度CSデジタル放送を見る（つづき）

地上デジタル放送のチャンネル番号の枝番について

枝番とは？

お住まいの地域によって複数地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重なることがあります。枝番とは、このようなときに区別するために、3桁のチャンネル番号のあとにつく番号です。本機では、一番小さい枝番のついているチャンネルは、枝番を表示しません。

例：101チャンネルを3つの放送局で使用する場合

「0」～「2」または「1」～「3」の枝番が割り当てられます。

放送局C
チャンネル番号101_2

放送局B
チャンネル番号101_1

放送局A
チャンネル番号101_0

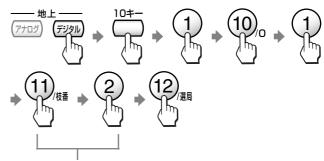
地上デジタル テレビ 101

地上デジタル テレビ 101_1

地上デジタル テレビ 101_2

本機では、最も小さい枝番は表示されない。

枝番がついている3桁のチャンネル番号で選局するには

例：101_2チャンネルを選局するとき

⑪を押したあとで、枝番を入力する。

チャンネル＋/－ボタンで順送り選局するには

チャンネル＋/－ボタンを押すたびに、下記のように切り換わります。

例：チャンネル011と013に枝番がある場合

…「011」→「012」→「013」→「011_1」→「013_1」→「021」…

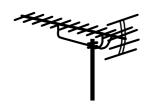
地上デジタルが受信できないときは

地上デジタルは2003年12月から一部の地域で放送が開始されています。その後、受信できる地域は徐々に増えていきますので、お住まいの地域が地上デジタルを受信できる地域かどうかをご確認ください。
また、受信できる地域でも地上波アンテナの調整が必要な場合があります。
お買い上げ店などにご相談ください。

アンテナについて

地上デジタルを受信するためには、地上デジタル対応のUHFアンテナをつなぐ必要があります。現在、使用しているアンテナが地上デジタル対応であれば、アンテナを変えることなく、そのまま受信できます。ただし、地域によっては、地上デジタルの送信塔の方向が現在受信している地上アナログと異なることもあり、その場合は、アンテナの向きを変える必要があります。

また、VHFアンテナでは地上デジタルを受信できません。地上アナログ受信用のアンテナ（VHFアンテナ）とは別に、地上デジタル受信用のアンテナ（UHFアンテナ）をお使いになるときは、VHFとUHFを混合する必要があります。詳しくは、お買い上げ店などにご相談ください。

UHFアンテナ
地上デジタルを受信できます。

VHFアンテナ
地上デジタルを受信できません。

地上デジタル放送ケーブルテレビ（CATV）パススルー対応方式について

ケーブルテレビでは、地上デジタル放送を伝送する方式として、同一周波数パススルー方式や周波数変換パススルー方式、トランスモジュレーション方式があります。どの伝送方式でサービスがされるかは、ケーブルテレビ放送会社により異なりますので、詳しくは、お住まいの地域のケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

なお、本機は同一周波数パススルー方式、および周波数変換パススルー方式ともに、すべての周波数に対応しています。

送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。変換後の周波数がUHF帯以外の帯域の場合は、UHF帯以外の帯域まで受信範囲が拡大されている地上デジタル放送対応テレビまたは、外付けの地上デジタル放送対応チューナーが必要です。
周波数変換パススルー方式	受信した地上デジタル放送波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。
トランスモジュレーション方式	受信した地上デジタル放送波を、ケーブルテレビに適した変調方式に変換して伝送する方式。ケーブルテレビ専用のSTB（セットトップボックス）をつなぐことにより、地上デジタルチューナーがないテレビでも受信が可能です。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

ラジオ/データ放送を楽しむ

デジタル放送にはテレビの他に、ラジオ放送とデータ放送があります。

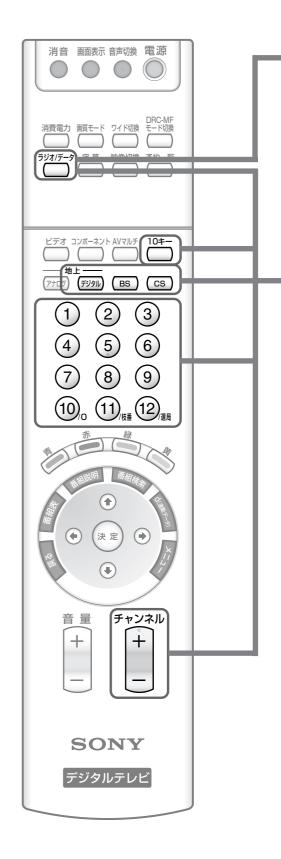
ラジオ放送

映像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。

データ放送

データのみを専門に放送する独立データ放送と、デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる連動データ放送があります。

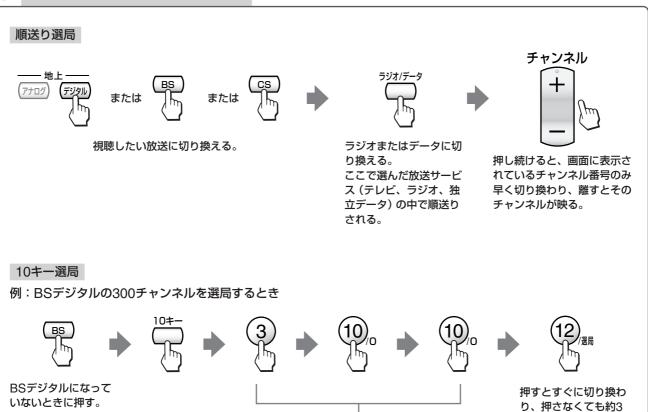
様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しんだりできます。

ここでは、独立データ放送を楽しむための操作について説明しています。

ラジオ、データ放送に切り換える

デジタル放送を見ているときに切り換わります。

押すたびに次のように切り換わる。

テレビ→ラジオ→独立データ

チャンネルを選局する

ちょっと一言

- 連動データはテレビ、ラジオの番組を視聴中にd（連動データ）ボタンを押して切り換えます（☞22ページ）。連動データのない番組では、切り換わりません。
- ①～⑫選局の数字ボタンにラジオや独立データのチャンネルを登録しておけば、数字ボタンを押すだけで切り換えられます。詳しくは、「BS･110度CSデジタルの登録チャンネルを変更する」（☞109ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

データ放送を楽しむ

データ放送の画面で何かを選んだり入力したりするときは

詳しくは、画面の指示に従って、リモコンを操作してください。

色で選ぶとき

数字を入力するとき

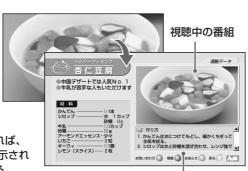
選んで決定するとき

前に戻るとき

連動データ放送に切り換えるには

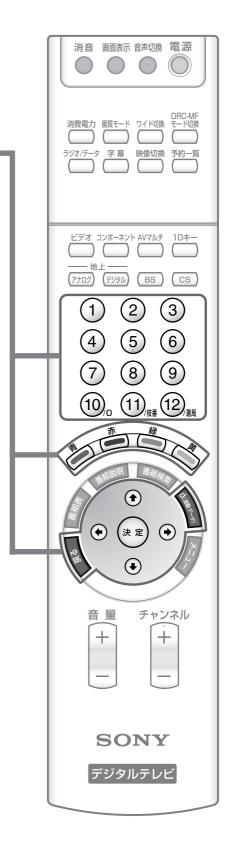
連動データ放送は、デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動しているデータ放送です。

押す。

データ放送が行われていれば、「データ取得中です」と表示されたあと、画面が切り換わる。

ご注意

連動データ放送は、チャンネル+/−ボタンや、数字ボタン、ラジオ/データボタンでは選べません。

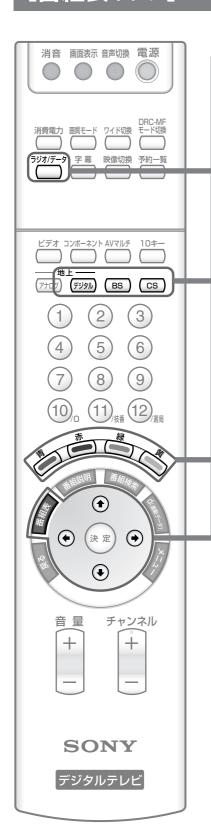
ちょっと一言

- データ放送の文字や記号の入力で、ソフトウェアキーボードを使えるときは、自動的にソフトウェアキーボードが表示されます。
- 終了する場合も、画面の指示に従ってください。d（連動データ）ボタンや戻るボタンで終了できる場合もあります。

データ放送の番組を楽しむときは

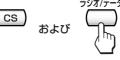
- あらかじめ電話回線の接続（☞90ページ）と設定（☞110ページ）を行ってください。
- 番組によっては、デジタル放送のデータ番組が自動的に画面に表示されることがあります。
- リモコンや本体のボタンは、デジタル放送のデータ番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。番組の指示に従ってください。
- デジタル放送のデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本機前面の通信ランプが点灯）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、通話料がかかる場合があります。

番組表を見る [番組表ボタン]

デジタル放送では、放送局が送信する番組情報を元に、番組表（EPG*）を約1週間先まで見ることができます。番組表にはチャンネル別と時刻別の2種類があります。

* EPGは、電子番組表（Electronic Program Guide（エレクトロニック・プログラム・ガイド））の略です。

番組表を表示する

番組表を見たいデジタル放送および放送サービスに切り換えて、番組表ボタンを押します。

および

テレビ放送の番組表を見るなら不要

押す。（もう1度押すと消える。）

番組表ボタンを押すと、チャンネル別、時刻別番組表のうち、前回最後に選んでいた方の番組表になります。

番組表にはチャンネル別と時刻別の2種類があります。

番組表を表示中に

押す。（押すたびにチャンネル別番組表と時刻別番組表が切り換わる。）

ご注意

地上アナログの番組表（EPG）信号には対応していないため、地上アナログの番組表はありません。

他の方法でも表示できます

メニューから

「（メニュー切換）」→「番組表·予約」→「チャンネル別番組表」または「時刻別番組表」を選ぶ。

選びかたは☞3ページをご覧ください。

番組表から1つを選び、決定ボタンを押すと...

現在放送中の別のチャンネルの番組を選んだとき

チャンネルが切り換わる。

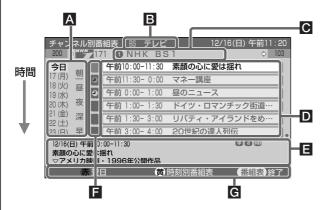
今まで見ていた番組と、放送開始前の番組を選んだとき

番組説明画面に切り換わる。

☞27ページ

番組表の見かた

チャンネル別番組表

現在放送中の番組から放送時刻順に表示されます。←/→でチャンネルを切り換えます。見たい番組が放送されるチャンネルがわかっているときに便利です。

時刻別番組表

現在放送中の番組からチャンネル番号順に表示されます。←/→で時間帯や日付を切り換えられます。いつ見るか予定が決まっているときなどに便利です。

ご注意

複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送（イベント共有）しているときは、代表チャンネルのみ表示されます。

ちょっと一言

地上デジタルはチャンネル番号順に表示されないことがあります。そのときは、緑ボタンを押して番組情報を取得してください。番組情報取得には時間がかかることがあります。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

A 日付と時間帯

B 放送と放送サービス
地上D、BS、CS：放送と、
テレビ、ラジオ、データ：放送サービス
の組み合わせで表示されます。

C チャンネル表示欄
現在、番組表に表示中のチャンネル。←/→で、番組表に表示したいチャンネルを選べます。
❶～⓬が表示されているのは、数字ボタンでダイレクト選局（☞16、20ページ）できるチャンネルです。

D 番組一覧
放送時間と番組名が表示されます。
現在の時間は青く表示されます。

E カーソルで選ばれている番組の情報

表示マークの意味

- 字：字幕放送（☞49ページ）
- d：テレビやラジオと連動しているデータ放送（☞20ページ）
- MV：マルチビュー放送（☞48ページ）
- HD：デジタルハイビジョン信号 HD（☞10ページ）
- SD：標準テレビ信号 SD（☞10ページ）
- R：視聴年齢制限付き番組（☞17、117ページ）
- ¥：ペイ・パー・ビュー（PPV）など有料番組（☞50ページ）

ちょっと一言

MV、HDまたはSDは同じ場所に表示されるため、いずれか1つが表示されます。

他に、放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

- 二：二か国語放送（☞73ページ）
- S：ステレオ放送（☞76ページ）
- 字：字幕放送（☞49ページ）
- B：圧縮Bモードステレオ放送（☞76ページ）
- N：ニュース番組

F 予約の状態
（赤）：録画予約した番組（☞37、42ページ）
（青）：視聴予約した番組（☞37ページ）
|（ピンク）：すでに予約されている別の番組と放送時間が重なる番組
他のチャンネルで同じ時間帯に予約があるときに表示します。

G 操作ガイド表示欄
番組表を表示中にリモコンのカラーボタンを使ってできることをガイド表示します。
- 青：前日へ切り換えます。
- 赤：翌日へ切り換えます。
- 緑：番組情報を取得します（地上デジタルのみ）。
- 黄：時刻別番組表に切り換えます。もう1度押すと、チャンネル別番組表に戻ります。

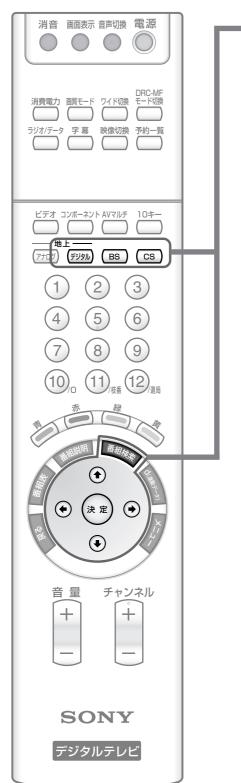
H 時間帯表示欄
現在番組表に表示中の時間帯。
←/→で、番組表に表示したい時間帯を1時間ごとに選べます。

I 日付表示欄
現在番組表に表示中の日付。
←/→で、番組表に表示したい日付を選べます。

J カーソル（選ばれている番組）

K チャンネル

見たい番組を探す
[番組検索ボタン]

デジタル放送では番組検索ボタンで、お好みのジャンル（分野やテーマ）から見たい番組を探せます。

番組を検索する

デジタル放送に切り換えて、番組検索ボタンを押すと、ジャンルから番組を検索できます。

地上 アナログ デジタル BS CS → 番組検索 押す。（もう1度押すと消える。）

よく見るジャンルから番組を絞り込んで探せます。
「ニュース/報道」を選ぶと、ニュース番組が一覧できます。

↑/↓で選んで決定ボタンを押す。

ご注意

データ放送やラジオ放送は番組検索できません。

他の方法でも選べます
メニューから
「(メニュー切換)」→「番組表･予約」→「番組検索」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ジャンル検索とは
ジャンルを絞って探し出すことで、検索するとそのジャンルに属する番組が一覧できます。デジタル放送の番組は複数のジャンルに属していることがあります。

検索結果から番組を選んで、決定ボタンを押すと...

番組説明画面に切り換わる。
☞27ページ

番組説明を見る
[番組説明ボタン]

地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタル放送の番組の、番組名やあらすじ、出演者、映像/音声情報、ジャンルなど詳しい情報を見ることができます。

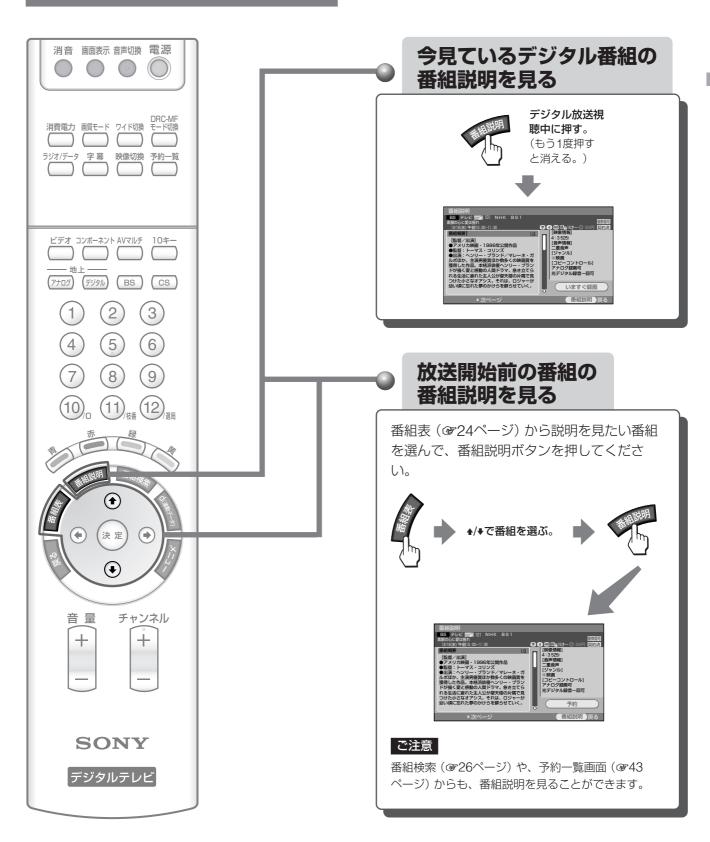
今見ているデジタル番組の番組説明を見る

デジタル放送視聴中に押す。
（もう1度押すと消える。）

放送開始前の番組の番組説明を見る

番組表（☞24ページ）から説明を見たい番組を選んで、番組説明ボタンを押してください。

ご注意

番組検索（☞26ページ）や、予約一覧画面（☞43ページ）からも、番組説明を見ることができます。

次のページにつづく

番組説明を見る［番組説明ボタン］（つづき）

番組説明の見かた

下記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

現在放送中の番組の番組説明

番組の状況

マーク（☞29ページ）

番組情報欄
「映像情報」（☞10ページ）
「音声情報」（☞76ページ）
「ジャンル」（☞26ページ）
「コピーコントロール」（☞45ページ）：
録画や録音についての情報

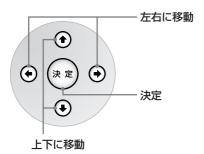
番組内容表示欄
↑/↓でページをスクロールします。
1/3は3ページ中の1ページ目の意味です。

「いますぐ録画」または「選局」（☞42ページ）：
「いますぐ録画」設定画面を表示します。
また、今まで見ていなかった番組ならそのまま選局します。

放送開始前の番組の番組説明

放送開始前の番組の番組説明は、番組表（☞24ページ）や検索結果画面（☞26ページ）、予約一覧画面（☞43ページ）で放送開始前の番組を選ぶと表示されます。

「予約」または「予約変更/取消」（☞37、44ページ）：
「予約」設定画面を表示します。すでに予約しているときは、予約を取り消せます。

画面上のボタンや項目を選ぶには
↑/↓/←/→で選んで、決定ボタンを押します。

番組説明からできること

番組説明画面右下のボタンを選んで、次のようなことができます。番組の予約について詳しくは、☞30、37ページをご覧ください。

ボタン/項目	できること
「いますぐ録画」*1	視聴中の番組の録画に進めます（☞42ページ）。
「選局」*2	選局した番組に切り換わります。
「予約」	録画予約や視聴予約に進めます（☞37ページ）。
「予約変更/取消」	すでに予約済みの番組のときは「予約」のかわりに「予約変更/取消」が表示されます。番組の予約を変更したり、取り消すことができます。

*1 視聴中の番組の番組説明でのみ表示されます。
*2 現在選局していない放送中の番組の番組説明でのみ表示されます。

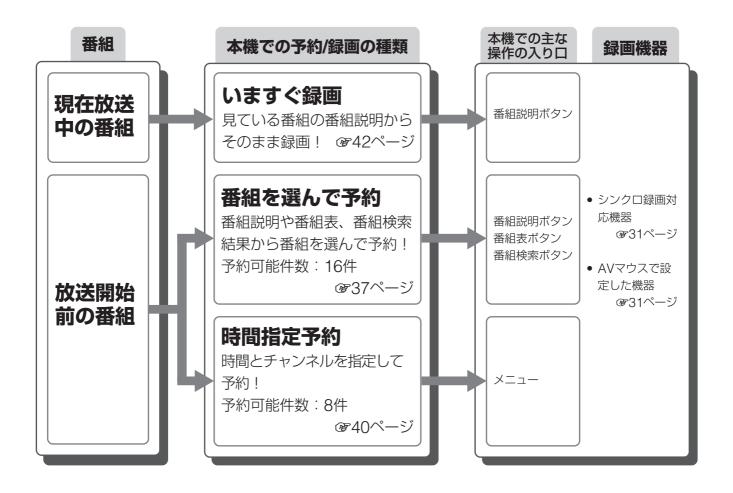
表示マークの意味

字：字幕のある放送（☞49ページ）
d：テレビやラジオと連動しているデータ放送（☞20ページ）
MV：マルチビュー放送（☞48ページ）
HD：デジタルハイビジョン信号HD（☞10ページ）
SD：標準テレビ信号SD（☞10ページ）
R🔒：視聴年齢制限付き番組（☞17、117ページ）
¥XXX円：ペイ・パー・ビュー（PPV）など有料番組（☞50ページ）と料金
（赤）：録画予約した番組（☞37、39ページ）
（青）：視聴予約した番組（☞37ページ）
複数信号：第2映像など複数の映像/音声信号がある番組
契約済/未契約：放送事業者との契約が済んでいるかどうか（☞109ページ）

ちょっと一言

- MV、HDまたはSDは同じ場所に表示されるため、いずれか1つが表示されます。
- （赤）と（青）は、すでに予約済の番組の番組説明でのみ表示されます。

デジタル放送の録画について

お手持ちの録画機器によって、録画予約のしかたが異なります。
本機では、デジタル放送の高画質･高音質での**デジタル録画やアナログ放送の録画予約には対応していません。**

録画するための準備

録画する機器をつなぐ

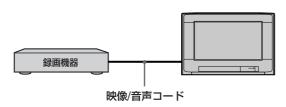
本機に正しくつなぎ、必要な設定を行ってください。

録画する機器の準備をする

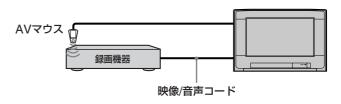
シンクロ録画機能を使う

お手持ちの録画機器がシンクロ録画機能に対応していれば、本機でデジタル放送を録画予約して、録画することができます。
シンクロ録画とは、本機で録画予約した信号が録画機器の入力端子に入力されると、録画機器側で自動で録画を開始する機能です。
シンクロ録画機能があるDVDレコーダーやビデオデッキなどの録画機器の入力端子と、本機のデジタル放送/ビデオ出力端子をつないでください。また、シンクロ録画の設定（☞33ページ）を行ってください。
ソニー製HDD搭載DVDレコーダー（スゴ録）は、シンクロ録画に対応しています。

* RDR-HX10/RDR-HX8/RDR-HX6(2004年8月現在)

シンクロ録画対応機器

AVマウスで録画する

お手持ちの録画機器にシンクロ録画機能がなくても、AVマウスをつなぎ、本機でデジタル放送を録画予約して、録画することができます。
AVマウスを使うと、本機で録画予約した情報をリモコン信号として自動で送信できるので、録画機器側で予約設定しなくてもいいので便利です。
AVマウスを本機につないで録画機器に取り付けてください。また、AVマウスの設定（☞34ページ）を行ってください。

録画機器とAVマウス

ご注意

AVマウスの接続テストがうまくいかなかったときや、AVマウスを使えないときは、AVマウスをつながないでください。

録画機器の予約機能を使う

シンクロ録画機能やAVマウスが使えないとき、AVマウスの接続テスト（☞34ページ）がうまくいかなかったときは、録画機器の予約機能を使って録画してください。
まず本機で予約の設定を行い、録画機器側で、予約した時刻に本機をつないだ入力から録画できるように設定してください。
なお、予約した番組の放送時刻などの変更には対応できません。

次のページにつづく

あらかじめ二重音声番組の音声を選ぶ

本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子から出力する音声はあらかじめ選んだ音声に固定されます。設定を変更しない限り、すべての二重音声番組が選んだ音声で録画されます。
録画中は音声切換ボタンを押しても、スピーカーから出る音声を変えられません。
お買い上げ時は、主音声が記録されるように設定されています。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「▭（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「予約設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「二重音声設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で「主」、「副」または「主/副」を選んで、決定ボタンを押す。**
設定を変更しない限り、すべての二重音声番組が選んだ音声で録画されます。

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

放送時間などの変更に対応して予約する

予約した番組に次のような変更があったとき、放送局が送信する放映時刻情報を本機が検知して、その変更に合わせて予約が実行されるように設定できます。
－開始時刻がくり下がったとき
　例：野球中継の延長などで開始時刻がくり下がったとき
－放送時間内に終わらず、引き続き他のチャンネルで放送するとき（イベントリレー）
お買い上げ時は、放送時間などの変更に対応するように設定されています。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「▭（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「予約設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「流動編成・イベントリレー対応設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で「する」を選んで、決定ボタンを押す。**

「しない」を選ぶと
番組編成に変更があったときは、予約が取り消されることがあります。

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意
- 以下のときは、放送時間などの変更に対応しません。
  - 放送局が放映時刻情報を送信しない番組のとき
  - AVマウスやシンクロ録画機能を使わず、録画機器の予約機能を使って録画するとき（☞31ページ）
  - 予約した番組が予定より早く始まったとき（早まった時間は、録画されません。）
- 「する」を選び、録画時間が変更されて、次の予約番組と時間が重複したときは、前の番組が番組終了まで録画され、次の番組の予約は自動的に取り消されます。放送時間変更などに影響されないように次の番組を予約したいときは、「予約保護」を「入」にしてください（☞37ページ）。

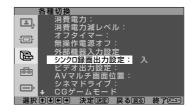
シンクロ録画の設定をする

あらかじめシンクロ録画に対応した録画機器の接続と設定をしておく必要があります。
シンクロ録画に対応した録画機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ♦/♦で「(各種切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ♦/♦で「シンクロ録画出力設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ♦/♦で「入」または「切」を選んで、決定ボタンを押す。

「入」にすると*予約開始の3分前から本機のデジタル放送/ビデオ出力端子より映像音声信号が出力されます。
「切」にすると、常に現在見ている映像音声信号が本機のデジタル放送/ビデオ出力端子より出力されます。

* 連続した複数の番組を予約しているときは、連続して映像音声信号が出力されるため、1つの番組として録画されることがあります。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

本機のデジタル放送/ビデオ出力端子から出力される映像信号を録画機器が検知して録画を開始します。

ご注意

モニターとして本機を使ってダビングを行うときは、シンクロ録画出力設定を「切」にしてください。

次のページにつづく

AVマウスを設定する

本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子に録画機器をつないで、デジタル放送を予約録画するときは、AVマウスをつないで、設定しておく必要があります。

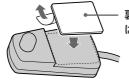
AVマウスは、本機と連動して録画機器で予約録画できるように信号を出します。そのため、AVマウスから発信される信号を、お手持ちのビデオやDVDレコーダー、ハードディスクレコーダーなどのリモコンコードに合わせて設定します。

ご注意

- 次のときはAVマウスは使えないため、取り付ける必要はありません。お手持ちの録画機器の予約機能を使って予約録画してください（☞31ページ）。
  - ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど）のとき
  - AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。）
  - 電源スイッチが入/切の2つの状態切換でなく、入/スタンバイ/切など3つの状態切換になる録画機器のとき
- AVマウスが使えないときは、はずしておいてください。
- 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの予約録画（☞37、40、42ページ）がうまくいかないことがあります。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

1 AVマウスを準備する。

1 AVマウスに付属のシールを貼る。

AVマウスに付属のシールのかわりに、市販の両面テープも使えます。

2 AVマウスを本機後面のAVマウス端子につなぐ。

接続のしかたについて詳しくは、「他機との接続」（☞122ページ）をご覧ください。

3 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

録画機器の取扱説明書で録画機器のリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

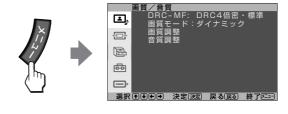
- AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
- 取り付け位置によっては、動作しにくい録画機器があります。できるだけ受光部に近い位置に取り付けてください。

ちょっと一言

- AVマウスが録画機器に届かないときは、別売りの接続コード RK-G131（3m）で延長してください。
- ソニー製録画機器のリモコン受光部にはⓇマークが付いています。

4 録画機器の電源を切っておく。

2 リモコンコードを設定する。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「予約設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「AVマウス設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓/←/→でお使いの録画機器のメーカー名を選んで、決定ボタンを押す。

「ソニー」以外のメーカーを選んだときは、手順2-**8**に進んでください。

例：ソニーを選んだとき

7 ↑/↓/←/→でお使いの録画機器の種類を選んで、決定ボタンを押す。

例：ソニー製のビデオを選んだとき

録画機器の種類

項目	説明
VTR	ビデオ
DVD･VTR*1	DVD一体型ビデオ
HDD*1	ハードディスクレコーダー
HDD･DVD	ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機*2
DVD（1）*1 DVD（2）*1	DVDレコーダー （ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機*2）

*1 手順2-**6**で「ソニー」を選んだときのみ表示されます。

*2 ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機を設定するとき、「HDD･DVD」で設定しても操作できないときは、「DVD（1）」または「DVD（2）」で設定してください。

8 「リモコンコード」欄が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓でリモコンコードを選んで、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

録画するための準備（つづき）

「ソニー（VTR）」を登録するときと、ソニー以外のメーカーの録画機器を登録するときは、手順4に進んでください。

ちょっと一言
お買い上げ時は、ソニー（VTR）の3を操作できるように設定されています。

リモコンコード表

メーカー	リモコンコード
ソニー（VTR）	1　2　3*3 4　5　6
ソニー（DVD·VTR）	1*3
ソニー（HDD）	1*3　2　3
ソニー（HDD·DVD）	1*3
ソニー（DVD（1））	1*3　2　3
ソニー（DVD（2））	1*3　2　3
松下（VTR）	1*3　2　3　4　5
東芝（VTR）	1*3　2　3　4
日立（VTR）	1*3　2　3
三菱（VTR）	1*3　2　3　4
日本ビクター（VTR）	1*3　2　3　4　5　6
サンヨー（VTR）	1*3　2　3　4
アイワ（VTR）*4	1*3　2　3　4
シャープ（VTR）	1*3　2　3
NEC（VTR）	1*3　2　3　4
フナイ（VTR）	1*3

*3　お買い上げ時の設定。
*4　アイワ（VTR）のリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニー（VTR）のリモコンコードを登録してください。

ご注意
お使いの録画機器によってはリモコンコードが設定できないことがあります。

3 録画機器の入力を設定する。

手順2-6で「ソニー」を選び、手順2-7で「HDD」または「HDD·DVD」、「DVD（1）」を選んだときのみ設定します。

1 ↑/↓で「入力」を選んで、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓で「入力1」～「入力3」*5のいずれかを選んで、決定ボタンを押す。

本機をつないだ入力を選んでください。
予約録画開始時に自動的に入力も切り換わります。

*5　手順2-7で「HDD·DVD」を選んだときは、「入力3」は表示されません。

4 動作テストをする。

1 ↑/↓で「電源オン／オフ」を選んで、決定ボタンを押す。

AVマウスの動作テストが始まります。

録画機器の電源が自動的に入れば、テストは完了です。手順4-3に進んでください。電源が入らないときは、手順1-3でAVマウスの位置を再確認してから、もう1度手順4-1を行ってください。

2 ビデオにリモコンコードが2個以上あるときは、手順2-8～4-1をくり返して、録画機器を操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

ちょっと一言
手順2-9で選んだリモコンコードと録画機器のリモコンコードを合わせてください。そのリモコンコードで操作できないときは、本機と録画機器のリモコンコードを変えてください。本機と録画機器のリモコンコードが異なっていても、操作できる場合があります。

3 「電源オン／オフ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

録画機器の電源が切れます。

4 ➡で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

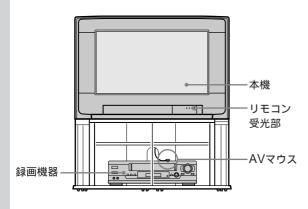
5 AVマウスを固定する。

1 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。

2 手順1-3で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。

無料番組などで予約録画できることを、もう1度確かめてから、ご使用になることをおすすめします。

ご注意

録画機器にほこりが付いていると、きちんと固定できません。録画機器のほこりを取り除いてからAVマウスを固定してください。

ご注意

複合機器をつないでいるときは、予約録画する前に、複合機器側で録画する機器を選んでおいてください。

放送開始前の番組を予約する

見たい番組を選んで予約する

デジタル放送の番組表や番組検索から、見たい番組を選ぶだけで、簡単に視聴予約および録画予約ができます。16**番組の予約が可能です。**

1 予約したい番組を選ぶ。

1 番組表ボタンを押す。

番組表が表示されます。番組表について詳しくは、☞24ページをご覧ください。

他の方法でも表示できます

メニューから

「(メニュー切換)」→「番組表・予約」→「チャンネル別番組表」または「時刻別番組表」を選ぶ。

選びかたは☞3ページをご覧ください。

2 ⬆/⬇で予約したい番組を選んで、決定ボタンを押す。

2 ➡で「予約」を選んで、決定ボタンを押す。

番組を予約／録画する

次のページにつづく

放送開始前の番組を予約する（つづき）

3 ↑/↓で「視聴予約」または「録画予約」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↓/←で「繰り返し」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で繰り返しのパターンを選んで、決定ボタンを押す。

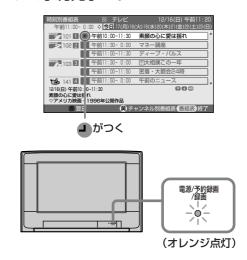
6 ←で「予約保護」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「入」または「切」を選んで、決定ボタンを押す。

「入」に設定すると、他の予約の放送時間変更によって予約が重なったときに取り消されることがありません。ただし、保護が設定できる予約は1つだけです。

8 →/↑で「予約する」を選んで、決定ボタンを押す。

「予約設定を完了しました」と表示されたあと、番組表に戻り、予約した番組に◷が表示されます。また、本機前面の電源/予約録画/録画ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！

9 番組表ボタンを押して、番組表を消す。

「重複確認」画面が表示されたときは

重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく予約できたかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（☞43ページ）。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

「暗証番号入力」画面が表示されます。①～⑩までの数字ボタンまたは↑/↓/→で4桁の暗証番号を入力してください。

ご注意

- **次の場合は録画予約できません。**
  - すでに放送開始している番組
  - コピープロテクションにより録画できない番組
  - すでに予約がいっぱいのとき
  - 視聴予約/録画予約の実行中
  - 放送開始時間が未定の番組
  - 未契約チャンネルの番組
  - 番組開始時刻まで残り時間が少ないとき
  - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ（予約できても録画されません。）
  - デジタル放送の独立データ
- 繰り返し設定をしたときは、番組の内容に関係なく指定した日時に録画を行います。そのため、番組によっては正しく録画されないことがあります。
- 放送時間などの変更に対応するように設定（☞32ページ）していても、繰り返し設定をしたときは対応しません。

映像/音声信号が複数ある番組を選んだときは

映像/音声信号が複数ある番組では、録画予約設定中に、映像/音声信号を選択する画面が表示されます。以下の手順でそれぞれの信号を選んでください。

1 **↑/↓/←で予約する信号を選んで、決定ボタンを押す。**
有料無料ともに映像と音声の信号が1つずつ選べます。

2 **料金を確認して→で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。**

開始時刻になると

録画予約のときは、録画機器の電源が入り、録画が始まります。
視聴予約のときは、予約したデジタル放送のチャンネルに切り換わります。
本機は開始時刻の数分前に、録画予約したチャンネルに固定され、他のデジタル放送のチャンネルに切り換わらなくなります。

ご注意

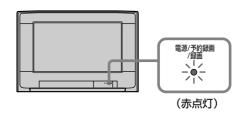
- **本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。**
  主電源が切れたままだと、予約した時刻になっても電源は入らず、録画が始まりません。予約した番組の開始時刻前に電源スタンバイしておいてください。
- 視聴予約のときは、予約開始時刻に自動的に電源は入りません。本機が電源スタンバイのときや主電源が切れたままだと、予約は取り消されます。
- ビデオのAPC（アダプティブ·ピクチャー·コントロール）機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

ちょっと一言
録画開始時に本機が電源スタンバイのときは、そのままテレビの画面が出ることなく、デジタルテレビチューナー部の電源が入り、録画が行われます。

録画実行中は

デジタル放送を録画中でも、地上アナログやビデオ入力などの映像を見ることができます。また、本機前面の電源/予約録画/録画ランプが赤色に点灯します。

（赤点灯）

ご注意

- 録画を妨げるようなデジタル放送の操作（例：チャンネル切換、音声切換など）はできません。
- リモコンの電源スイッチで電源スタンバイにしても、録画はそのまま実行されます。

終了時刻になると

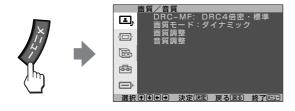
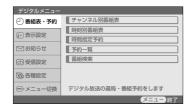
録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

次のページにつづく

放送開始前の番組を予約する（つづき）

録画したい日時を決めて予約する［時間指定予約］

デジタル放送のチャンネルと録画時間を決めて予約できます。**8件の予約が可能です。**

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ▲/▼で「▭(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ▲/▼で「番組表・予約」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ▲/▼で「時間指定予約」を選んで、決定ボタンを押す。

5 日付と時刻を設定する。

1 「日付」欄が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

2 ▲/▼で録画する日付を選んで、➡を押す。

3 手順5-**2**をくり返して、開始時刻と終了時刻を設定する。

6 ▲/▼で「録画」を選んで、➡を押す。

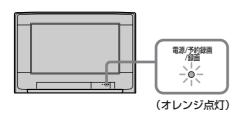
視聴のみを予約するときは、「視聴」を選びます。

7 チャンネルを設定する。

1 ▲/▼で放送の種類を選んで、➡を押す。

2 ▲/▼でチャンネルを選んで、決定ボタンを押す。

8 ↓で「予約する」を選んで、決定ボタンを押す。

「予約設定を完了しました」と表示され、本機前面の電源/予約録画/録画ランプがオレンジ色に点灯します。

これで予約完了です！

（オレンジ点灯）

「重複確認」画面が表示されたときは
重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく予約できたかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（☞43ページ）。

開始時刻になると

録画予約のときは、録画機器の電源が入り、録画が始まります。
視聴予約のときは、予約したデジタル放送のチャンネルに切り換わります。
本機は開始時刻の数分前に、録画予約したチャンネルに固定され、他のデジタル放送のチャンネルに切り換わらなくなります。

ご注意

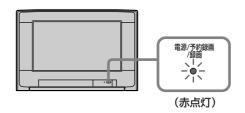
- **本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。**主電源が切れたままだと、予約した時刻になっても電源は入らず、録画が始まりません。予約した番組の開始時刻前には、電源スタンバイにしておいてください。
- 視聴予約のときは、予約開始時刻に自動的に電源は入りません。本機が電源スタンバイのときや主電源が切れたままだと、予約は取り消されます。
- ビデオのAPC（アダプティブ·ピクチャー·コントロール）機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

ちょっと一言
録画開始時に本機が電源スタンバイのときは、そのままテレビの画面が出ることなく、デジタルテレビチューナー部の電源が入り、録画が行われます。

録画実行中は

デジタル放送を録画中でも、地上アナログやビデオ入力などの映像を見ることができます。また、本機前面の電源/予約録画/録画ランプが赤色に点灯します。

（赤点灯）

ご注意

- 録画を妨げるようなデジタル放送の操作（例：チャンネル切換、音声切換など）はできません。
- リモコンの電源スイッチで電源スタンバイにしても、録画はそのまま実行されます。
- **次の場合は録画予約できません。**
  - すでに予約がいっぱいのとき
  - 視聴予約（☞37ページ）、録画予約の実行中
  - 地上デジタルで1度もチャンネルスキャンが行われていないとき
- **次の場合は予約できても録画できません。**
  - 未購入のペイ·パー·ビュー（PPV）番組
  - 視聴できないデータサービス
  - コピープロテクションにより録画できない番組
  - 未契約チャンネルの番組
  - 視聴年齢制限つきの番組
  - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ（予約できても録画されません。）
  - デジタル放送の独立データ
- 時間指定予約をしたときは、番組の内容に関係なく指定した日時に録画を行います。そのため、番組によっては正しく録画されないことがあります。

終了時刻になると

録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

現在放送中の番組を録画する

今見ているデジタル放送の番組の録画が、すぐに開始できます。

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する。

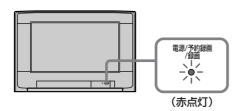
2 番組説明ボタンを押す。

番組説明が表示されます。

3 ➡で「いますぐ録画」を選んで、決定ボタンを押す。

4 「録画予約」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

これで予約完了です！

録画機器の準備が整ったら、録画が開始され、本機前面の電源/予約録画/録画ランプが赤色に点灯します。

ご注意

- 次の場合は録画できません。
  - 未購入のペイ・パー・ビュー（PPV）番組
  - 視聴年齢制限を解除していない番組
  - コピープロテクションにより録画できない番組
  - すでに予約がいっぱいのとき
  - 視聴予約（☞37ページ）、録画予約の実行中
  - 番組終了時刻まで残り時間が少ないとき
  - 未契約チャンネルの番組
  - デジタル放送のテレビやラジオと連動しているデータ（予約できても録画されません。）
  - デジタル放送の独立データ

「重複確認」画面が表示されたときは

重複している内容のメッセージが表示されます。「予約する」を選んで決定すれば、予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（☞43ページ）。

ご注意

ビデオのAPC（アダプティブ･ピクチャー･コントロール）機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

録画を中止するには

予約一覧で、実行中の録画を取り消すことができます（☞44ページ）。

ちょっと一言

予約一覧では取り消し以外にも、設定内容の変更ができます。

録画実行中は

デジタル放送を録画中でも、地上アナログやビデオ入力などの映像を見ることができます。

ご注意

録画を妨げるようなデジタル放送の操作（例：チャンネル切換、音声切換など）はできません。

終了時刻になると

録画が停止し、録画機器の電源が自動的に切れます。

予約が正しく実行されるか確認する

[予約一覧ボタン]

予約一覧画面を見る

予約一覧 押す。（もう1度押すと消える。）

他の方法でも表示できます

メニューから

「（メニュー切換）」→「番組表･予約」→「予約一覧」を選ぶ。

選びかたは☞3ページをご覧ください。

「予約一覧」画面について

「予約一覧」画面で予約状況と結果が確認できます。

「予約一覧」画面

A 予約情報マーク

B 予約結果マークと予約状況マーク

「済」：正しく実行された予約

△：正しく実行されなかった予約

「実行」：録画/視聴予約実行中

：予約保護されている予約

C 操作ガイド表示欄

予約一覧を表示中にリモコンを使ってできることをガイド表示します。

青：前ページへ送ります。

赤：次ページへ送ります。

D カーソル（選ばれているところ）

黄色で表示され、↑/↓で移動できます。

E メッセージ表示部

メッセージを表示します。

表示マークの意味

（赤）：録画予約

（青）：視聴予約

¥ ： 有料番組の購入あり

予約一覧で予約を変更/取消する

予約一覧では予約の変更や取り消しができます。録画予約実行中に、途中で録画を解除することもできます。
予約が連続していると、正しく実行されないことがありますので、予約一覧で確認してください。

ちょっと一言
視聴予約は予約一覧で取り消さなくても、次の場合には自動的に取り消されます。
－予約した番組の放送開始時に本機の電源が切れているとき
－予約した番組を視聴中にチャンネル切換や入力切換をしたとき

予約した設定内容を変更するには

予約時間やチャンネルなど、予約した内容を変更できます。

1 予約一覧ボタンを押す。

2 ↑/↓で変更したい番組を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「予約変更」を選んで、決定ボタンを押す。
予約設定を行ったときの画面が表示されます。

4 表示されている予約画面に従って、設定を変更する。
予約の設定について詳しくは、☞37、40ページをご覧ください。

ご注意
実行中の予約は変更できません。

予約の変更を途中でやめるには
手順4で「中止」を選ぶ。

予約を取り消すには

不要な予約を取り消せます。

1 予約一覧ボタンを押す。

2 ↑/↓で取り消したい番組を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「予約取消」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「予約取消」を選んで、決定ボタンを押す。
予約が取り消されます。

5 予約一覧ボタンを押して、予約一覧を消す。

ご注意
繰り返し設定をしている番組を取り消すと、2回目以降の予約も取り消されます。

録画制約について

本機からの録画予約についてのご注意

あらかじめ録画機器側で録画できる状態に設定し、下記をご確認のうえ、本機で録画予約を設定してください。

- 録画機器側で録画モード（標準/3倍など）を選ぶ。
- フォーマットの必要なディスクメディア（DVD-RW、DVD-RAMなど）をフォーマットする。
- 録画機器側で設定した録画予約を解除する。
- DVDレコーダーなどで、録画ボタンを2回押さないと録画を始めない機器は、1回押せば録画を始めるように設定する。
- AVマウスを使った録画のときは、シンクロ録画などの、外部入力端子に信号が入力されると自動的に録画を始める機能がある録画機器は、その機能を解除する。
- 録画機器が複合機のときは、録画メディア（ハードディスクまたはDVD-Rなど）を選ぶ。

録画するときの録画制限

本機は、録画防止機能（コピープロテクション）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。

本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。

また、デジタル放送を映像/音声コードでハードディスクレコーダーやDVDレコーダーにデジタル録画するときも制限されることがありますが、VHSビデオで録画できる場合もあります。

本機では次のようなメッセージが表示されます。

「コピープロテクションにより録画できません」とメッセージが表示されたときは

録画できない番組です。「予約方法」は「視聴」に固定され、視聴予約のみできます。

「コピープロテクションによりVHS以外には録画できません」と表示されたときは

AVマウスの設定がビデオ以外の機器になっています。ビデオをつないで、AVマウスの設定をビデオにしてください（☞34ページ）。

ハードディスクレコーダーやDVDレコーダーなどでは録画できません。

著作権保護対応の番組を録画するときの録画制限

著作権保護対応の番組では、録画を1回のみ許可（コピーワンス）されている画像などコピー制御信号が含まれている場合は、録画機器によっては録画できないことがあります。

また、ペイ·パー·ビュー（PPV）や録画禁止の番組では、著作権保護情報のデータを確認するため、番組開始から数分程度、黒い画面が録画されることがあります。野球中継延長などにより番組開始時間に変更があった場合も、開始時間変更情報のデータを確認するため、同様に番組開始から数分程度、黒い画面が録画されることがあります。

1つの放送局での マルチ放送について

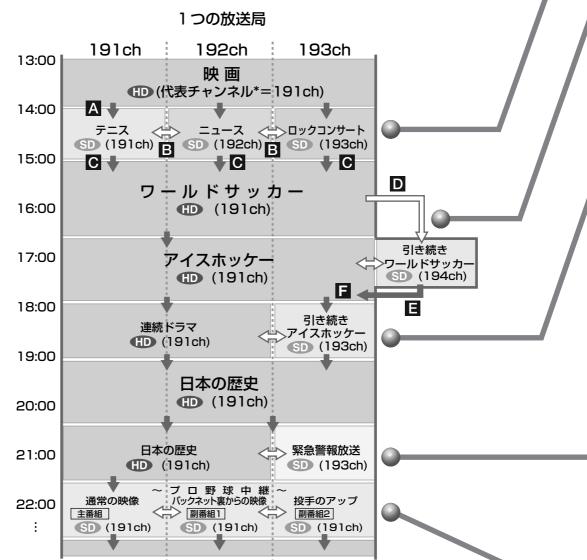
地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号 HD の1チャンネル放送と、標準テレビ信号 SD の複数チャンネル（2～5チャンネル）放送を、下の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

それぞれのチャンネル（191ch、192ch、193ch）で同じ番組が放送されます（イベント共有）。時刻別番組表（☞24ページ）を見るときや、チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

SD 標準テレビ信号

➡ 自動的に切り換わる

⇨ 手動で切り換える

A マルチチャンネル放送開始
…HDからSDに変わり、それぞれのチャンネル（191ch、192ch、193ch）で別々の番組を放送します。

B マルチチャンネル放送中の選局
… チャンネル+/−ボタンを押して、見たいチャンネルに切り換えます。

C マルチチャンネル放送終了
…14:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネル（192chや193ch）のまま引き続き、そのあとの番組（ワールドサッカーや連続ドラマ）をご覧いただけることもあります。

D 臨時放送開始
…中継延長になりHDからSDに変わり、引き続き放送します。ご覧になるときは、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力して、臨時放送のチャンネル（上の例では194ch）に切り換えます。

E 臨時放送終了
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

F イベントリレー
…イベントリレーが開始される前にお知らせが表示されます。「選局する」を選ぶと、時間になると自動的に切り換わります。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

マルチ放送には次のような種類があります

複数のチャンネルで違う番組を同時に放送［マルチチャンネル放送］A～C

左の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。

延長した番組を最後まで放送［臨時放送］

左の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組の連続ドラマを放送します。

他のチャンネルで引き続き放送［イベントリレー］

放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送を行うときは、お知らせが表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。時間になると自動的に切り換わります。

放送局からイベントリレーのお知らせが表示される。表示を消すときは「中止」を選ぶ。

地震などの災害時に特別番組を放送［緊急警報放送］

警戒警報や津波警報が発令されたときなどは、別チャンネルで緊急警報放送を行っていることの案内が表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。

さまざまな角度から番組を放送［マルチビュー放送］

左の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向（通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ）の画面を、映像切換ボタンで切り換えて見ることができます（☞48ページ）。

雨天など受信状態が悪いときの放送［降雨対応放送］

お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように設定されています。

降雨対応放送についてのちょっと一言

- 降雨時「受信できません　大雨･大雪やアンテナの調整ズレなどの場合もあります」と表示されて、映像や音声が出なくなる場合は、受信中の放送が降雨対応でないためか、降雨対応放送で対応できない気象状況となっているためです。
- 天候回復後、自動的に通常の放送に戻ります。
- 「BS/CS設定」メニューの「降雨対応放送受信」を「切」にすると、降雨対応放送に切り換わりません。

  メニューから

  「▭（メニュー切換）」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「降雨対応放送受信」→「切」を選ぶ。

  選びかたは☞3ページをご覧ください。

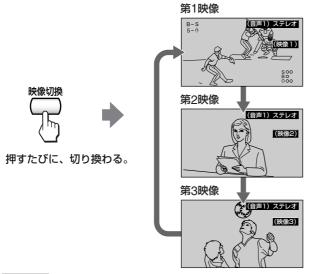
ご注意

臨時放送のチャンネルはチャンネル+/－ボタンでは選べません。

マルチビュー放送や第2映像などを見る

[映像切換ボタン]

第2映像など映像信号が複数ある番組のとき

映像信号の数は番組ごとに異なります。

ご注意

- 切り換えられる信号がないときは切り換わりません。
- 予約した録画の実行中は切り換わりません。

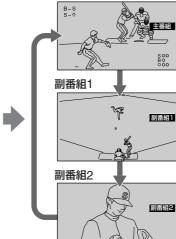
マルチビュー放送のとき

マルチビュー放送は、プロ野球中継の番組などで、最大3つの映像（下の図参照）を同じチャンネルで切り換えて楽しめます。また、放送が始まると、「マルチビュー放送中」などの案内が出ます。

映像切換

押すたびに、切り換わる。

マルチビュー放送を行っているときは

- 画面表示ボタンを押すと、「主番組」「副番組1」または「副番組2」と表示される。
- 番組表（☞24ページ）や番組説明（☞27ページ）でMVと表示される。

字幕放送や文字スーパーを見る [字幕ボタン]

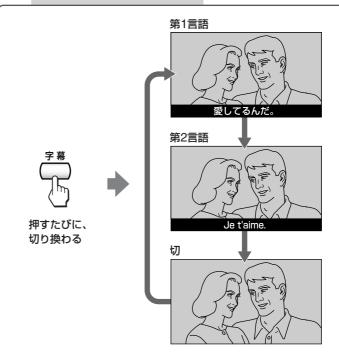
字幕放送や文字スーパーは最大2言語の放送が行われます。
字幕や文字スーパーを消したり、言語を切り換えたりできます。

字幕放送：映画やドラマなどの字幕
文字スーパー：臨時ニュースなど

ご注意

- デジタル放送/ビデオ出力端子からは、字幕放送の字幕や文字スーパーは出力されないため、ビデオへは録画できません。
- メニューの「字幕入/切」設定で「切」を選んでも、放送局側で字幕や文字スーパーを消せない設定にしている番組もあります。

ちょっと一言
字幕あり/なしに関わらず、「第1言語」、「第2言語」または「切」に切り換えられます。
1言語しか放送されていないときは、「第2言語」に切り換えても同じ言語が表示されます。

字幕を表示する

字幕放送を行っているか確認するには

字幕放送を行っているときは、画面表示ボタンを押すと画面右上に「字幕あり」と表示されます。
お買い上げ時は、字幕放送の字幕の表示は「切」に設定されています。

他の方法でも表示できます
メニューから
「(メニュー切換)」→「表示設定」→「字幕入/切」→「第1言語」または「第2言語」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

次のページにつづく

字幕放送や文字スーパーを見る［字幕ボタン］（つづき）

文字スーパーの言語を切り換える

お買い上げ時は、文字スーパーがあるときには「第1言語」が自動的に表示されるように設定されています。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「⊟(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「表示設定」を選んで、決定ボタンを押す。

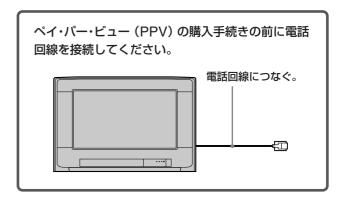
4 ↑/↓で「文字スーパー入/切」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「第1言語」、「第2言語」または「切」を選んで、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る

ペイ・パー・ビュー（PPV：PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。ペイ・パー・ビュー（PPV）には、購入前に内容を確認（プレビュー：事前視聴）できる番組もあります。

ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入手続きの前に電話回線を接続してください。

1 PPV番組を選ぶ。

2 「購入」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

3 購入手続きを行う。

購入するときは

⬆/⬇で「購入する」を選んで、決定ボタンを押します。購入したPPV番組が映ります。

購入手続きを完了しました

購入をやめるときは

⬆/⬇で「中止」を選んで、決定ボタンを押します。

ちょっと一言

コピープロテクションがかかった番組のときは、メッセージを確認した上で購入してください。

ご注意

購入操作の途中に他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、手順1から操作し直してください。

プレビューについて

- PPV番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見たあと、購入をやめるときは、チャンネルを変えてください。

こんなメッセージが表示されたら

視聴できない番組のときは

録画に別料金がかかるときは

録画有料番組となります。

見るだけのときは

⬆/⬇で「視聴購入」を選んで、決定ボタンを押す。

録画するときは

⬆/⬇で「録画購入」を選んで、決定ボタンを押す。
録画防止信号が解除され、本機のデジタル放送/ビデオ出力端子につないだ録画機器で録画できるようになります。

「ICカードのデータが一杯になったので購入できません　電話線をつないだ後カードを抜き差しすると購入できるようになります」

購入額がカードの上限金額を越えています。
また、番組の購入可能件数を越えたときにも、この表示が出ます。
電話回線をつないでください。

「購入時間が過ぎているため購入できません」

番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

録画防止機能について

ビデオなどにアナログ録画するときは

本機は、録画防止機能（コピープロテクション）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

音声について

本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

追加信号について

映像/音声を選ぶ画面で、追加したい信号を選んで番組を楽しめます。
なお、¥マークの付いた映像、音声などを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。
また、Ⓐ～Ⓕマークの付いた信号を購入すると、自動的に同じマークの付いた他の信号がセットで購入されます。

デジタル放送のその他の機能

ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る（つづき）

ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入概算額を見るには

先月分と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。正確な購入合計額については、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞109ページ）。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「▭(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「お知らせ」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「ペイパービュー購入履歴」を選んで、決定ボタンを押す。**

購入したPPV番組の前月分と今月分の概算金額が表示されます。
更新されていれば、「ペイパービュー購入履歴」の右横に「更新」と表示されています。

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

放送局からのお知らせを見る［メール・ボード］

お客様にあてた、放送局や本機からのお知らせ（メール）や、110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせ、番組案内など（ボード）を見ることができます。

1 **ボードを見るときは、CSボタンを押して、CS1またはCS2に切り換える。**

メールを見るときは、この操作は不要です。

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「▭(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「お知らせ」を選んで、決定ボタンを押す。**

5 ▲/▼で「メール」または「ボード」を選んで、決定ボタンを押す。

「メール」を選んだときは

デジタル放送、本機からのメールを一覧表示します。
「デジタル放送からのメール」は合計31通まで、「本機からのメール」は10通まで保管します。

メール件数

メール一覧
1ページに最大8通表示する。

操作ガイド表示欄
リモコンを使ってできることをガイド表示します。

メールマークの意味

（既読）：すでに読んだメール
（未読）：まだ読んでいないメール
（黄）：本機からのメール
地上D（青）：地上デジタルからのメール
BS（緑）：BSデジタルからのメール
CS1（紫）：CS1からのメール
CS2（紫）：CS2からのメール

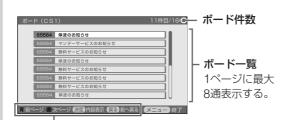
ご注意

- 既読メールの古い順から削除され、新しいメールを追加します。既読メールがないときは、未読メールの古い順から削除されます。
- メールはお客様自身で削除できません。

「ボード」を選んだときは

視聴しているCS放送のボードを一覧表示します。

ボード件数

ボード一覧
1ページに最大8通表示する。

操作ガイド表示欄
リモコンを使ってできることをガイド表示します。

6 ▲/▼で読みたいメールまたはボードを選んで、決定ボタンを押す。

例：メールを選んだとき

「閉じる」
一覧画面に戻る。

操作ガイド表示欄
リモコンを使ってできることをガイド表示します。
▲：前ページへ切り換えます。
▼：次ページへ切り換えます。

7 読み終えたら▶で「閉じる」を選んで、決定ボタンを押す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ビデオやDVDなどの映像を見る

入力を切り換えて、本機につないだビデオ機器やDVDプレーヤー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの映像を見ることができます。
接続のしかたについては、☞122ページをご覧ください。

ビデオやDVDなどの映像を見る

つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

ビデオ

押すたびに、切り換わる。

ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ1

💡ちょっと一言

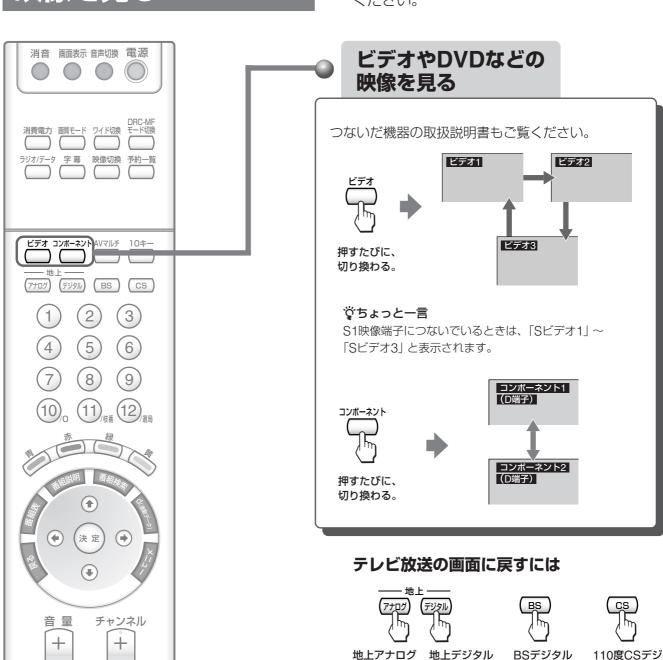
S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」～「Sビデオ3」と表示されます。

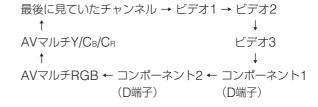
コンポーネント

押すたびに、切り換わる。

コンポーネント1（D端子） ↔ コンポーネント2（D端子）

テレビ放送の画面に戻すには

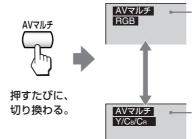
地上 アナログ	地上 デジタル	BS	CS
地上アナログに戻る	地上デジタルに戻る	BSデジタルに戻る	110度CSデジタルに戻る

💡ちょっと一言

- 本機につないだ機器の映像を見ているときに、チャンネル+/−ボタンを押すと最後に見ていたチャンネルになります。
- 本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、次のように切り換えられます。

“プレイステーション 2” などを楽しむ

接続のしかたについては☞134ページをご覧ください。

“プレイステーション 2” などを楽しむ

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”（PS one）および “プレイステーション” の取扱説明書もご覧ください。

押すたびに、切り換わる。

AVマルチ RGB
- “プレイステーション”（PS one）と “プレイステーション” のときに選ぶ。
- “プレイステーション 2” 側のシステム設定画面で、「コンポーネント映像出力」を「RGB」に設定したときに選ぶ。

AVマルチ Y/CB/CR
“プレイステーション 2”側のシステム設定画面で、「コンポーネント映像出力」を「Y CB/PB CR/PR」に設定したときに選ぶ。

ビデオ入力端子につないだときは

“プレイステーション 2” などの映像が出るまで、ビデオボタンをくり返し押す。

ご注意

- “プレイステーション 2” で映像が乱れたり、正しく表示されないときは、“プレイステーション 2” 側の設定に本機側のAVマルチ入力を合わせてください。
- つないだ機器の映像によっては、DRC-MFモード切換（☞66ページ）が働かないことがあります。

対応ソフトウェアについて

詳しくは、各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

- 電子的なライフルやガン（銃）でテレビ画面を標的にして楽しむシューティングゲームなどは、その機能を使えないことがあります。
- 将来の “プレイステーション 2” 用の高解像度ゲームソフトなどには、本機は対応していません。
- “プレイステーション”（PS one）や “プレイステーション” 用のゲームソフトによっては、CGゲームモード（☞56ページ）が切り換えられないことがあります。
- ゲームソフトによっては、動きの早いシーンなどで反応が遅くなることがあります。
- ソフトウェアの信号によって、AVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRの映像信号に適さないものがあります。

次のページにつづく

“プレイステーション 2” などを楽しむ（つづき）

CG*ゲームモードの設定をするには（AVマルチ入力のみ）

* コンピューター･グラフィックスの略です。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（各種切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「CGゲームモード」を選んで、決定ボタンを押す。

4 現在のAVマルチ入力（「RGB」または「Y/CB/CR」）が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「入」または「切」を選んで、決定ボタンを押す。

「入」：CGの多いゲームに適した映像を楽しめます。

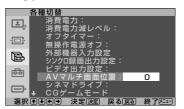
「切」：DVDの映画などの自然画に適した映像を楽しめます。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

画面の左右位置を調整するには（AVマルチ入力のみ）

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（各種切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「AVマルチ画面位置」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で画面の左右位置を調整する。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

本機のリモコンで他機器を操作する

本機のリモコンで、本機につないだ機器の基本的な操作ができます。

本機のリモコンで操作できる機器

- ビデオ
- DVDプレーヤー/DVDレコーダー
- ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機
- DVD一体型ビデオ
- ソニー製ハードディスクビデオレコーダー/チャンネルサーバー

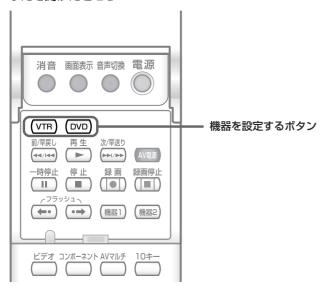
ちょっと一言

VTRボタンとDVDボタンには機器の種類を限定することなく、リモコンコード表にあるすべての機器を登録できます。

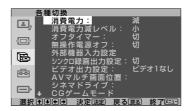
例：VTRボタンにソニー製のハードディスクレコーダー（リモコンコード301）を設定し、DVDボタンに松下製ビデオ（リモコンコード011）を設定するなど。

つないだ機器の入力に一発で切り換える

ボタンを1回押すだけで、見たい機器の入力に画面を切り換えることができます。機器をつないだ入力端子をVTR、DVDボタンに設定してください。

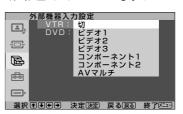
ふたを開けたところ

1 リモコンのふたを開ける。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ▲/▼で「(各種切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ▲/▼で「外部機器入力設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ▲/▼で設定したいボタン名を選んで、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

本機のリモコンで他機器を操作する（つづき）

6 ↑/↓でつないだ入力端子を選んで、決定ボタンを押す。

7 もう一方のボタン名を設定するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

9 手順5で設定したボタンを押す。

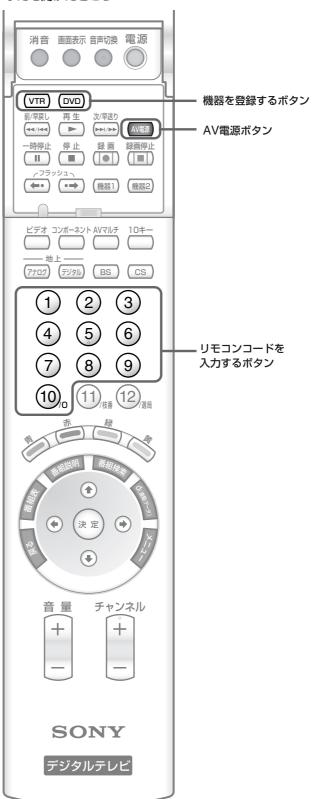
画面が、見たい機器の入力に切り換わります。

手順6でAVマルチを選んで入力が切り換わらないときは、いったんAVマルチボタンで切り換えてください。次からは一発で入力が切り換わります。

本機につないだ機器を登録する

ここでは例として、ビデオとDVD一体型ビデオを登録する手順を説明します。

例1： ソニー製ビデオをVTRボタンに登録する
例2： ソニー製DVD一体型ビデオをDVDボタンに登録する

ふたを開けたところ

1 リモコンのふたを開ける。

2 リモコンコードを入力する。

リモコンコードは☞60ページの「リモコンコード表」で確認してください。

例1：ソニー製ビデオ（リモコンコード001）

押しながら

例2：ソニー製DVD一体型ビデオ
（リモコンコード201）

押しながら

リモコンコード表（☞60ページ）にないリモコンコードを入力すると、VTRボタンまたはDVDボタンが2秒間点滅します。手順2をもう1度行って正しいリモコンコードを入力し直してください。

ご注意

VTRボタンとDVDボタンにはそれぞれ機器を1台づつ登録できます。2台目の機器を登録すると、1台目の登録は取り消されます。

ちょっと一言

リモコンコードを入力するときは、リモコンの前の部分（リモコン発光部）を手で隠すと、間違えてボタンを押しても本機が動作しないので安心です。

3 動作テストをする。

登録した機器の電源が入るかを確認して動作テストをします。

例1：ソニー製ビデオ

点灯している間に

例2：ソニー製DVD一体型ビデオ

点灯している間に

登録する機器のリモコンコードが複数あるときは、手順2と3をくり返して、機器が操作できるまで別のリモコンコードを登録し直してください。

ご注意

ソニー以外のメーカーの複合機器を登録するときは、AV電源ボタンを押す前に機器1ボタンを押さないと電源が入らないものもあります。

リモコンコードを登録しても操作できないときは

リモコンコードを正しく入力していても、機器によっては操作できないものもあります。そのような場合はそれぞれの機器に付属のリモコンで操作してください。

次のページにつづく

本機のリモコンで他機器を操作する（つづき）

リモコンコード表

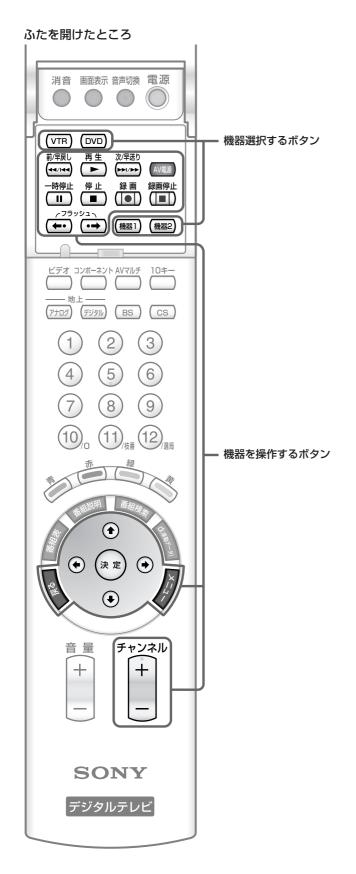
メーカー	ビデオ	DVD プレーヤー	DVD一体型 ビデオ	ハードディスクレコーダー/ DVDレコーダー/ ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機
ソニー	001 002 003 004 005 006	101	201	301 302 303 304 305 306 307 308
松下	010 011 012 013 014	102		401 402 403
東芝	015 016 017 018	103		404 405
日立	019 020 021 022	104	202	
三菱	023 024 025 026	105		
日本ビクター	027 028 029 030 031 032	106	203 204 205 206	
サンヨー	033 034 035 036		207	
アイワ*1	037 038 039 040	107	208	
シャープ	041 042 043	108		
フナイ	044		209	
NEC	045 046 047 048			
パイオニア		109*2 110*2		406 407 408
フィリップス		111		
RCA		112		
デノン		113 114		
ヤマハ		115		
SAMSUNG		116	210	
オンキョー		117		

*1 アイワのリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニーのリモコンコードを登録してください。

*2 これらのDVDプレーヤーを登録するときは、☞59ページの手順3でDVDプレーヤーの電源が入っても、再生などの操作ができないことがあります。そのときは、もう一方のリモコンコードを設定し直してください。

ご注意

- リモコンの電池を取り出したり、電池を使いきると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、それぞれの機器のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンでは、機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できない機能があります。そのときは、それぞれの機器のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が機器にない場合は、そのボタンは働きません。

ふたを開けたところ

つないだ機器を本機のリモコンで操作する

1 機器に必要な準備をする。

機器の電源をつなぐなどの準備をしてください。

2 リモコンのふたを開ける。

3 操作する機器を登録したボタンを押す。

押したボタンが約30秒間点灯します。
押したボタンが点灯している間のみ、機器を操作でき、機器を操作するたびに、更に30秒間延長します。

ボタンが消灯してしまったときは、もう1度ボタンを押す。

ちょっと一言

ボタンが点灯中に次のようにすると、ボタンは消灯します。消灯させることにより、電池の消耗を抑えられます。

－点灯中のボタンをもう1度押す
－機器を操作できるボタン以外のボタンを押す
－リモコンのふたを閉める

DVD一体型ビデオなどの複合機器を操作するときは、

手順4に進んでください。

複合機器以外の機器を操作するときは

手順5に進んでください。

テレビにつないだ機器の映像を見る

次のページにつづく

本機のリモコンで他機器を操作する（つづき）

4 機器1ボタンまたは機器2ボタンを押して、操作する機器を切り換える。

または

DVD一体型ビデオのときは

機器1ボタン：ビデオを操作できます。
機器2ボタン：DVDを操作できます。

ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機のときは

機器1ボタン：DVDを操作できます。
機器2ボタン：ハードディスクレコーダーを操作できます。

複合機器によっては、機器1または機器2ボタンで操作できる機器が上記と逆になることがあります。

ご注意

複合機器によっては、機器1または機器2ボタンを押しても、操作できる機器を切り換えられないものがあります。そのような場合は機器に付属のリモコンで操作してください。

5 リモコンを機器に向けて操作する。

機器を登録したボタンが点灯中に操作ができます。

機器*を操作できるボタン

ボタン	説明
	電源を入/切する。
前/早戻し	**ビデオのときは** － 停止中に押すと、巻戻しする。 － 再生中に長押しすると、押しているあいだ巻戻し再生をする。 **DVD、ハードディスクレコーダーのときは** － 停止中に押すと、前方向の頭出しをする。 － 再生中に長押しすると、押しているあいだ早戻し再生をする。 － 再生中に短く押すと、前方向の頭出しをする。
	再生する。
次/早送り	**ビデオのときは** － 停止中に押すと、早送りする。 － 再生中に長押しすると、押しているあいだ早送り再生をする。 **DVD、ハードディスクレコーダーのときは** － 停止中に押すと、後方向の頭出しをする。 － 再生中に長押しすると、押しているあいだ早送り再生をする。 － 再生中に短く押すと、後方向の頭出しをする。
	一時停止する。
	再生、早送り、早戻しを停止する。
	録画する。
	録画を停止する。
	再生中に押すと、各機器でそれぞれ設定されている時間分（例：15秒、30秒）前に戻す。
	再生中に押すと、各機器でそれぞれ設定されている時間分（例：15秒、30秒）先にとばす。
	ビデオ、ハードディスクレコーダーのときは ビデオ、ハードディスクレコーダーに内蔵されているテレビチューナーのチャンネルを切り換える。

* ビデオ、DVDプレーヤー/レコーダー、DVD一体型ビデオ、ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機、ソニー製ハードディスクレコーダー/チャンネルサーバー

ソニー製のハードディスクレコーダー、チャンネルサーバーのときは

更に以下のボタンが使えます。

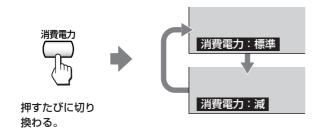
ボタン	説明
	メニューのある機器では、メニューを表示する/消す。
	1つ前の画面に戻る。
	メニューのある機器では、メニューの項目を選んだり、決定したりする。

ご注意

VTRボタン、DVDボタンが点灯中のとき、操作する機器に次のボタンが割り当てられているときは、テレビを操作することはできません。

– チャンネル+/–ボタン
– メニューボタン
– 戻るボタン
– 決定/↑/↓/←/→

映像を調整する

節電しながら見る［消費電力ボタン］

ちょっと一言

- 「消費電力：減」で電源を切ると、次に電源を入れても「消費電力：減」のままになります。
- 画質調整（☞67ページ）で「ピクチャー」や「明るさ」を上げると、「消費電力：減」でも画面の明るさや節電効果が変わらない場合があります。

他の方法でも切り換えられます

メニューから

「（各種切換）」→「消費電力」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

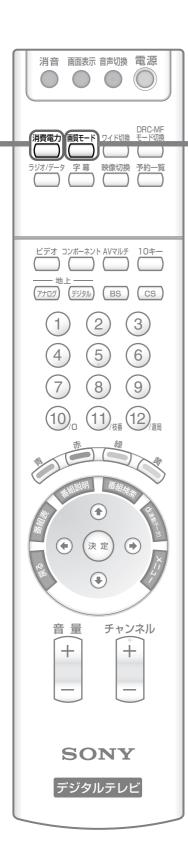
「消費電力：減」のときに更に節電するには

「（各種切換）」メニューの「消費電力減レベル」を「大」にしてください。
「（各種切換）」→「消費電力減レベル」→「大」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

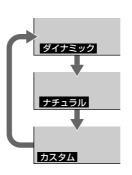
長時間操作しないときに自動的に電源を切るには

「（各種切換）」メニューの「無操作電源オフ」を「1時間」または「2時間」、「3時間」にしてください。
「（各種切換）」→「無操作電源オフ」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ちょっと一言

省電力のため、地上アナログ放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままにすると、オートシャットオフ機能により自動的に電源スタンバイになります。放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。デジタル放送のときは、「オートシャットオフ」機能は働きません。

部屋の明るさに合った映像を選ぶ［画質モードボタン］

放送や入力などで別々に設定できます。
通常は「ナチュラル」をおすすめします。
また、「ナチュラル」と「カスタム」を選べば、より細かい調整もできます（☞67ページ）。

1回押すと現在の設定が表示され、そのあと押すたびに切り換わる。

映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像（お買い上げ時の設定）。

ご家庭での使用に合わせた標準的な映像。

輪郭強調とコントラストを抑え、DRC（☞66ページ）の性能をより引き出した、オリジナルにできるかぎり忠実な映像。

他の方法でも切り換えられます
メニューから
「(画質/音質)」→「画質モード」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

映像に合ったリアル高画質で見る［DRC-MFモード切換ボタン］

信号や入力によらず、共通の設定となります。
通常はお買い上げ時の設定「DRC4倍密・標準」のままでご覧ください。

DRC-MF
モード切換

DRC4倍密・標準
地上アナログやビデオ、デジタル放送の525i（480i）標準テレビ信号 SD など、一般的な映像のとき。

ＤＲＣ4倍密・標準
きめ細かく自然な映像

ＤＲＣプログレッシブ
チラツキを抑えた映像

DRCプログレッシブ
文字や画像、細かい横線が多い映像で、部分的な映像のゆれやチラツキが気になるとき。

他の方法でも切り換えられます
メニューから
「（画質/音質）」→「DRC-MF」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

DRC-MFって何？

本機搭載の高画質回路（デジタル・リアリティー・クリエーション：マルチ・ファンクション）で、地上アナログやビデオ、デジタル放送の525i（480i）*標準テレビ信号 SD を4倍の情報量で映し出し、きめ細かくて質感のあるリアルな画質にします。
デジタルハイビジョン信号 HD など、525i（480i）以外の信号では働きません。
「DRCプログレッシブ」のときは、525i（480i）の信号を525p（480p）に変換して順次走査（プログレッシブ）を行い、チラツキを抑えた映像にします。

ご注意

以下のときは、DRC-MFモード切換はできません。
－525i（480i）* SD 以外の信号のとき
－AVマルチ入力でCGゲームモード（☞56ページ）が「入」のとき
－デジタル放送のラジオ、データ

* 詳しくは、「デジタル放送の画質について」（☞10ページ）をご覧ください。

より細かく画質を調整する

放送や入力ごとに、別々に設定できます。

1 調整したい放送や入力に切り換える。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ♠/♣で「(画質/音質)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ♠/♣で「画質モード」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ♠/♣で「ナチュラル」または「カスタム」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ♠/♣で「画質調整」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ♠/♣で調整したい項目を選んで、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

8 ♠/♣/◀/▶で調整して、決定ボタンを押す。

9 他の項目を調整するときは、手順7と8をくり返す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

「ナチュラル」と「カスタム」両方で調整できる項目

項目	♣/◀を押すと	♠/▶を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

次のページにつづく

映像を調整する（つづき）

「カスタム」でのみ調整できる項目

↓を押し続けて「シャープネス」の下まで移動すると、以下の項目が調整できます。

項目	説明	選べる設定
NR（ノイズリダクション）*1	**通常は「入」（お買い上げ時の設定）にしておいてください。** **「入」**：映像のざらつきや色ノイズを軽減する（ゴーストなど電波障害は軽減されない）。 **「切」**：元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがある。	入/切
VM（ベロシティモジュレーション）（速度変調）	映像の輪郭を強調する。	強/中/弱/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
H（ハイパー）ホワイト	白の鮮明さを強調する。	入/切
色補正	美しく健康的な肌色を再現する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/弱/切
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整する。	強/中/弱/切

*1 「NR（ノイズリダクション）」は、525i（480i）以外の信号、コンポーネント1、2（D4映像）入力端子、AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。

お買い上げ時の状態に戻すには

「より細かく画質を調整する」（☞67ページ）の手順7で「標準」を選んで、決定ボタンを押す。

映画フィルムをより忠実に再現するには

メニューの「シネマドライブ」を「オート」にすると、映画フィルムをより忠実でなめらかな動きのある映像に再現します。これは、映画フィルムの信号の規則性を自動的に識別し、最適な信号処理を行うためです。

ちょっと一言

シネマドライブは525i*2の信号のときに働きます。

*2 信号について詳しくは、「デジタル放送の画質について」（☞10ページ）をご覧ください。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「（各種切換）」を選んで、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「シネマドライブ」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「オート」か「切」を選んで、決定ボタンを押す。**

「オート」：映画フィルムをより忠実に再現します。
「切」：シネマドライブを解除します。

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ワイド画面で楽しむ

自動でワイド画面を楽しむ［オートワイド］

デジタルハイビジョン放送HDは

オリジナルの画像を活かして、ワイド画面いっぱいの放送を楽しめます。

他の放送や映像は

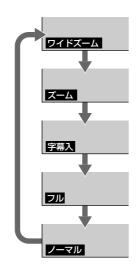
71ページのように、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。

画面モードが自動的に切り換わるのは？

- 識別制御信号（☞72ページ）のある映像を受信して、信号に応じた画面モードに自動的に切り換わるためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです。

手動でワイド画面を切り換える［ワイド切換ボタン］

好きな画面モードを手動でも選べます。
また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

**1回押すと、最適な画面モード（☞71ページ）ですばやく表示する*3。
そのあと、押すたびに画面モードが変わる。**

他の方法でも切り換えられます

メニューから

「（画面モード）」→「ワイド切換」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 手動で画面モードを固定して楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞72ページ）。
- ワイド切換ボタンで切り換えたあとは、☞71ページの表のようにならないことがあります。
- オートワイドのときにワイド切換ボタンを1回押すと、オートワイド「1」、「2」の設定に従って、オートワイドが働き続けます。
  その後、くり返し押すと、次のようになります。
  - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  - 識別制御信号のない映像は、オートワイド「2」でも、オートワイドが働かなくなります。

*3 オートワイド「2」で「4:3映像」を「ノーマル」に設定すると（☞72ページ）、4:3映像はワイド画面にならずに、横縦比4:3の映像のままになります。

映像と音声

次のページにつづく

ワイド画面の上下位置/縦サイズを調整する

ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード（☞71ページ）ごとに調整できます。

－「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
－「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。

1 調整したい画面モードに切り換える。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ♠/♦で「(画面モード)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ♠/♦で調整したい項目を選んで、決定ボタンを押す。

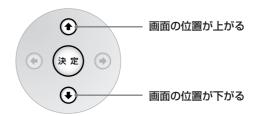
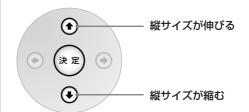
画面の上下位置を調整するときは

♠/♦で「画面位置上下」を選んで、決定ボタンを押す。

サイズを調整するときは

♠/♦で「縦サイズ」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ♠/♦で調整して、決定ボタンを押す。

画面の上下位置を調整するときは

縦サイズを調整するときは

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

オートワイドの働きかた

オートワイドには、「1」と「2」があります（違いについては次ページをご覧ください）。下の例は、オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ワイドズーム」に設定しているときです。

オリジナルの映像（映像の種類）	画面モード	オートワイドの映像
地上アナログ 通常のテレビ（地上アナログ）放送（横縦比4:3） デジタル放送 標準テレビ信号 SD の4:3映像[*1] 外部入力 識別制御信号が入っていない横縦比4:3の映像	 	オリジナルの映像を違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
地上アナログ 外部入力 ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1）[*2] 外部入力 横縦比を16:9にする識別制御信号が入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式） デジタル放送 標準テレビ信号 SD のレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）で、識別制御信号（☞72ページ）のあるとき	 	画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）
地上アナログ 外部入力 シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）[*2]	 	画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
外部入力 横縦比を16:9にする識別制御信号が入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS1方式）	 	天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
デジタル放送 デジタルハイビジョン信号 HD [*3]または標準テレビ信号 SD の16:9映像	 	オリジナルの映像を16:9で画面いっぱいに表示します。
デジタル放送 デジタルハイビジョン信号 HD [*3]または標準テレビ信号 SD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）	 	オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。
地上アナログ デジタル放送 「（画面モード）」メニューで、「オートワイド」を「2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定したとき（☞72ページ）（デジタルハイビジョン信号 HD [*3]を除くすべての映像） 外部入力 横縦比を4:3にする識別制御信号が入ったテレビ放送、ビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS1方式）[*4]	 	オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。

*1 オートワイド「2」のときは、これら「4:3映像」を「ワイドズーム」のかわりに「ノーマル」にも設定できます。また、オートワイド「1」のときは、通常のテレビ放送はワイド切換ボタンで選んだ画面モードに、標準テレビ信号 SD は「ノーマル」になります。
また、画面によっては横長の黒帯が残ることがあります。

*2 オートワイド「1」のときは、ワイド切換ボタンで選んだ画面モードになります。

*3 デジタルハイビジョン信号 HD は「フル」に固定されて、手動で画面モードを切り換えられません。

*4 オートワイド「2」のときは、これら「4:3映像」を「ノーマル」のかわりに「ワイドズーム」にも設定できます。また、オートワイド「1」のときは、「ノーマル」になります。

ご注意

デジタル放送のときは、放送局から送られる信号によって、画面モードを切り換えられないことがあります。

映像と音声

次のページにつづく

ワイド画面で楽しむ（つづき）

オートワイド「1」

デジタル放送では、映像を判別するための識別制御信号が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。
識別制御信号が放送局から送られているときのみ、**最適な画面モードに自動的に切り換えます。**識別制御信号が送られていないときは、画面モードを手動で選べます。

オートワイド「2」

識別制御信号の有無に関係なく、ワイド画面いっぱいに映るよう、最適な画面モードに自動的に切り換えます。

識別制御信号とは

オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
－デジタル放送の標準テレビ信号 SD
－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS1方式）
－D4映像入力端子からの横縦比情報の入った映像

オートワイドを設定する/切る

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（画面モード）」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「オートワイド設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 オートワイドを切るときは
↑/↓で「切」を選んで、決定ボタンを押す（手順7へ進んでください）。

オートワイドを「1」に設定するときは
↑/↓で「1」を選んで、決定ボタンを押す（手順7へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは
↑/↓で「2」を選んで、決定ボタンを押す。

5 オートワイド「2」のときは、↑/↓で「4:3映像」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「ノーマル」か「ワイドズーム」を選んで、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ワイド画面についてのご注意

- 本機は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、画面位置上下や縦サイズを調整してください（☞70ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

音声を切り換える
[音声切換ボタン]

二重音声番組のとき

例：「主/副」を選んだとき

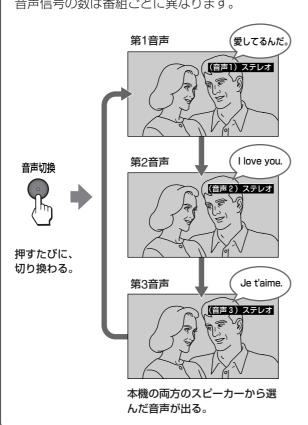
押すたびに、切り換わる。

左スピーカー（主音声）

右スピーカー（副音声）

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声

音声信号が複数ある番組（デジタル放送）のとき

音声信号の数は番組ごとに異なります。

ご注意

- 二重音声放送や第2音声などがないときは、切り換わりません。
- 予約した録画の実行中は、切り換わりません（☞39、41、42ページ）。

映像と音声

音質を調整する

放送や入力ごとに、別々に設定できます。

1 調整したい放送や入力に切り換える。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「(画質/音質)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「音質調整」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整したい項目を選んで、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

6 ↑/↓/←/→で調整して、決定ボタンを押す。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

調整する項目の説明

項目	説明
高音	↓/←で弱くなり、↑/→で強くなる。
低音	↓/←で弱くなり、↑/→で強くなる。
バランス	↓/←で左側の音が大きくなり、↑/→で右側の音が大きくなる。
音量レベル調整	放送や、入力端子ごとにつないだ機器の音量のレベルを調整する。 詳しくは、☞75ページの「放送や入力端子ごとの音量差が気になるときは」をご覧ください。
TruSurround（トゥルーサラウンド）*1	**「入」**：TruSurround（トゥルーサラウンド）の搭載により、通常のステレオ放送でも、本機の左右のスピーカーから映画館にいるような、臨場感あふれる音を再現する。 **「切」**：オリジナル音声をそのまま再現する。

*1 TruSurround、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

お買い上げ時の状態に戻すには

「音質を調整する」の手順5で「標準」を選んで、決定ボタンを押す。

放送や入力端子ごとの音量差が気になるときは

放送システムの異なる地上アナログからBSデジタルなどに切り換えたときや、音声の入力レベルの異なる機器に切り換えたときに、音量の差を感じることがあります。その場合には、放送や入力端子ごとに、「音量レベル調整」で調節してください。音量+/−ボタンで音量を調節しても、設定した放送や入力端子ごとの音量レベルは変わりません。ただし、AVマルチ（RGB）入力とAVマルチ（Y/CB/CR）入力は同じ設定になります。

1 音量レベルを設定したい放送や入力に切り換える。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「(画質/音質)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「音質調整」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「音量レベル調整」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。
「−3」～「+3」の範囲で設定できます。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

それぞれの音を聞き取りやすくするには（BBE*2機能）

音の明瞭感を高めて、メリハリのある聞きやすい音にするのが「BBE」機能です。
お買い上げ時は、「入」に設定されています。
「切」にして効果を少し弱めることもできますが、音量も小さくなったように感じるため、通常は「入」のままで使うことをおすすめします。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「BBE」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

*2 本機は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1 雑音を軽減させたいチャンネルに切り換える。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「(設定)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「地上アナログ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「オートステレオ」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

映像と音声

デジタル放送の音声について

デジタル放送には、次のような音声モードがあります。

モノラル
通常のニュース放送などに使われています。

ステレオ
音楽番組などに使われています。

サラウンド
映画などに使われています。

圧縮Bモード
CDと同等の高音質になります。モノラルやステレオ、サラウンドが圧縮Bモードで送信されるときは「番組説明」画面に「圧縮Bモード」と表示されます。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。
詳しくは、☞73ページをご覧ください。

本機のスピーカーで音声を聞くとき

5.1ch（チャンネル）サラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。
本機後面の音声出力端子（5kΩ）（固定）やデジタル放送/ビデオ出力端子からも下の表の本機のスピーカーと同じように音声が出力されます。

（L：左フロント、R：右フロント、RL：左リア、RR：右リア、C：センター）

「番組説明」画面（☞27ページ）での表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
モノラル	モノラル	モノラル
ステレオ*	ステレオ（L）	ステレオ（R）
3/1サラウンド 3/2サラウンド 5.1サラウンド	ステレオ （L+RL+C）	ステレオ （R+RR+C）

*「音質調整」メニューで「TruSurround」を「入」にしているとき（☞74ページ）は、映画館にいるような臨場感あふれる音声を再現します。

本機後面の光デジタル音声出力端子から出力される信号について（☞135ページ）

光デジタル入力対応のオーディオ機器に接続すると、デジタル放送の高音質な音声を楽しめます。「その他」メニューで「光デジタル出力設定」を設定してください（☞136ページ）。

AAC対応AVアンプなどをつないでいるときは

「その他」メニューで「光デジタル出力設定」を「オート」（お買い上げ時の設定）に設定してください（☞136ページ）。

メニューから

「▭（メニュー切換）」→「各種設定」→「その他」→「光デジタル出力設定」→「オート」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときは

「その他」メニューで「光デジタル出力設定」を「PCM」に設定してください（☞136ページ）。

メニューから

「▭（メニュー切換）」→「各種設定」→「その他」→「光デジタル出力設定」→「PCM」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。
デジタル放送の音声は、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。

接続機器	本機後面の光デジタル出力端子から出力する信号
AAC対応AVアンプ	AAC音声（デジタル放送用音声方式）がそのまま出力されます。
AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの機器	PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。

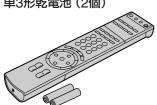
オーディオ機器のスピーカーのみで音声を聞くときは

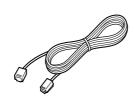
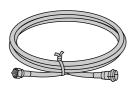
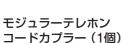
「（各種切換）」メニューで「スピーカー」を「切」にしてください。本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカー、また、ヘッドホンをつないでいるときは、ヘッドホンからも音声が出なくなります。
「（各種切換）」→「スピーカー」→「切」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

映像と音声

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

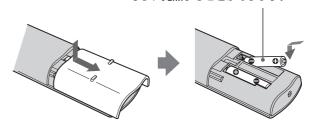
リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

AVマウス（1.5m）
（1本）

VHF/UHF用
アンテナ接続ケーブル
（1.5m）（1本）

テレホンコード（10m）
（1本）

モジュラーテレホン
コードカプラー（1個）

B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）と
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙
取扱説明書
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
ソニー用お客様ご登録カード
安全のために
安全点検のおすすめ
（各1部）

別売りアクセサリーについて

他機との接続（☞122ページ）には、別売りアクセサリーが必要です。
本書記載の別売りアクセサリーは、2004年8月現在のものです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

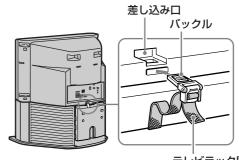
リモコンに電池を入れるには

テレビの転倒を防ぐために

本機を設置するときは、必ず、「準備5：画像の傾きを補正する」（☞94ページ）または「設置場所を変えたときなどに画像の傾きを補正する」（☞95ページ）を、行ってください。
地磁気などの影響により、画像が傾いたり、上下位置がずれたり、色むらなどが発生したりする場合があります。
お子さまが、テレビスタンドなどに載せた本機に登ったり、本機を押したりすると、テレビスタンドなどから、本機が落ちる恐れがあります。
以下の方法に従って、テレビの転倒を防いでください。

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

テレビは壁から10cm以上離して置いてください。壁などに近づけ過ぎて空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

専用のテレビスタンドを使うときは

テレビスタンドに付属しているテレビラック固定ベルトのバックルを、本機後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込んでください。

テレビラック固定ベルトが付属している専用テレビスタンド（別売り）
KD-28SR300用：SU-B28HR
KD-32SR300用：SU-B32HR

ご注意

テレビスタンドに本機を設置するときは、本機とテレビスタンドの間に、指などを挟まないように気をつけてください。
テレビスタンドの取扱説明書もあわせてご覧ください。

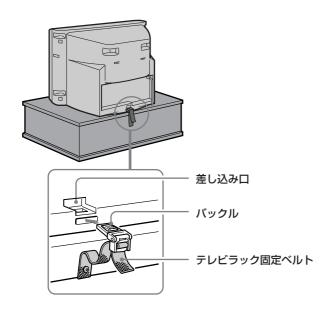
次のページにつづく

テレビの転倒を防ぐために（つづき）

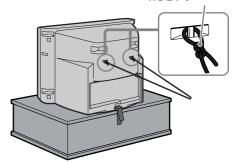
市販のテレビスタンドやラックを使うときは

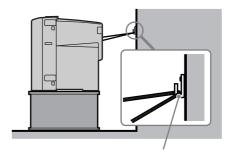
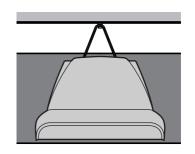
別売りのテレビラック固定ベルトBLT-R10で固定してください。テレビラック固定ベルトのバックルを、本機後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込んでください。
市販のスタンドやラックに設置する場合は、本機の底面よりも広くて水平なものをご使用ください。また、耐重量や載せられるサイズも必ずご確認ください。
詳しくは、本機やテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店にご相談ください。

ご注意

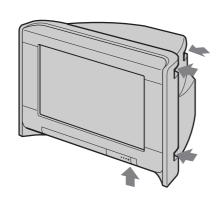
段差やデコボコ、うねりがある台に置かないでください。キャビネットの変形やきしみの原因になり、破損することがあります。

市販のひもなどで固定するときは

丈夫なひもなどを、本機後面の2つの穴に通して、壁や柱などに固定してください。
詳しくは、本機やテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店にご相談ください。

1 丈夫なひもなどを、本機後面の穴に通して、しっかり付ける。

2 壁や柱などの安定した場所に、手順1で取り付けたひもなどを、しっかり固定する。

横から見たところ

上から見たところ

テレビを運ぶとき

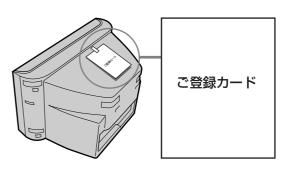
テレビを持ち運ぶときは、下の図の矢印部分（⬆）を必ず持ってください。
それ以外の部分を持つと、設置時にテレビとスタンドの間に手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。

持つところは、下の図のように片側4か所ずつあります。
必ず2人以上で運んでください。
ブラウン管は、特に正面側が重いので、倒れないように充分注意してください。

ソニー用お客様ご登録カードを登録する

ソニーでは、デジタル放送の環境の変化に対応して、本機内部のソフトウェアの機能改善（バージョンアップ）サービスを行うことがあります。ソニー用お客様ご登録カードは、そのご連絡を差し上げる際に必要となるため、必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

ご注意

- 返送していただかないと、バージョンアップのサービスが受けられなくなることがあります。
- 転居されたときは、お手数ですが、下記「デジタルベガお客様ご登録窓口」まで、忘れずにご連絡ください。

1 テレビ本体上面に貼り付けられている「ソニー用お客様ご登録カード」を取り出す。

2 「ソニー用お客様ご登録カード」の必要事項を記入し、投函する。

「ご氏名」と「ご住所」、「お電話」を必ずご記入ください。

ソニー用お客様ご登録カードに関する
お問い合わせは、
「デジタルベガお客様ご登録窓口」へ

ナビダイヤル　0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
携帯電話･PHSでのご利用は　0586-25-6470
受付時間：月〜金 9:00〜20:00（年末年始祝日を除く）

接続する前に

ご覧になる放送によって、接続するアンテナが異なります。また、デジタル放送をご覧になるときは、電話回線を接続することをおすすめします。

地上アナログ放送を見たい

地上デジタル放送を見たい

準備2：地上波アンテナをつなぐ

地上アナログも地上デジタル*[1]も、本機に1本のアンテナ線をつなぐだけで、どちらも見ることができます。

*[1] 地上波アンテナが地上デジタルに対応している必要があります。

BSデジタル放送を見たい

110度CSデジタル放送を見たい

準備3：衛星アンテナをつなぐ

BSデジタルも110度CSデジタルも、本機に1本のアンテナ線をつなぐだけで、どちらも見ることができます。

デジタル放送の**データ放送**を楽しみたい

準備4：電話回線につなぐ

データ放送のゲームや双方向通信などを楽しめます。

準備1：B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）を挿入する

B-CAS*[2]カード（デジタル放送用ICカード）はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

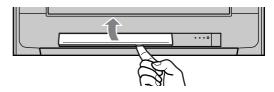
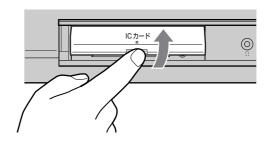
2004年4月より、B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送は、スクランブルがかかって見ることができません。
デジタル放送を見るときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
有料番組やPPV番組（☞50ページ）を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

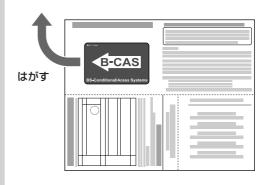
*2 B-CASは（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

ご注意

各種サービスの利用やカード交換などをスムーズに行うために、B-CASにユーザー登録することをおすすめします。

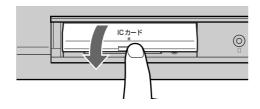
1 本機前面のパネルを開ける。

2 ICカードの挿入口のふたを開ける。

3 同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

次のページにつづく

準備1：B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）を挿入する（つづき）

4 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと書かれた面を上にして、
印刷された矢印の向きに挿入する。

5 ICカード挿入口のふたを閉める。

同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。

ご注意

- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込む（☞109ページ）ときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されていたりするためです。
- 転居などの際には、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

ちょっと一言

こんなメッセージが表示されたら...

（ICカードはB-CASカードのことです。）

- 「ICカードとのアクセスが成立しません
  ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください：XXXX」
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが表裏逆向きに入っている。
  → B-CASカードが破損している。
  → B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  → ご覧になっている放送局や110度CSデジタルの衛星サービス会社のカスタマーセンター（☞109ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号 0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードを入れてください」
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。

準備2：地上波アンテナをつなぐ

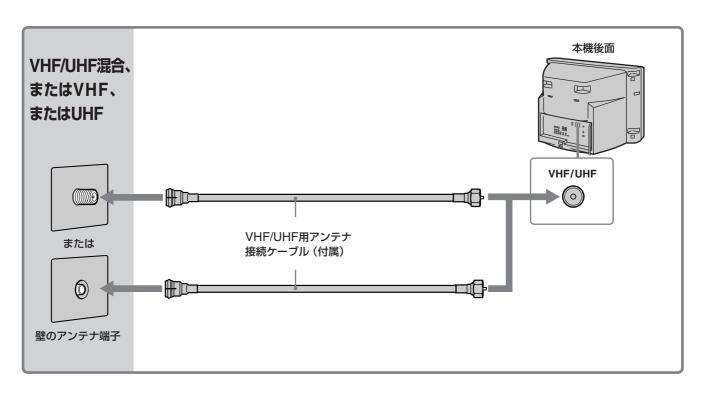
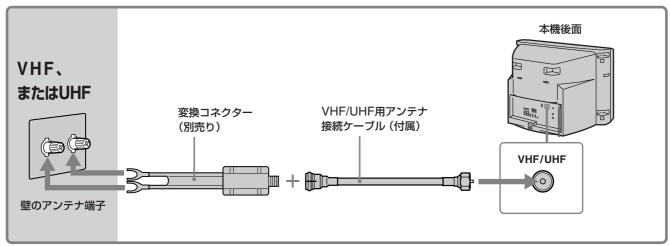
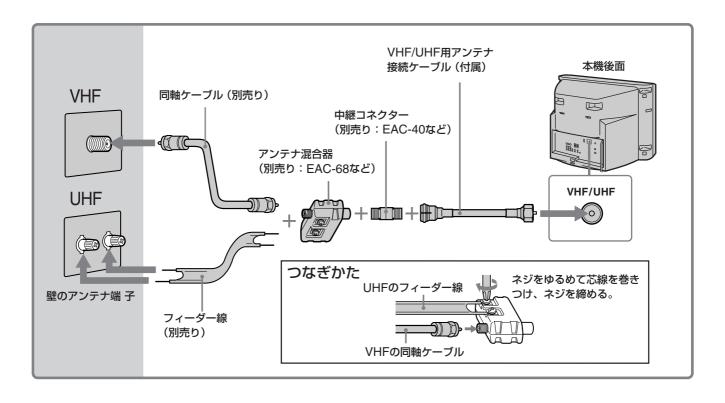
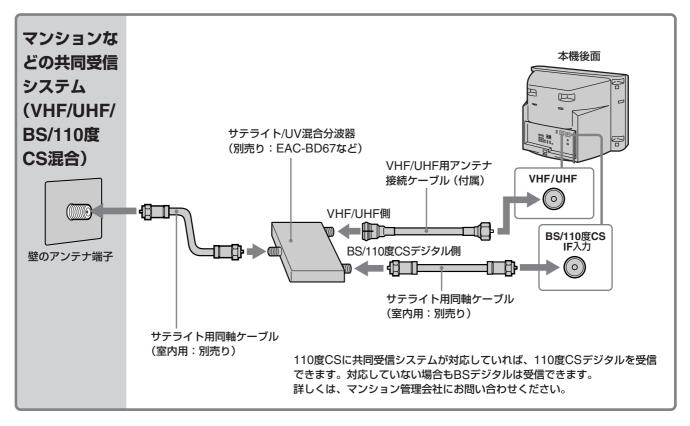
地上アナログまたは地上デジタルをご覧になるときは、地上波アンテナをつないでください。

地上デジタルのアンテナは、これまで使用していた地上アナログのUHF用アンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によっては、アンテナの取り換えや方向の変更、ブースター（増幅器）の追加などが必要となることがあります。 詳しくは、お買い上げ店などにご相談ください。
地上波アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。いずれにも当てはまらない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

次のページにつづく

準備2：地上波アンテナをつなぐ（つづき）

マンションなどの共同受信システム（VHF/UHF/BS/110度CS混合）

110度CSに共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタルを受信できます。対応していない場合もBSデジタルは受信できます。
詳しくは、マンション管理会社にお問い合わせください。

きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
- 電波の送信元付近の地域では、電波が強いため近隣チャンネルなどの干渉を受けて、画面にノイズが起こることがあります。そのときは、「(各種切換)」メニューの「アッテネーター」(減衰器)の設定を「入」にしてください。

  メニューから

  「(各種切換)」→「アッテネーター」→「入」を選ぶ。
  選び方は(☞3ページ)をご覧ください。

ご注意

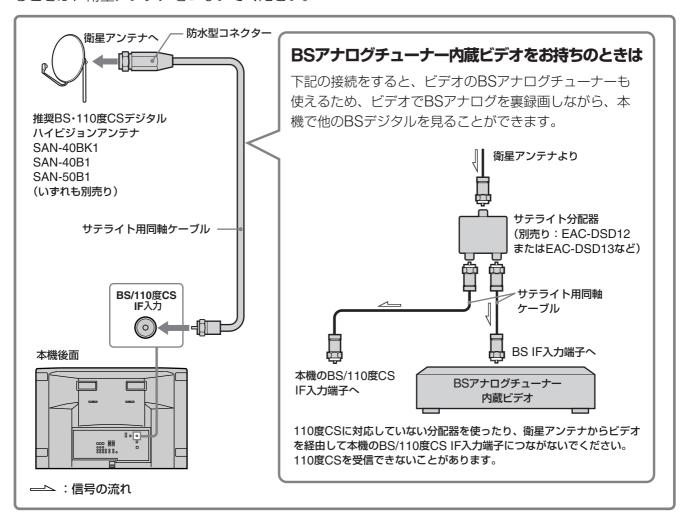
- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万一、フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- これまでお使いの、屋外に設置しているUHFアンテナは、劣化することがあります。地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、点検や調整をおすすめします。

地上デジタルのアンテナ工事について

お買い上げ店などにご相談ください。
特に、地上デジタル受信用に地上アナログ受信用とは別のアンテナを設置するときは、お買い上げ店やアンテナ工事業者とご相談の上、VHF/UHFアンテナ混合器をご使用ください。

準備3：衛星アンテナをつなぐ

BSデジタルまたは110度CSデジタルをご覧になるときは、衛星アンテナをつないでください。

衛星アンテナを本機に直接つなぎます。衛星アンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。
マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS/110度CS混合のときは、☞86ページをご覧ください。
本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

110度CSデジタルを受信するには

110度CSデジタルに衛星アンテナや分配器、ブースター(増幅器)、および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合もBSデジタルは受信できます。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

ご注意

- **BS/110度CS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。** BS/110度CS IF入力端子からは衛星アンテナ用の電源（DC 15/11V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- 次のようなときはBSデジタルや110度CSデジタルを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBSデジタルや110度CSデジタルを送信する放送衛星会社、衛星サービス会社（☞109ページ）の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - 衛星アンテナに雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき（衛星アンテナの向きを調整してください。☞107ページ）
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、必ず別売りのEAC-DSD12またはEAC-DSD13などをお使いください。

すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは

お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、BSデジタルは本機で、BSアナログもそれに対応したBSアナログチューナーで受信できます。
ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

マンションなどの共同受信システムのときは

壁のアンテナ端子ひとつでBSデジタル、110度CSデジタルと地上波放送を受信できる共同受信システムのときは、 BSデジタル、110度CSデジタルと地上波放送を分波して接続してください。
接続のしかたについて詳しくは、「準備2：地上波アンテナをつなぐ」（☞85ページ）をご覧ください。
また、「BS/CS設定」メニューで「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください（☞105ページ）。
「⊟（メニュー切換）」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナ設定」→「切」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ケーブルテレビに加入されているときは

受信契約をされているケーブルテレビ放送会社に、BSデジタルや110度CSデジタルに対応しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社が対応していれば、 BSデジタル、110度CSデジタルはご覧いただけます。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞105ページ）を行ってください。

* SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタルではありません。

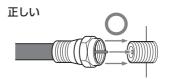
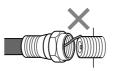
「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

本機前面の電源/予約録画/録画ランプが緑色に点滅して、「衛星アンテナ設定」が自動的に「切」になります。

1 **いったん本体の電源スイッチで電源を切る。**

2 **以下のことを確認する。**

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないかを確認してください。

正しい

芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないかを確認してください。
  それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。

3 **再び電源を入れたあと、「BS/CS設定」メニューで「衛星アンテナ設定」を設定する（☞105ページ）。**

「⊟（メニュー切換）」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナ設定」→「オート」または「入」、「切」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

「オート」または**「入」**： 衛星アンテナを本機につないでいるとき。
「切」： マンションなどの共同受信システムのとき。

準備4：電話回線につなぐ

以下のようなときに、**本機を電話回線につなぐ必要があります。**

－B-CAS（ビーキャス）カードに記憶された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するとき
－ペイ·パー·ビュー（PPV）契約をして、番組などを購入するとき（☞50ページ）
－データ放送を見ているときに、放送局と通信を行うとき（☞20ページ）（通信中は、本機前面の通信ランプが点灯します。）

通信ができるようになるまでの手順

1 電話回線をつなぐ（☞91ページ）

2 電話回線設定をする（☞110ページ）

更に、**インターネットプロバイダーを通して通信する***ようにしたいときは、

3 ダイヤルアップ設定をする（☞113ページ）

* 地上·BS·110度CSデジタル放送で運用されているデータ放送のコンテンツを、放送局などのサーバーからインターネット経由で受信して楽しむときなどに必要になります。

ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 船舶電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき
- インターネットプロバイダーを通して通信する場合は、別途プロバイダー契約が必要になります。

ちょっと一言

番組購入·契約状況などの情報の送受信について

- 購入情報などの送受信中には、本機前面の通信ランプが点灯します。
- 本機が電源スタンバイ（本機前面のスタンバイ/オフタイマーランプが赤色に点灯）のまま、自動的に購入情報などを送受信することがあります。
- 購入情報などの送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときは、本機前面の通信ランプが点灯し、電話がかかってきたときは話し中になります。
- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換機TL-P20C（スタンダードモデル）を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P21（高速通信対応モデル）をご使用ください。
  また、このときに緊急に電話をかけたいときなどは、本体の電源スイッチを押して主電源を切ってください。
- BSデジタル、110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、購入情報などの送受信はできません。

電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

お住まいの電話回線の状況を右から選んで、つないでください。
また、**壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。**

モジュラージャック

ご注意

ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

ちょっと一言

壁の電話コンセントに複数の通信機器をつなぐときは、
別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P31（3口用）を使ってください。

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

☞92ページ A へ

壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき

☞92ページ B へ

ISDN回線を使ってつないでいるとき

☞93ページ C へ

ADSL回線を使ってつないでいるとき

☞93ページ D へ

次のページにつづく

準備4：電話回線につなぐ（つづき）

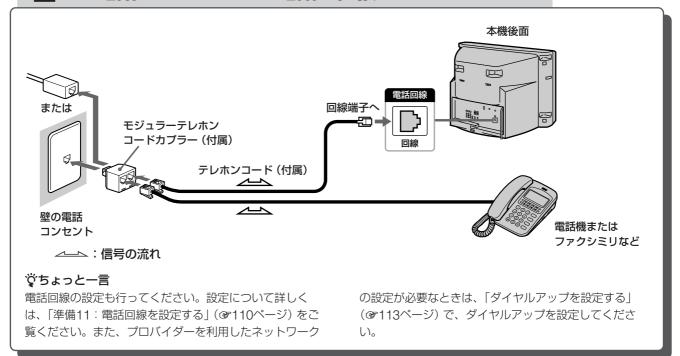
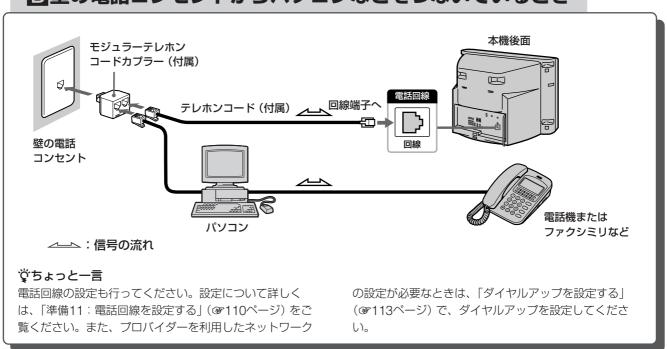
A 壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備11：電話回線を設定する」（☞110ページ）をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワークの設定が必要なときは、「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）で、ダイヤルアップを設定してください。

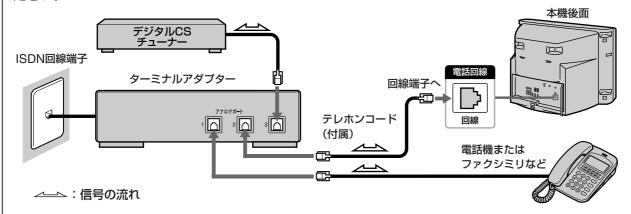
B 壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき

ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備11：電話回線を設定する」（☞110ページ）をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワークの設定が必要なときは、「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）で、ダイヤルアップを設定してください。

ちょっと一言

パソコンや電話機、ファクシミリなどの通信機器をすでに2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの高速データ通信用自動転換器TL-P21（2口用）やTL-P31（3口用）をご使用ください。

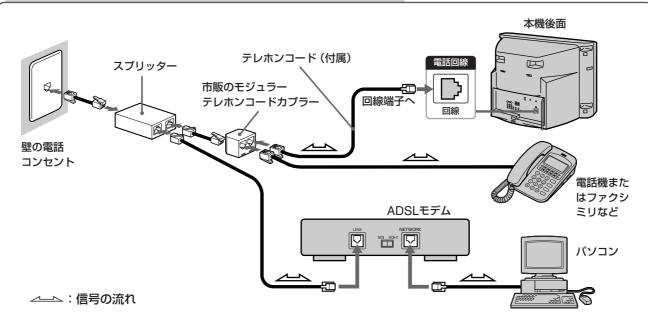
C ISDN回線を使ってつないでいるとき

お手持ちのターミナルアダプターやダイヤルアップルーターのアナログポートに直接、本機をつないでください。

ご注意

- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、本機が正しく働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線を「トーン」に設定してください（☞110ページ）。

ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備11：電話回線を設定する」（☞110ページ）をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワークの設定が必要なときは、「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）で、ダイヤルアップを設定してください。

D ADSL回線を使ってつないでいるとき

ご注意

ADSLモデムと本機は直接つながないでください。本機はADSL回線に対応していません。
ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL回線事業者にお問い合わせください。

ちょっと一言

電話回線の設定も行ってください。設定について詳しくは、「準備11：電話回線を設定する」（☞110ページ）をご覧ください。また、プロバイダーを利用したネットワークの設定が必要なときは、「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）で、ダイヤルアップを設定してください。

準備5：画像の傾きを補正する

すべての接続を終えたあとに、はじめてテレビの電源を入れると、「傾き補正」のメニューが表示され、地磁気など磁界によって発生する画像の傾きや画面上下位置のずれを補正できます。これらの症状は、テレビの故障ではありません。
お買い上げ時は、地上波アンテナや衛星アンテナをつないでから、必ず画像の傾きや上下位置を補正してください。お引越し後や、テレビの設置場所を変えたときも、必ずメニュー画面で補正し直してください。

補正する前に確認してください。
- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、本機から30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 磁界の強い場所（高圧電線や電車、金属製の雨戸、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。
このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、お買い上げ店やソニーサービス窓口などにご相談ください。

1 本体の電源スイッチを押す。
画像傾き補正の設定画面が表示されます。

画面上下に表示されているバーを目安にしてください。

画面が正常に映っているときは
補正する必要はありません。メニューボタンを押して、手順4を行ってください。

ちょっと一言
画像の傾き補正は「（設定）」メニューでも設定できます（☞95ページ）。

2 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。

画像の傾きを補正します
画面上下のバーができる限り水平になるようにします。
補正中の画面モードは、補正に適した「フル」になります。

ご注意
調整をするときは、1度に大きく回転させないで、1段階ずつ数値を変えてください。
1度に大きく回転させて水平を越えると、調整前と逆に傾き、色むらなどの原因になることがあります。

画面上下に表示されているバーを目安にしてください。

3 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。

画面の上下位置を補正します
画面の上下のバーが、画面の上下の端からできるだけ均等になるように、位置を補正します。
決定すると、今後電源コードを抜き差しするたびに、「傾き補正」画面を表示させるかどうかを確認するメッセージが出ます。

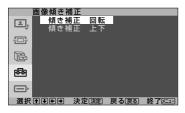
4 「いいえ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。
「はい」を選んだときは、電源コードを抜き差しするたびに「傾き補正」の画面を表示します。

設置場所を変えたときなどに画像の傾きを補正する

お引越し後や、本機の設置場所を変えたときは、「(設定)」メニューで画像の傾きや画面上下位置のずれを補正してください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「画像傾き補正」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「傾き補正　回転」または「傾き補正　上下」を選んで、決定ボタンを押す。

画像が傾いているときは「傾き補正　回転」を、画面の上下位置がずれているときは「傾き補正　上下」を選びます。補正中の画面モードは、補正に適した「フル」になります。

5 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

うまく補正しきれないときは、いったん本体の電源スイッチで主電源を切り、設置の場所を変えるか、本機の向きを変えてから、もう1度、傾き補正の手順を行ってください。
主電源を切らずに移動したり、向きを変えたりすると、補正がうまくされなかったり、色むらを起こす原因になります。
色むらが出たときは、移動したり、向きを変えたあとに、いったん主電源を切って30分以上待ってから本体の電源スイッチで主電源を入れてください。または、主電源を入れたままで30分以上待ってから、いったん本体の電源スイッチで主電源を切って、もう1度、主電源を入れ直してください。

準備6：地上アナログ放送のチャンネルを設定する

お住まいの地域で受信できる地上アナログチャンネルを、①～⑫の数字ボタンに自動的に設定します。地上アナログが放送中の時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばしたりするときは、☞97、99ページをご覧ください。

地上アナログのチャンネルを自動設定する

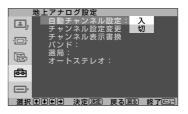
1 地上アナログボタンを押す。

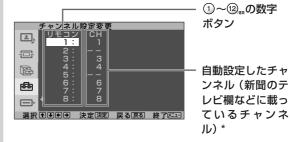
2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ⬆/⬇で「(設定)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「地上アナログ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 「自動チャンネル設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、⬆/⬇で「自動チャンネル設定」を選んで、決定ボタンを押してください。

6 「入」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

自動的に設定が始まります。
自動設定中は、電源を切らないでください。
自動設定し終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまで見ていたチャンネル番号と異なる場合があります。

7 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設置し直したいときは

☞97ページをご覧ください。

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

チャンネル設定を途中でやめるには

手順6で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのボタンを押す（どのボタンを押しても途中でやめられます）。

ケーブルテレビのときは

「ケーブルテレビの地上アナログのチャンネルを設定するには」（☞99ページ）をご覧ください。

地上アナログのチャンネルを手動設定する

①〜⑫の数字ボタンに登録されたチャンネルを変えたり、表示を書き換えたりできます。

1 **地上アナログボタンを押す。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「(設定)」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「地上アナログ設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選んで、決定ボタンを押す。**

①〜⑫の数字ボタンに登録されているチャンネルが一覧表示されます。

準備6：地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

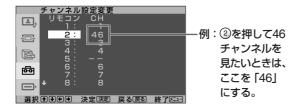
6 ⬆/⬇で変更したいリモコンの数字ボタンを選んで、決定ボタンを押す。

①〜⑫の数字ボタン

「CH」欄
自動設定されたチャンネルが表示されている。

7 ⬆/⬇でチャンネルを変更して、決定ボタンを押す。

放送のあるチャンネルの中から選べます。①〜⑫の数字ボタンを押したとき、ここで選んだチャンネルに切り換わります。

例：②を押して46チャンネルを見たいときは、ここを「46」にする。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

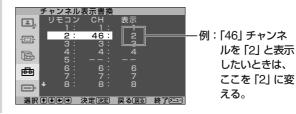
画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 「地上アナログのチャンネルを手動設定する」（☞97ページ）の手順1〜4を行う。

2 ⬆/⬇で「チャンネル表示書換」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ⬆/⬇で変更したいリモコンの数字ボタンを選んで、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で表示番号を変更して、決定ボタンを押す。

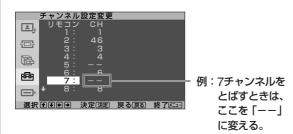
例：「46」チャンネルを「2」と表示したいときは、ここを「2」に変える。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル+/−ボタンで順送り選局するときに、放送のないチャンネルをとばすように設定できます。

1 「地上アナログのチャンネルを手動設定する」（☞97ページ）の手順1〜5を行う。

2 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「CH」欄を「−−」に変更して、決定ボタンを押す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ケーブルテレビの地上アナログのチャンネルを設定するには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13〜C38までの地上アナログのケーブルテレビチャンネルを受信できます。

詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビの地上デジタルのチャンネルを設定するときは☞103ページをご覧ください。

1 地上アナログボタンを押す。

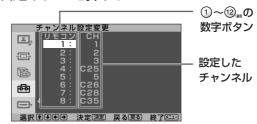
2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「(設定)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「地上アナログ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「バンド」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「CATV」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選んで、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選んで、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓で「CH」欄にケーブルテレビのチャンネルを設定して、決定ボタンを押す。

ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

準備7：お住まいの地域を設定する

デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、地域設定を行っておく必要があります。また、いったん設定したあとでも、お引越しなどで本機の設置場所を変えたときは、地域設定をし直してください。

1 地上デジタルボタンを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「地域設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「県域設定」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ←/↑/↓でお住まいの都道府県名を選んで、決定ボタンを押す。

設定した地域のチャンネルを設定できるようになります。受信できるチャンネルについて詳しくは、☞160ページの「地上デジタル放送･地域別チャンネル割り当て一覧表」をご覧ください。

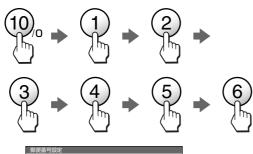
8 →で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓で「郵便番号設定」を選んで、決定ボタンを押す。

10 ①～⑩までの数字ボタンで、お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を入力する。

「0」を入力するときは、⑩ボタンを押す。

郵便番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

例：郵便番号が「012-3456」のとき

ご注意

お住まいの地域の郵便番号を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信してしまいます。

ちょっと一言

郵便番号を入力するときは、リモコンの↑/↓/←/→でも行えます。←/→で入力する桁を選び、↑/↓で0～9の数字が選べます。→を押すと、数字が決定して次の桁に移動します。訂正するときは←を押して数字を削除します。7桁すべての数字を入力したら、→で「確定」を選んで、決定ボタンを押します。

11 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

12 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

県域設定を変更したときは、「地上デジタルのチャンネルを自動設定する」（☞102ページ）で「初期スキャン」を行ってください。

準備8：地上デジタル放送の設定をする

お住まいの地域で受信できる地上デジタルチャンネルを、①〜⑫の数字ボタンに自動的に設定します。地上デジタルが放送中の時間帯に行ってください。また、自動設定したあとで、地上デジタルアンテナレベルの確認を行ってください。

地上デジタルのチャンネルを自動設定する

1 **地上デジタルボタンを押す。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

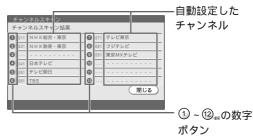
5 **↑/↓で「地上デジタル設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で「チャンネルスキャン」を選んで、決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓で「初期スキャン」を選んで、決定ボタンを押す。**

自動的に設定が始まります。

チャンネルスキャン中は、電源を切らないでください。

自動設定し終わると、次のような画面に切り換わります。

8 **設定されたチャンネルを確認する。**

設定したチャンネルを変更するときは

☞104ページをご覧ください。

9 「閉じる」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ケーブルテレビをお使いのときは

1 地上デジタルボタンを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「▭(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「地上デジタル設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「バンド」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「CATV」を選んで、決定ボタンを押す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

💡ちょっと一言

ケーブルテレビの地上アナログのチャンネルを設定するときは☞99ページをご覧ください。

新しく受信できるチャンネルを追加したいときは

「地上デジタルのチャンネルを自動設定する」（☞102ページ）の手順7で「再スキャン」を選びます。初期スキャンですでに設定されたチャンネルはそのままで、新しく受信できるチャンネルのみをスキャンして自動設定します。

地上デジタルのアンテナレベルを確認するには

中継局などを経由して、地上デジタルの電波を送っているため、ご家庭の屋根などに設置されている、これまでのUHF用地上波アンテナで受信できる場合があります。
受信できないときは、お買い上げ店や工事店に依頼して、アンテナの取り換えや調整を行ってください。
まず、地上デジタルのアンテナ受信レベルを確認してください。

1 地上デジタルボタンを押す。

2 NHKを選局する。

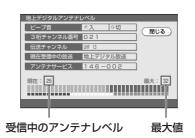
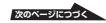
3 メニューボタンを押して、メニューを出す。

4 ↑/↓で「▭(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「地上デジタル設定」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「地上デジタルアンテナレベル」を選んで、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

準備8：地上デジタル放送の設定をする（つづき）

8 アンテナレベルを確認する。

9 「閉じる」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。
手順2で選局した地上デジタルテレビの画面が映ります。画面がきれいに映らないときはソニーサービス窓口などにご相談ください。

音を聞いて確認するには

画面で確認できないときに便利です。
地上デジタルアンテナレベル画面で「ビープ音」を「入」にすると、音を聞いて確認できます。
ビープ音を消すときは「切」を選んでください。

地上デジタルの登録チャンネルを変更する

①〜⑫の数字ボタンに自動設定されたチャンネルをお好みで変更することができます。

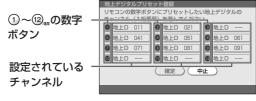
1 地上デジタルボタンを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「プリセット登録」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「地上デジタルプリセット登録」を選んで、決定ボタンを押す。
①〜⑫の数字ボタンに登録されたチャンネルが一覧表示されます。

地上デジタルのチャンネル番号は地域によって異なります。

7 ↑/↓/←/→で変更したいチャンネルを選んで、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓で3桁チャンネル番号を変更し、決定ボタンを押す。

放送のあるチャンネルの中から選べます。①〜⑫の数字ボタンを押したとき、ここで選んだチャンネルに切り換わります。

例：②を押して110チャンネルを見たいときは、ここを「110」にする。

9 ↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

プリセット登録

- 地上デジタルプリセット登録
- BSプリセット登録
- CS1プリセット登録
- CS2プリセット登録

閉じる

地上デジタルのリモコンプリセット登録を行います

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

地上デジタル放送のチャンネルは、一度設定するとお買い上げ時の状態に戻すことはできません。

準備9：衛星アンテナの設定をする

BSデジタルや110度CSデジタルを見るときは、衛星アンテナ電源（コンバーター電源）の設定と、衛星アンテナの向きの調整を行ってください。

また、お住まいの地域の特有な放送も受信するために、地域設定（☞100ページ）も行ってください。

衛星アンテナ電源を設定する

衛星アンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、本機などに直接つないでいるかなど）に合わせて、衛星アンテナへの電源供給を設定します。

1 BSまたはCSボタンを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「▭（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

準備9：衛星アンテナの設定をする（つづき）

4 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「BS/CS設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「衛星アンテナ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で衛星アンテナへの電源の供給のしかたを選んで、決定ボタンを押す。

マンションなどの共同受信システムのときは

「切」を選んで、決定する。

衛星アンテナをつないでいるときは

「オート」（お買い上げ時の設定）または「入」を選んで、決定する。
BSデジタルが映ったり消えたりするときは「入」を選んでください。

設定	衛星アンテナへの電源供給のしかた
オート（お買い上げ時の設定）	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。本機の電源が切れているときは供給しない。
入	本機の電源が入っているときは常に電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。
切	電源を供給しない。

ご注意

- 「オート」にしていても、衛星アンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「入」にしてください。
- 1本の衛星アンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSデジタルを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「入」（または「連動」）にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器から衛星アンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

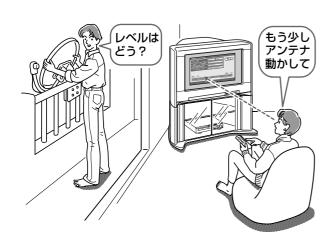
8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

衛星アンテナの向きを調整する

衛星アンテナを本機に直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面のレベル表示を見て、もう1人が衛星アンテナを動かしながら、レベル表示が最大になるように調整します。
方向や角度については、衛星アンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

> 一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないことがあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、衛星アンテナを購入したお買い上げ店などにお問い合わせください。

ご注意

「衛星アンテナ設定」が「切」になっているときは、「オート」または「入」にしたあと、本体の電源スイッチで電源を入れ直してください（☞105ページ）。

1 BSボタンを押す。

2 数字ボタンの①*を押して、NHK BS1を選局する。

* お買い上げ時は数字ボタンの①を押すと、NHK BS1が映るように設定されています。

3 メニューボタンを押して、メニューを出す。

4 ↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「BS/CS設定」を選んで、決定ボタンを押す。

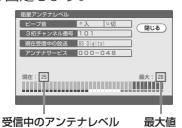
BS／CS設定
衛星アンテナ設定 入
衛星アンテナレベル
降雨対応放送受信 オート
閉じる
衛星アンテナ設定を行います
決定 設定開始

7 ↑/↓で「衛星アンテナレベル」を選んで、決定ボタンを押す。

準備9：衛星アンテナの設定をする（つづき）

8 **衛星アンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。**

アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整し固定します。

受信中のアンテナレベル　最大値

9 **「閉じる」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

10 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

BSテレビ（NHK BS1）の画面が映ります。画面がきれいに映らないときはソニーサービス窓口などにご相談ください。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1 **手順7のあと、←/→で「ビープ音」の「入」を選んで、決定ボタンを押す。**

2 **手順8で最も高い音階の音になるよう、衛星アンテナを調整する。**

110度CSデジタルのアンテナレベルを確認するには

110度CSデジタルをご覧にならないときは確認する必要はありません。また、BSデジタルを受信できているときは110度CSデジタルのアンテナレベルが低くても、衛星アンテナの向きを調整する必要はありません。

あらかじめ下記を行ってください。
- 「衛星アンテナの向きを調整する」（☞107ページ）を行って、BSデジタルを受信する。
- お使いのアンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および共同受信システムが110度CSデジタルに対応していることを確認する。

1 **CSボタンを押して、CS1に切り換える。**

2 **004チャンネルに切り換える。**

3 **「衛星アンテナの向きを調整する」（☞107ページ）の手順3〜7を行う。**

「現在受信中の放送」に「SKY PerfecTV!110 P」と表示されます。

4 **アンテナレベルがBSデジタル（☞107ページ）と同等か確認する。**

SKY PerfecTV!110に視聴申し込みをしていないときは放送は映りませんが、アンテナレベルは確認できます。

5 **←/→で「閉じる」を選んで、決定ボタンを押す。**

6 **CSボタンを押して、CS2に切り換える。**

7 **100チャンネルに切り換える。**

「現在受信中の放送」に「SKY PerfecTV!110 S」と表示されます。

8 **手順3〜5をもう1度行う。**

9 **SKY PerfecTV!110の100ch（プロモチャンネル）が映るか確認する。**

ご注意

110度CSデジタルの映らないチャンネルがあるときや、映像が乱れるときは、アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSデジタルに対応していないことがあります。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

BS•110度CSデジタルの登録チャンネルを変更する

BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタルのチャンネルそれぞれをお好みで変更できます。

1 変更したい放送のボタンを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「▭(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「プリセット登録」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で設定したい放送を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓/←/→で変更したいチャンネルを選んで、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓で3桁チャンネル番号を変更し、決定ボタンを押す。

9 ↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSデジタル、110度CSデジタルのチャンネルをお買い上げ時の設定に戻すには

「BS·110度CSデジタルの登録チャンネルを変更する」の手順7で、↑/↓で「初期化」を選んで決定ボタンを押し、続けて「確定」を選んで、決定ボタンを押してください。

例：BSデジタル

数字ボタンで選べるすべてのBSデジタルと110度CSデジタルのチャンネルが、お買い上げ時の設定に戻ります。

準備10：各放送局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。
加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。
また、B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を本機のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞83ページ）。

NHK受信契約のお申し込みや転居のご連絡先：
0120-151515
受付　9:00～22:00（通話料無料）

http://www.nhk.or.jp/eigyo/

ご注意

B-CAS用ユーザー登録はがきをご投函いただかないと、NHK（BS1、BS2、デジタルハイビジョン）を受信するたびに、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されるようになります。

準備10：各放送局に視聴を申し込む（つづき）

2004年8月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
WOWOW[*1]	0120-580807 受付 9:00〜20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル[*2]	スター・チャンネルカスタマーセンター 03-5563-6777 受付 10:00〜18:00 http://www.star-ch.co.jp/

[*1] テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。ラジオ放送（WOWOW wave：491、492ch）と独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。

[*2] テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
SKY PerfecTV!110（CS1･CS2）	0570-012-110 （または、045-339-0002） 受付　10:00〜20:00 http://www.skyperfectv110.jp/

準備11：電話回線を設定する

電話回線の設定と、接続テストを行います。お買い上げ時は、「自動設定」で「通常発信」の電話回線に設定されています。電話回線をつないだときは、必ず電話回線を設定してください。

電話回線を設定する

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「通信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「電話回線設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ←/↑/↓で「電話回線の種類」欄を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で電話回線の種類を選んで、決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「トーン」に設定されています。

「トーン」でうまく通信できないときは

NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときは、お買い上げ時の設定**「トーン」**のままで手順8に進んでください。
請求されていないときは、**「10pps」または「20pps」**を選んでください。

8 ↑/↓で「発信方法」欄を選んで、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓で発信方法を選んで、決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「通常発信」に設定されています。

外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときは

手順10に進んでください。

外線に電話するときに、電話番号の前に「0」または「9」を付けるときは

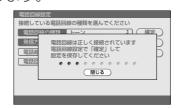
寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信）、または「9」を付ける（9発信）場合のみ、次のように設定します。
0発信するとき →「0発信」を選ぶ。
9発信するとき →「9発信」を選ぶ。

ご注意

- 会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話を管理している担当の方に「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。
- 引越しなどで外線に電話する方法が変わったときは、必ず発信方法を設定し直してください。
- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

10 ↑/↓で「電話線接続確認」を選んで、決定ボタンを押す。

接続確認が始まります。確認途中で止めるときは、「中止」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押してください。

確認結果が正常のときは、下の画面に変わります。

ご注意

「電話線接続確認」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、実際に電話が放送局へつながるかどうかはテストされていません。
そのため、本機と電話回線が接続されていても電話がつながらないことがあります。
このときは、再び手順7で電話回線の種類（「トーン」や「10pps」、「20pps」）を正しく設定し直してください。

次のページにつづく

準備11：電話回線を設定する（つづき）

11 「閉じる」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

12 ➡/⬆/⬇で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

13 メニューボタンを押して、メニューを消す。

電話回線の種類を検出するには

お使いの電話回線の種類が分からないときや、再設定したいときなどに本機が電話回線の種類を検出して自動的に設定します。

1 「電話回線を設定する」（☞110ページ）の手順1〜5を行う。

2 ➡/⬆/⬇で「電話回線検出」を選んで、決定ボタンを押す。

検出が始まります。途中で止めるときは、「中止」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押してください。
検出が終了すると、終了画面に変わります。

3 「閉じる」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

電話回線の種類には、検出された結果が設定されます。

4 「電話回線を設定する」（☞110ページ）の手順8〜13を行う。

電話番号の通知/非通知の設定をするには[詳細設定]

データ放送などでは、本機に接続した電話回線で、放送局と双方向で通信を行う場合があります。電話番号を通知しないで、放送局と通信したいときは、以下の設定を行ってください（マイラインプラスの契約をしていても設定できます）。データ放送によって、通知しないと双方向通信できないときは、通知するように設定を変更してください。

1 「電話回線を設定する」（☞110ページ）の手順1〜5を行う。

2 ⬆/⬇で「詳細設定」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ⬅で「発信先への電話番号通知」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「通知しない」、「通知する」または「設定なし」を選んで、決定ボタンを押す。

「通知しない」：電話番号の先頭に「184」を付けて、相手先にこちらの電話番号を知らせません。
「通知する」：電話番号の先頭に「186」を付けて、相手先にこちらの電話番号を知らせます。
「設定なし」（お買い上げ時の設定）：電話番号の先頭に何も付けません。

ご注意
デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごとの非通知設定」を解除してください。

5 ➡で「閉じる」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ⬆/⬇で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意
データ放送によっては、設定した内容が取り消されます。

電話会社を指定したりマイラインプラスの契約をしているかどうかを設定するには［詳細設定］

お客様が登録している電話会社以外の特定の電話会社を指定して双方向通信することができます。また、マイラインプラスの契約をしているかどうかも設定できます。

1 「電話回線を設定する」（☞110ページ）の手順1〜5を行う。

2 ↑/↓で「詳細設定」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ←/↑/↓で「電話会社のダイヤル番号」欄を選んで、決定ボタンを押す。

4 リモコンの①〜⑩の数字ボタンで変更したい電話会社の識別番号の下2〜5桁を入力して、決定ボタンを押す。

例：識別番号が「0038」のとき

ちょっと一言

←を押すと、入力した数値を取り消せます。

ご注意

電話会社の番号を間違えると通信ができなくなりますので、電話会社からの請求書などで確認してください。

5 ↑/↓/←/→で（マイラインプラス契約）「している」または「していない」を選んで、決定ボタンを押す。

6 →で「閉じる」を選んで、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

ダイヤルアップを設定する

契約しているインターネットプロバイダーを通して通信する場合には、設定する必要があります。

インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「通信設定」を選んで、決定ボタンを押す。

準備11：電話回線を設定する（つづき）

5 ↑/↓で「ダイヤルアップ設定」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ←で「電話番号」欄を選んで、決定ボタンを押す。

7 ①～⑩までの数字ボタンでアクセスポイントの電話番号を入力して、決定ボタンを押す。

ちょっと一言
←を押すと、入力した数値を取り消します。

8 ↑/↓で「接続ID」欄を選んで、決定ボタンを押す。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

9 ソフトウェアキーボードで接続ID名を入力する。

10 ↑/↓/←/→で「入力」を選んで、決定ボタンを押す。

入力した接続IDが表示されます。
文字数が多くてすべて表示できないときは、接続IDのあとに「…」を表示します。

11 ↑/↓/←/→で（パスワード保存を）「する」または「しない」を選んで、決定ボタンを押す。

「する」：　パスワードを保存します。
「しない」：接続のたびにパスワードを入力する必要があります。「しない」を選んだときは手順15に進んでください。

12 ↑/↓で「接続パスワード」欄を選んで、決定ボタンを押す。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

13 ソフトウェアキーボードで接続パスワードを入力する。

14 ↑/↓/←/→で「入力」を選んで、決定ボタンを押す。

入力したパスワードは、＊マークで表示されます。

文字数が多くてすべて表示できないときは、パスワードのあとに「…」を表示します。

15 設定内容を確認して、→で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

16 メニューボタンを押して、メニューを消す。

設定したアクセスポイントに接続できるかを確認するには

実際に接続をするので、電話料金がかかります。

1 「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）の手順1～5を行う。

2 ↑/↓で「設定確認」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ←で「確認する」を選んで、決定ボタンを押す。

確認しないときは「中止」を選んでください。

ご注意

設定確認するには電話料金がかかります。

「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）の手順11で（パスワード保存を）「する」に設定したときは、「設定を確認中です」と表示されます。手順8に進んでください。

「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）の手順11で（パスワード保存を）「しない」に設定したときは、手順4に進んでください。

4 パスワード欄が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 ソフトウェアキーボードで接続パスワードを入力する。

6 ↑/↓/←/→で「入力」を選んで、決定ボタンを押す。

入力したパスワードは＊マークで表示されます。

文字数が多くてすべて表示できないときは、パスワードのあとに「…」を表示します。

準備11：電話回線を設定する（つづき）

7 ↑/↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

正常に接続できると下の画面に変わります。

接続や設定が正しくないときは

診断結果画面にエラー内容や対処方法が表示されます。エラー内容を確認して、接続または設定をし直してください。

8 結果内容と「閉じる」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

9 設定内容を確認して、↑/↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

接続確認を途中で止めるには

手順7で「設定を確認中です」という表示がでている間に「中止」を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

「ダイヤルアップ設定」のすべての項目をお買い上げ時の設定に戻せます。

1 「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）の手順1～5を行う。

2 ↑/↓で「初期化」を選んで、決定ボタンを押す。

すべての項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

3 設定内容を確認して、↑/↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

初期化しないときは、「中止」を選んでください。設定画面が消えます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

更に細かい設定を行うには

必要に応じて詳細設定をしてください。

1 「ダイヤルアップを設定する」（☞113ページ）の手順1～5を行う。

2 ↑/↓で「詳細設定」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ←/↑/↓で設定する項目を選ぶ。

項目	説明
無通信切断 タイマー値	通信の無い状態で何分たつと通信を切断するかを設定する。
DNSサーバー* （プライマリ） （セカンダリ）	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、IPアドレスで特定されている （例：192.168.xxx.xxx）。

* DNSサーバーは、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。

4 設定する。

「無通信切断タイマー値」を設定するときは

↑/↓で項目を選んで、決定ボタンを押す。
1分～20分の間で設定できます。

「DNSサーバー（プライマリ）」、「DNSサーバー（セカンダリ）」を設定するときは

1. ↑/↓で項目を選んで、決定ボタンを押す。
2. ①～⑩の数字ボタンまたは↑/↓で3桁の数値を入力して、決定ボタンを押す。
3. →で右の枠に移動して、決定ボタンを押す。
4. 手順2、3をくり返して、4つの枠に入力する。

ちょっと一言
←を押すと、入力した数値を取り消せます。

「DNSサーバーアドレス（プライマリまたはセカンダリ）が正しくありません　修正しないで閉じると無効になります」と表示されたときは
入力した設定値が範囲外（256以上）です。設定値を確認して、やり直してください。

5 →/↑/↓で「閉じる」を選んで、決定ボタンを押す。

6 必要であれば設定確認を行う。
詳しくは、「設定したアクセスポイントに接続できるかを確認するには」（☞115ページ）をご覧ください。

確認結果内容を確認して、「閉じる」を選んで、決定ボタンを押してください。

7 ↑/↓で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

暗証番号や視聴年齢制限を設定する

暗証番号設定すれば、デジタル放送の視聴年齢制限付き番組（番組表☞24ページや「番組説明」画面☞27ページで🔒のついている番組）を視聴できる年齢を制限できます。
お買い上げ時、暗証番号と視聴年齢制限は設定されていません。

ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。
視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。
万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

ちょっと一言
設定した暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報を消去する」（☞120ページ）を行うと、新しく設定し直すことができます。ただし、個人情報を消去すると、すべての個人情報が消去されてしまうので、ご注意ください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「▭（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

暗証番号や視聴年齢制限を設定する（つづき）

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「その他」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「暗証番号設定」を選んで、決定ボタンを押す。

1 ①～⑩までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する。

「0」を入力するときは、⑩ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。

例：暗証番号が1234の場合

ちょっと一言

暗証番号を入力するときは、リモコンの↑/↓/←/→ボタンでも行えます。←/→で入力する桁を選び、↑/↓で0～9の数字が選べます。→ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動し、←ボタンを押すと数字が削除されます。4桁すべての数字を入力したら、→で「確定」を選んで、決定ボタンを押します。

2 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「視聴年齢制限設定」を選んで、決定ボタンを押す。

7 視聴年齢制限を設定する。

1 ①～⑩までの数字ボタンで、手順5で設定した4桁の暗証番号を入力する。

「0」を入力するときは、⑩ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

入力された数字は、＊マークで表示されます。

例：暗証番号が1234の場合

ちょっと一言

暗証番号を入力するときは、リモコンの↑/↓/←/→ボタンでも行えます。←/→で入力する桁を選び、↑/↓で0〜9の数字が選べます。→ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動し、←ボタンを押すと数字が削除されます。4桁すべての数字を入力したら、→で「確定」を選んで、決定ボタンを押します。

2 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

3 ←/↑/↓で「視聴するための年齢を設定する」を選んで、決定ボタンを押す。

視聴制限をしないときは

「視聴するための年齢を設定しない」を選ぶ。
視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

4 ↑/↓で「年齢制限」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で年齢制限を設定して、決定ボタンを押す。

4才〜19才で設定できます。

例えば「14」才〜に設定すると、15才から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。15才から視聴可能な番組は、「番組説明」画面（☞27ページ）では「🔒15才〜（15才以上視聴可能）」と表示されます。

すべての成人向け番組の視聴を制限するときは

「4」才〜などの低い年齢に設定する。
視聴年齢制限付き番組を選ぶと、暗証番号を入力しないと見ることができなくなります。

6 →で「確定」を選んで、決定ボタンを押す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

視聴年齢制限付き番組を選ぶと

暗証番号入力画面が表示されます。設定した暗証番号を ①〜⑩₀の数字ボタンまたは↑/↓で入力すると、番組を見ることができます。

暗証番号や視聴年齢制限を設定する（つづき）

暗証番号を変更するには

1 「暗証番号や視聴年齢制限を設定する」（☞117ページ）の手順1～4を行う。

2 ↑/↓で「暗証番号設定」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ①～⑩までの数字ボタンで変更前の4桁の暗証番号を入力する。

変更前の暗証番号を忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

4 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

5 ①～⑩までの数字ボタンで好みの数字を入力する。

6 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。
暗証番号が変更されます。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
暗証番号を入力するときは、リモコンの↑/↓/←/→ボタンでも行えます。←/→で入力する桁を選び、↑/↓で0～9の数字が選べます。→ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動し、←ボタンを押すと数字が削除されます。4桁すべての数字を入力したら、→で「確定」を選んで、決定ボタンを押します。

個人情報を消去する

本機を廃棄したり、譲渡したりするときに、個人的な情報を消去し、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

消去できる内容

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 設定した暗証番号･パスワードなどの登録情報
- 予約設定の情報
- 予約やペイ･パー･ビューなどの履歴情報
- 放送局からのメール

ご注意
個人情報は項目ごとに消去することはできません。一度消去すると、すべての個人情報が消去されます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「機器情報」を選んで、決定ボタンを押す。

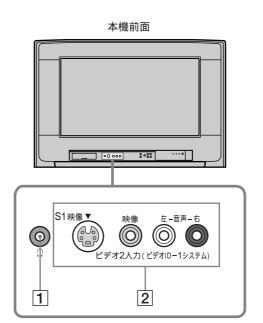
5 ↑/↓で「個人情報初期化」を選んで、決定ボタンを押す。

6 ←で「消去する」を選んで、決定ボタンを押す。

7 本当に消去してよいか確認した上で、←で「はい」を選んで、決定ボタンを押す。

「消去中です」と表示され、いったん画面が消えたあと、BSテレビ（NHK BS1）の画面になります。

接続端子のなまえとはたらき

本機前面

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子**

ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞135ページ）**

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

3 **ビデオ1、3入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞125～126、129、132～133ページ）**

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

4 **デジタル放送/ビデオ出力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞125～126、130～131、132～133ページ）**

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、ビデオ1～3入力*、AVマルチ入力の信号が出力されます。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、「(各種切換)」メニューで「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」に設定してください（☞127ページ）。
「(各種切換)」→「ビデオ出力設定」→「ビデオ1あり」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。

ご注意

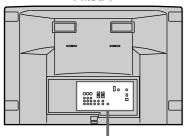
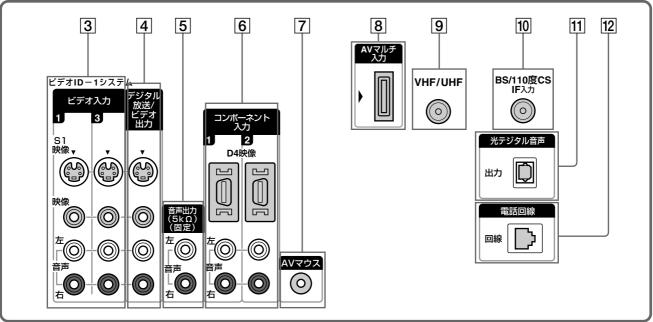
- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像音声信号は出力されません。
- デジタル放送のラジオやデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません。
- S1映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1～3入力のS1映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。

録画実行中（☞37、40、42ページ）のご注意

通常は、画面に映っている映像と音声を出力します。ただし、録画実行中は画面に映っている映像と音声には関係なく、録画しているチャンネルの映像と音声が出力されます。シンクロ録画出力設定を「入」にしているときは、予約開始3分前から予約終了まで、録画するチャンネルの映像と音声が出力されます。

5 **音声出力（5kΩ）（固定）端子（左/右）（☞137ページ）**

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。
録画予約（☞37、40、42ページ）の設定に関係なく、選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

本機後面

6 コンポーネント1、2入力端子（D4映像/音声）（☞128、130〜131、132ページ）

D4映像入力端子
デジタルCSチューナーやビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子
デジタルCSチューナーやビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

D4映像入力端子での入力信号切換について（HDモード）
D4映像入力端子に入力される以下の2種類の信号を判別して、本機の画面に映すための設定です。デジタル放送やコンポーネント入力からの信号に有効です。

- **デジタルハイビジョン放送**（有効走査線数1080本）：D4映像入力端子に他のBSデジタルチューナーなど、デジタルハイビジョン放送機器がつながっているとき。
- **従来のハイビジョン放送**（有効走査線数1035本）：D4映像入力端子に従来のハイビジョン（ベースバンド）機器がつながっているとき。デジタルハイビジョンの識別制御信号がない映像信号は、有効走査線数1035本の画像で表示します。

「（各種切換）」メニューで「HDモード」を「1080」（お買い上げ時の設定）または「1035」に設定してください。設定していない方の信号は正しく映りません。
「（各種切換）」→「HDモード」→「1080」または「1035」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。

D端子について
デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です（☞10ページ）。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

接続端子のなまえとはたらき（つづき）

7 AVマウス端子（☞125～126、130～131ページ）

付属のAVマウスをつなぎます。

8 AVマルチ入力端子（☞134ページ）

別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、“プレイステーション 2”などのAVマルチ出力端子につなぎます。

9 VHF/UHFアンテナ端子（☞85、125～126、130～131ページ）

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

10 BS/110度CS IF入力端子（☞88ページ）

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

ご注意

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

11 光デジタル音声出力端子（☞135ページ）

AVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
地上アナログ放送やビデオ機器などからのアナログ音声は、出力されません。
デジタル放送の予約録画実行中は音声が固定されます。

AVアンプなどにつなぐとき

☞135ページをご覧ください。

サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどにつなぐときは

☞135ページをご覧ください。

12 電話回線端子（☞92、93ページ）

付属のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

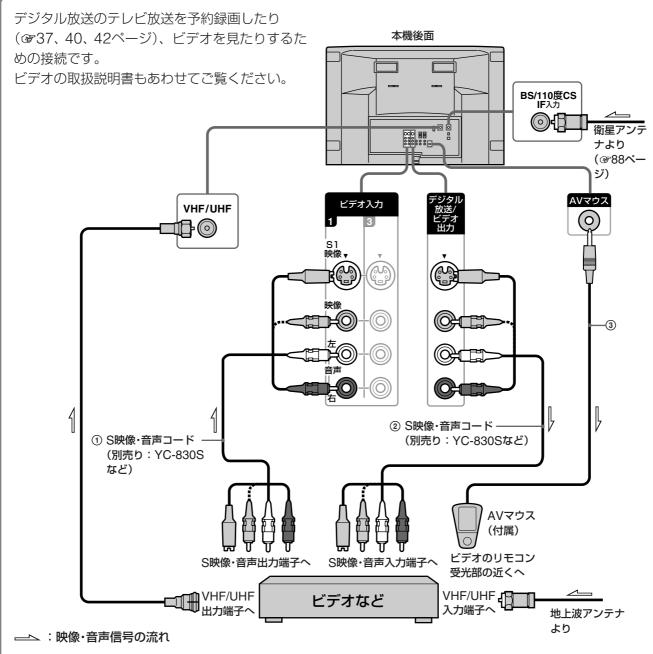
ビデオなどをつなぐ

ビデオデッキやチャンネルサーバー、ソニー製ハードディスクビデオレコーダーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、S1映像端子につないでください*。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

* レーザーディスクプレーヤーのときは映像端子につないでください。三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

BSアナログチューナーのないビデオなどのとき

デジタル放送のテレビ放送を予約録画したり（☞37、40、42ページ）、ビデオを見たりするための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機後面

BS/110度CS IF入力

衛星アンテナより（☞88ページ）

VHF/UHF

ビデオ入力 1 3

S1 映像

映像

左 音声 右

デジタル放送/ビデオ出力

AVマウス

③

① S映像・音声コード（別売り：YC-830Sなど）

② S映像・音声コード（別売り：YC-830Sなど）

S映像・音声出力端子へ

S映像・音声入力端子へ

AVマウス（付属）

ビデオのリモコン受光部の近くへ

VHF/UHF出力端子へ

ビデオなど

VHF/UHF入力端子へ

地上波アンテナより

：映像・音声信号の流れ

① 再生映像を見る（☞54ページ）ための接続。
ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

② デジタル放送のテレビ放送をビデオに録画（☞37、40、42ページ）するための接続。ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

③ デジタル放送のテレビ放送を本機と連動して予約録画（☞37、40、42ページ）するための接続。「AVマウスを設定する」（☞34ページ）も行ってください。
シンクロ録画機能を使うときは、AVマウスをつなぐ必要はありません（☞31ページ）。

ビデオなどの映像を見るには

ビデオなどの映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞54ページ）。

つないだ機器を本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞57ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機から録画した16:9の映像を、画面の横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き延ばされて出力されます。
- 本機をモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はデジタル放送/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞127ページ）。

BSアナログチューナー内蔵ビデオのとき

デジタル放送のテレビ放送を予約録画したり（☞37、40、42ページ）、ビデオを見たりするための接続です。ビデオのBSアナログチューナーを使ってBSアナログ放送を見たり、録画することもできます。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

① ビデオの再生映像を見たり（☞54ページ）、BSアナログ放送を見るための接続。ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。
② デジタル放送のテレビ放送をビデオに録画（☞37、40、42ページ）するための接続。BSアナログ放送の録画は、ビデオ内蔵のBSアナログチューナーで受信し録画してください。ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。
③ デジタル放送のテレビ放送を本機と連動して予約録画するための接続（☞37、40、42ページ）。「AVマウスを設定する」（☞34ページ）も行ってください。
シンクロ録画機能を使うときは、AVマウスをつなぐ必要はありません（☞31ページ）。

ビデオを見るには

ビデオの映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞54ページ）。

ビデオを本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞57ページ）をご覧ください。

ご注意

- 110度CSデジタルに対応していない分配器を使ったり、衛星アンテナからビデオを経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につないだりしないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。
- 本機をモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ2、3入力端子のいずれかにつないでください。お買い上げ時の設定では、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はデジタル放送/ビデオ出力端子から出力されないためです（☞127ページ）。

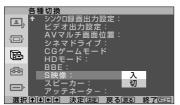
ビデオ1～3入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニューで設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された映像が映ります。

1 ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「(各種切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「S映像」を選んで、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「入」または「切」を選んで、決定ボタンを押す。

「入」：S1映像入力端子から入力された映像を見ることができる。

「切」：映像入力端子から入力された映像を見ることができる。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ビデオ1入力の信号をデジタル放送/ビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、デジタル放送/ビデオ出力端子から出力されないようになっています。本機をモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは再生機をビデオ2、3入力端子のいずれかにつないでください。
ビデオ1入力の映像や音声をデジタル放送/ビデオ出力端子につないだビデオ機器などで楽しむときは、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がデジタル放送/ビデオ出力端子から出力されます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選んで、決定ボタンを押す。

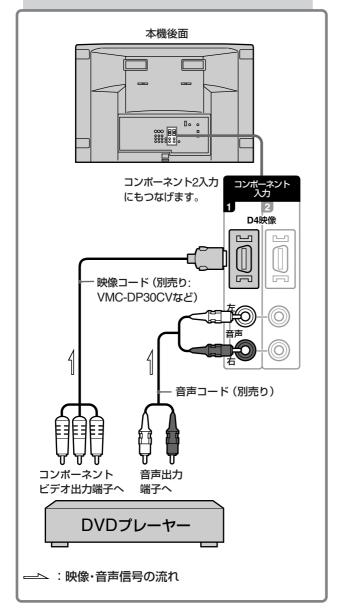
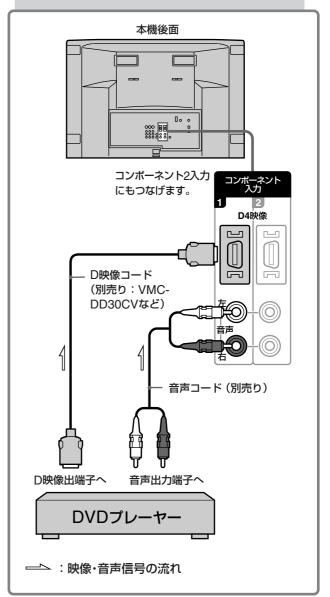
3 ↑/↓で「ビデオ出力設定」を選んで、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「ビデオ1あり」を選んで、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のないDVDプレーヤーのとき

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のあるDVDプレーヤーのとき

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

DVDプレーヤーの映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞54ページ）。

DVDプレーヤーを本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞57ページ）をご覧ください。

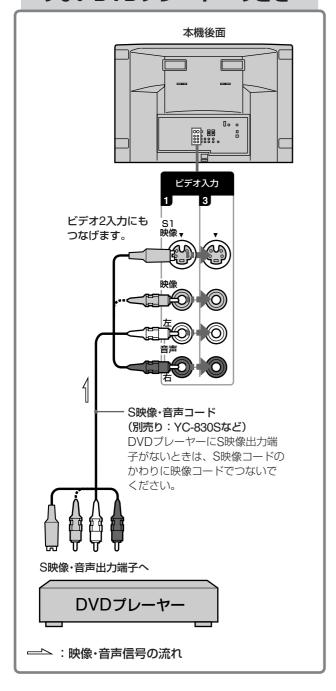
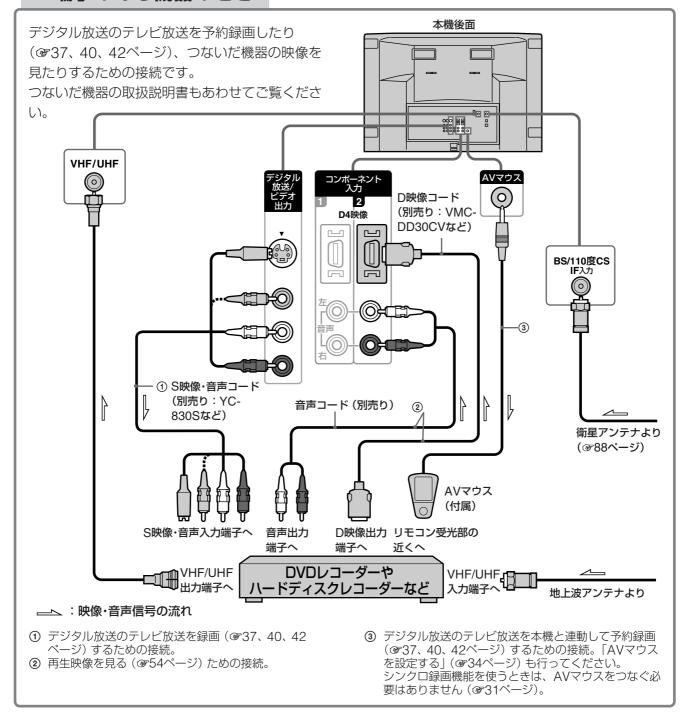
コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのとき

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

DVDプレーヤーの映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞54ページ）。

DVDプレーヤーを本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞57ページ）をご覧ください。

DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなどをつなぐ

DVDレコーダーやハードディスクレコーダーまたはそれらが複合した機器などをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

D端子のある機器のとき

デジタル放送のテレビ放送を予約録画したり（☞37、40、42ページ）、つないだ機器の映像を見たりするための接続です。
つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

① デジタル放送のテレビ放送を録画（☞37、40、42ページ）するための接続。
② 再生映像を見る（☞54ページ）ための接続。
③ デジタル放送のテレビ放送を本機と連動して予約録画（☞37、40、42ページ）するための接続。「AVマウスを設定する」（☞34ページ）も行ってください。
シンクロ録画機能を使うときは、AVマウスをつなぐ必要はありません（☞31ページ）。

つないだ機器の映像を見るには

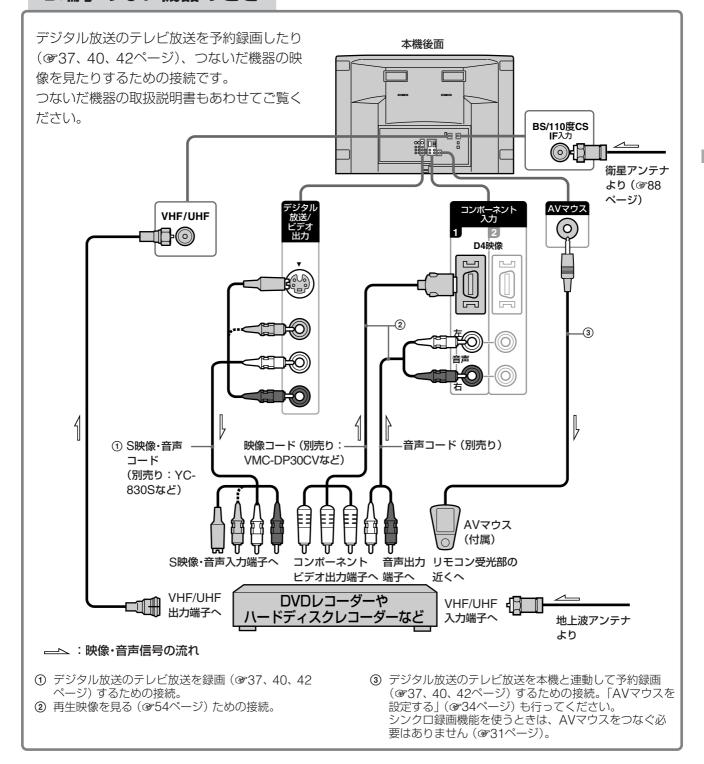
つないだ機器の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞54ページ）。

つないだ機器を本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞57ページ）をご覧ください。

ご注意

本機から録画した16:9の映像を、画面の横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き延ばされて出力されます。

D端子のない機器のとき

デジタル放送のテレビ放送を予約録画したり（☞37、40、42ページ）、つないだ機器の映像を見たりするための接続です。
つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

① デジタル放送のテレビ放送を録画（☞37、40、42ページ）するための接続。
② 再生映像を見る（☞54ページ）ための接続。
③ デジタル放送のテレビ放送を本機と連動して予約録画（☞37、40、42ページ）するための接続。「AVマウスを設定する」（☞34ページ）も行ってください。
シンクロ録画機能を使うときは、AVマウスをつなぐ必要はありません（☞31ページ）。

つないだ機器の映像を見るには

つないだ機器の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞54ページ）。

つないだ機器を本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞57ページ）をご覧ください。

ご注意

本機から録画した16:9の映像を、画面の横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き延ばされて出力されます。

デジタルCSチューナーをつなぐ

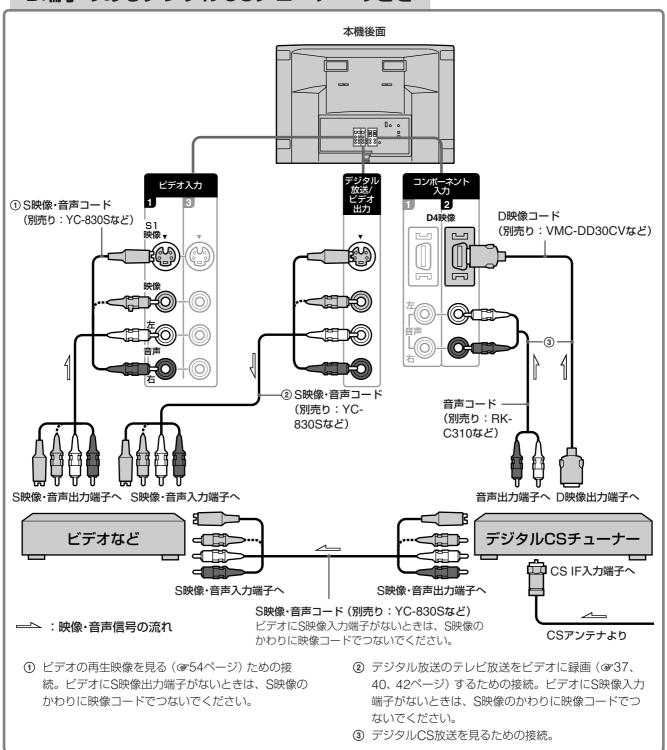
デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。詳しくは、デジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D端子のあるデジタルCSチューナーのとき

① ビデオの再生映像を見る（☞54ページ）ための接続。ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

② デジタル放送のテレビ放送をビデオに録画（☞37、40、42ページ）するための接続。ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

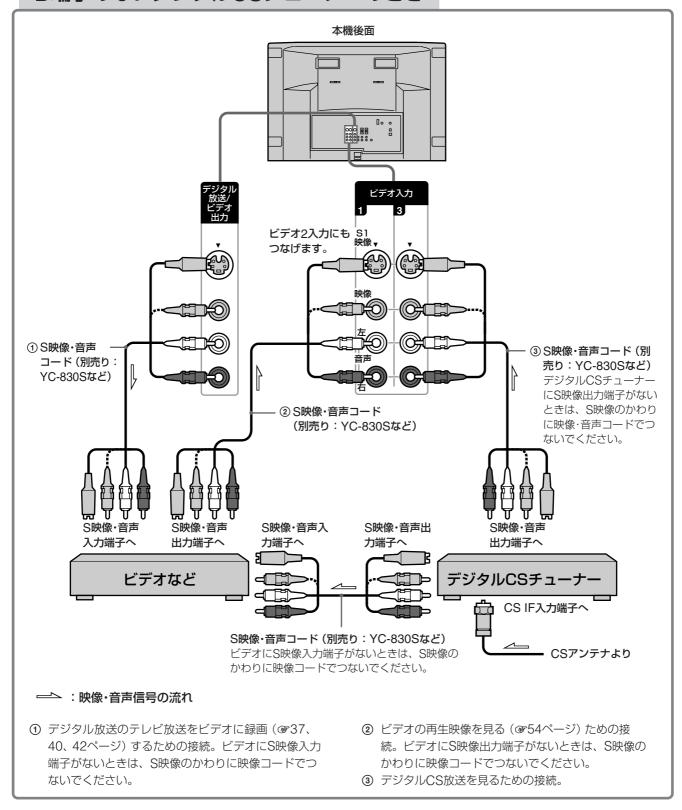
③ デジタルCS放送を見るための接続。

デジタルCS放送を見るには

デジタルCS放送の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞54ページ）。

D端子のないデジタルCSチューナーのとき

① デジタル放送のテレビ放送をビデオに録画（☞37、40、42ページ）するための接続。ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

② ビデオの再生映像を見る（☞54ページ）ための接続。ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

③ デジタルCS放送を見るための接続。

デジタルCS放送を見るには

デジタルCS放送の映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞54ページ）。

“プレイステーション 2”などをつなぐ

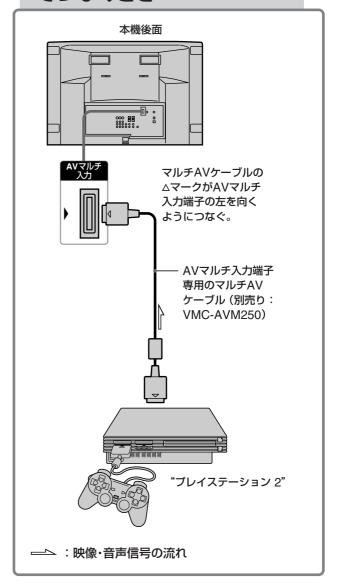
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”（PS one）および
“プレイステーション”を本機とつないで楽しめます。
つないだ“プレイステーション 2”などの取扱説明書もご覧ください。

ご注意

“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y CB/PB CR/PR）に固定されるため、画面が乱れる場合があります。本機のAVマルチ入力端子は、このコンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー･コンピュータエンタテインメント　インフォメーションセンター

URL .... http://www.playstation.jp/info/
ナビダイヤル 0570-000-929
PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00～18:00

別売りのマルチAVケーブルでつなぐとき

“プレイステーション 2”などを楽しむには

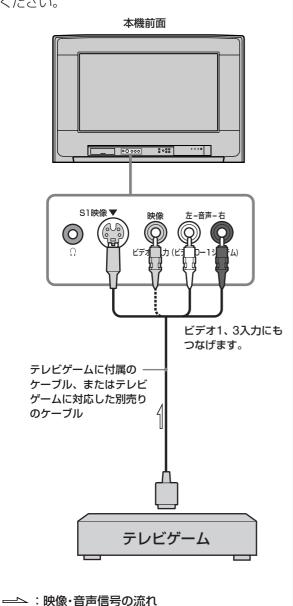
映像が出るまで、AVマルチボタンをくり返し押す（☞55ページ）。

ご注意

ソフトウェアの信号によっては、AVマルチ入力端子のRGBやY/CB/CR信号に適していないものもあります。

その他のテレビゲームなどをつなぐとき

本機前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もご覧ください。

：映像･音声信号の流れ

テレビゲームを楽しむには

映像が出るまで、ビデオボタンをくり返し押す（☞54ページ）。

ご注意

電子的なライフルやガン（銃）などでテレビ画面を標的にして楽しむシューティングゲームなどは、その機能を使えないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

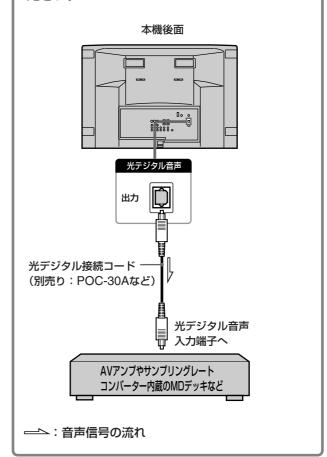
オーディオ機器をつなぐ

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

光デジタル音声入力端子を持つ**AVアンプ**や、**サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキ**などをつなぎます。

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

：音声信号の流れ

他機との接続

オーディオ機器をつなぐ（つづき）

オーディオ機器に合わせて光デジタル出力設定を切り換える

つないだオーディオ機器に合わせて、光デジタル音声出力端子から出力する信号の出力設定をしてください。

接続機器	光デジタル出力設定と本機後面の光デジタル出力端子から出力する信号
AAC対応AVアンプ	**「オート」（お買い上げ時の設定）：** AAC音声（デジタル放送用音声方式）がそのまま出力されます。
AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの機器	**「PCM」：** PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。

1 **デジタル放送ボタンのいずれかを押す。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「▭（メニュー切換）」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「各種設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「その他」を選んで、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で「光デジタル出力設定」を選んで、決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓で「オート」または「PCM」を選んで、決定ボタンを押す。**

「オート」： AAC対応AVアンプをつなぐとき

「PCM」： AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの機器をつなぐとき

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

録画実行中（☞37、40、42ページ）のご注意

本機のスピーカーから聞こえる音声には関係なく、予約されたデジタル放送のチャンネルの音声を出力します。ただし、「PCM」に設定されているときは、二重音声番組では、「（各種切換）」メニューの「二重音声設定」（☞32ページ）で設定した音声を出力します。
第2音声など音声信号が複数あるときは、予約時に設定した音声を出力します（☞39ページ）。

光デジタル音声入力対応のオーディオ機器のスピーカーのみで音声を聞くときは

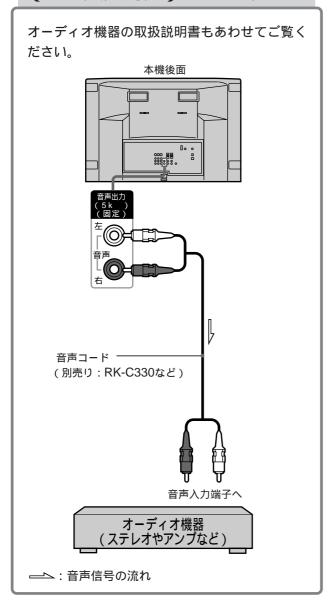
「（各種切換）」メニューで「スピーカー」を「切」にしてください。
「（各種切換）」→「スピーカー」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカー、また、ヘッドホンをつないでいるときはヘッドホンからも音声が出なくなります。オーディオ機器側で音量を調節してください。

ご注意

- デジタル放送では、「光デジタル出力設定」を「オート」にすると、光デジタル音声出力からAAC音声が出力されます。AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどにつなぐときは、必ず「PCM」に設定してください。「オート」のままだと、正しく出力されません。
- 本機には、録画防止機能（コピープロテクション）が付いています（☞45ページ）。そのため、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、録音できない番組があります。
- 光デジタル音声出力端子からは、データ放送での効果音（ピンポンとかブーなど）は出力されません。
- 地上アナログ放送やビデオ機器などからのアナログ音声は出力されません。

その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつなぐとき

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

⟹：音声信号の流れ

つないだオーディオ機器のスピーカーのみで音声を聞くときは

「（各種切換）」メニューで「スピーカー」を「切」にしてください。

「（各種切換）」→「スピーカー」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。

他機との接続

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

ケーディー　エスアール　ケーディー　エスアール
KD-28SR300、KD-32SR300

画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

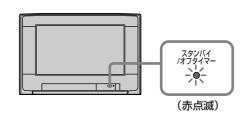
アールエム　ジェイ
リモコンの型名：RM-J1005

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示－画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその速さでテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、ソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

（赤点滅）

1 本機前面のスタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。

2 テレビ本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

映像について

デジタル放送を視聴しているときは、「デジタル放送について」（☞143ページ）をご覧ください。

症状	対処のしかた
画像が出ない	
すべてのチャンネルが映らない。	● 電源コードを、テレビ本体と壁のコンセントにしっかりつないでください。 ● 本体の電源スイッチを押して、主電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● 電波の送信元付近の地域は、電波が強いため、画面に縞状のノイズが出ることがあります。「(各種切換)」メニューで「アッテネーター」（減衰器）の設定を「入」にしてください（☞87ページ）。 「(各種切換)」→「アッテネーター」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞96ページ）。
テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（電源スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、地上アナログ放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的に電源スタンバイ状態になります。（ただし、デジタル放送のチャンネルを表示しているときは、そのまま画面が表示され、電源スタンバイ状態にはなりません。） ● オフタイマーを設定していませんでしたか?（☞13ページ） ● 「(各種切換)」メニューで「無操作電源オフ」を設定していませんか?（☞64ページ）
つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞54ページ）。 ● S映像入力のときは、「(各種切換)」メニューで「S映像」を「入」にしてください（☞127ページ）。 「(各種切換)」→「S映像」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ● “プレイステーション 2”をAVマルチ入力端子につないでいるときは、“プレイステーション 2”のコンポーネント出力の設定と本機のAVマルチ（RGBまたはY/CB/CR）入力を合わせてください（☞55ページ）。
きれいに映らない	
画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。
斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。

その他

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処のしかた
きれいに映らない	
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 画質モードボタンを押して、画質を選んでください（☞65ページ）。 ●「画質/音質」メニューの「画質調整」で、画質を調整してください（☞67ページ）。 「(画質/音質)」→「画質調整」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ●「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります（☞64ページ）。
画面がまぶしい。	● 画質モードボタンを押して、画質を選んでください（☞65ページ）。
画面の一部に色むらがある。	● 本機をマンションの壁、金属製の雨戸、金属スタンド、ビデオまたはスピーカーなどから離して置いてください。 ● テレビをしばらく見たあと、本機の向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。 一度本体の電源スイッチで電源を切り、約30分後に本機を見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。 ● ハロゲンヒーターなどの電化製品の影響を受けて色むらが発生することがあります。そのときは、一度本体の電源スイッチでテレビの電源を切り、約30分後にハロゲンヒーターなどの電化製品の電源を切った状態で、本機の電源を入れなおし、次にハロゲンヒーターなどの電源を入れてください。本機の電源を入れるときは、ハロゲンヒーターなどの電源をいったん切った状態で入れるようにすると影響を受けにくくなります。
画像が傾いている/上下にかたよっている。	●「(設定)」メニューで「画像傾き補正」の「傾き補正　回転」と「傾き補正　上下」を調整してください（☞94ページ）。 「(設定)」→「画像傾き補正」→「傾き補正　回転」と「傾き補正　上下」を選んで、調整する。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ● 磁界の強い場所（高圧電線や電車、金属製の雨戸、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、「画像傾き補正」ではうまく補正されないことがあります。 このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、お買い上げ店やソニーサービス窓口などにご相談ください。
縞状のノイズが多い。	● 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は、他の電源コードや接続ケーブルから、できるだけ離してください。 ● 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	● ビデオなどの機器を本機に近付けて設置すると相互干渉でノイズが生じることがあります。30cm以上離して設置してください。 ● 本機の前面や側面にビデオを設置するのを避けてください。
AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”などの画像がずれる。	●「(各種切換)」メニューの「AVマルチ画面位置」で画面位置を調整してください（☞56ページ）。 「(各種切換)」→「AVマルチ画面位置」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”の画像がきれいに映らない。	●“プレイステーション 2”をAVマルチ入力につないでいるときは、“プレイステーション 2”のコンポーネント出力の設定と本機のAVマルチ（RGBまたはY/CB/CR）入力を合わせてください（☞55ページ）。

症状	対処のしかた
ワイド画面が切り換わる	
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。	● CMが入ったり、番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです（☞71ページ）。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞71ページ）。 ● オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか? チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的に最適な画面に切り換わります。 ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、「オートワイド設定」メニューで「オートワイド」を「切」にしてください（☞72ページ）。 「(画面モード)」→「オートワイド設定」→「オートワイド」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
画面が一瞬光る	
暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。	● ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。

音声について

症状	対処のしかた
音が出ない/雑音が多い	
画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないかを確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。 ● 「(各種切換)」メニューで「スピーカー」を「入」にしてください。 「切」のときは、本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。また、ヘッドホンをつないでいるときは、ヘッドホンからも音声は出ません。 「(各種切換)」→「スピーカー」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処のしかた
音が出ない/雑音が多い	
雑音が多い。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 ● 「地上アナログ設定」メニューで「オートステレオ」を「切」にしてください（☞75ページ）。 「（設定）」→「地上アナログ設定」→「オートステレオ」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
聞きたい音声になっていない。	● 二か国語放送などで、副音声や第2音声*になっていませんか？（☞73ページ） *デジタル放送のみ
本機から異音がする	
「ピシッ」というきしみ音が出る。	● 周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
電源を入れたときに「ブーン」や「カチッ」という音がする。	● 地磁気などの影響を取り除く自動消磁機能の動作音です。ソニーのテレビは、トリニトロン管を使用しているため、音が大きく感じられることがありますが、異常ではありません。ご安心ください。
本機の電源を切った直後に本機の後ろから「パチパチ」音がする。	● 本機内部で発生する静電気が原因で、本機に影響はありません。
電源スタンバイ時「カチッ」と音がする。	● 故障ではありません。これはデジタル放送からのデータを取得するために本機の電源が自動的に入るためで、本機に影響はありません。（このとき通信ランプが点灯します。）（☞150ページ）

デジタル放送について

症状	対処のしかた
デジタル放送が映らない/乱れる	
地上デジタルのアンテナ受信設定ができない/放送を受信できない。	● 地上デジタルに対応したUHFアンテナにつないでください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているか、ご確認ください。
BSデジタル・110度CSデジタルの衛星アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。	● 衛星アンテナを前方に障害物がないところに設置してください。 ● 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● 衛星アンテナと本機は指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください（☞88ページ）。 ● 衛星アンテナの向きを調整してください（☞107ページ）。 ● 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。
地上デジタルが映らない/画像が乱れている。	● 電波の送信元付近の地域は電波が強いため、画面にノイズが出ることがあります。「（各種切換）」メニューで「アッテネータ」（減衰器）の設定を「入」にしてください（☞87ページ）。 「（各種切換）」→「アッテネーター」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください（☞85ページ）。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● チャンネルスキャン（☞102ページ）を行ってください。
BSデジタル・110度CSデジタルが映らない/画像が乱れている。	**衛星アンテナを直接つないでいる場合** ● 衛星アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ●「BS/CS設定」メニューで「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてください（☞105ページ）。 「（メニュー切換）」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナ設定」→「オート」または「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ● 衛星アンテナの向きを調整してください（☞107ページ）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSデジタル・110度CSデジタルを分波してください（☞86ページ）。 ●「BS/CS設定」メニューで「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください（☞105ページ）。 「（メニュー切換）」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナ設定」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 **複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** ● 衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、晴れていても、BSデジタル、110度CSデジタルを送信する放送衛星会社（☞109ページ）の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● サテライト専用のケーブルを使ってください（☞88ページ）。 ● 加入申し込みが必要なチャンネルもあります（☞109ページ）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処のしかた
デジタル放送が映らない/乱れる	
BSデジタルは映るのに110度CSデジタルが映らない。	● アンテナ分配器、ブースター（増幅器）および共同受信システムは110度CSデジタルに対応していますか？（☞88ページ） ● 衛星アンテナレベルを確認してください（☞107ページ）。 ● 110度CSデジタルをご覧になるには受信契約が必要です（☞109ページ）。
デジタル放送のチャンネルが映らない。	● B-CASカードは入っていますか？（☞83ページ） ● B-CASカードは正しい向きで入っていますか？（☞83ページ） ● 放送日や時間を確認してください。 ● 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約（加入申し込み）をしていますか？（☞109ページ） ● アンテナをつなぎ、電源を入れてからしばらくお待ちください。また、長期間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにすると、視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。
デジタル放送がときどき映らない/一部のチャンネルが映らない/画像が乱れる。	● よく映らないチャンネルを映したまま、「地上デジタルアンテナレベル」または「衛星アンテナレベル」を表示させ（☞103、107ページ）、画面の下部に表示される「アンテナサービス」の数値を確認し、ソニーサービス窓口にご相談ください。
チャンネル＋/－ボタンで選局できない。	● デジタル放送の放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）内で順送り選局します。ご覧になっている放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）と放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）をご確認ください（☞16、20ページ）。 ● 複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているとき（イベント共有）は、代表チャンネルのみが選局できます（☞46ページ）。
デジタル放送のチャンネルが切り換わらない。	● 予約一覧で予約した録画の実行中かを確認してください（☞43ページ）。
画面が黒くなり何も映らない。	● 音声だけのラジオのチャンネルが選ばれたためです。故障ではありません。
BSデジタル・110度CSデジタルの映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	● 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り換わる場合があります。頻繁に切り換わるときは、「BS/CS設定」メニューで「降雨対応放送受信」を「切」にしてください（☞46ページ）。 「⊟（メニュー切換）」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「降雨対応放送受信」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
デジタル放送のチャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	● デジタルハイビジョン信号HDと標準テレビ信号SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。

症状	対処のしかた

デジタル放送の音声が乱れる/おかしい

症状	対処のしかた
音声が出ない/音声がおかしい。	● 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていませんか？（☞73ページ） ●「音質設定」メニューで「TruSurround」を「切」にしてください（☞74ページ）。 「(画質/音質)」→「音質調整」→「TruSurround」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 「TruSurround」にしていると、番組によっては、音が聞こえにくかったり、消えてしまったりすることがあります。
二か国語が混じって録画機器に録音されていた。	● デジタル放送/ビデオ出力端子から録画機器に録画するときは、あらかじめ「(メニュー切換)」メニューで「二重音声設定」を行ってください（☞32ページ）。 「(メニュー切換)」→「各種設定」→「予約設定」→「二重音声設定」→「主」または「副」、「主/副」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 「主/副」を選んだ場合、録画機器で再生するときは録画機器のリモコンで聞きたい音声を選んでください。

番組表に表示されないチャンネルや番組がある

症状	対処のしかた
番組表に表示されないチャンネルがある。	● 番組表（☞24ページ）には各放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）の放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）ごとに番組が表示されます。
検索をしたときに表示される番組数が少ない。	● お買い上げ時または長時間本体の電源スイッチで主電源を切っていたときは、次に電源スイッチを押して主電源を入れたあと、番組表に表示される番組が少ないことがあります。本機では、主電源を切っているときは放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。
ジャンル検索した番組のジャンルが「番組説明」画面で表示されるジャンルと違っている。	●「番組説明」画面（☞27ページ）では、代表的なジャンルが1つしか表示されませんが、1つの番組が複数のジャンル情報を持っていることがあり、それぞれのジャンルで検索できるためです。

BSデジタル・110度CSデジタル番組の購入などができない

症状	対処のしかた
ペイ・パー・ビュー（PPV）が購入できない。	● 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください（☞90ページ）。 ● 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください（☞110ページ）。 ● 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 ● 番組の購入可能件数を越えると購入できなくなります。

電源/予約録画/録画ランプが緑色に点滅する/表示が消えない

症状	対処のしかた
電源/予約録画/録画ランプが緑色に点滅する。 または、「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」と表示される。	**衛星アンテナをつないでいるときは** ①89ページの内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。 ②表示が消えたときは、「BS/CS設定」メニューで「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてから、もう1度受信設定してください（☞105ページ）。 「(メニュー切換)」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナ設定」→「オート」または「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 **マンションなど共同受信システムのときは** ①89ページの手順1～2に従って操作し、手順3で「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください。 ②それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

予約について

症状	対処のしかた
予約した番組が録画・視聴できない	
録画予約した番組が録画されない。	● 本機と連動させせずに録画機器側の予約機能を使って予約したとき、録画機器側で予約を設定しましたか？（☞31ページ） ● 予約した番組の開始時刻が変わったとき、「予約設定」メニューの「流動編成・イベントリレー対応設定」が「しない」に設定されていると、正しく録画できません（☞32ページ）。番組の変更に合わせて録画するには、「流動編成・イベントリレー対応設定」を「する」に設定してください。 「▭（メニュー切換）」→「各種設定」→「予約設定」→「流動編成・イベントリレー対応設定」→「する」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ●「流動編成・イベントリレー対応設定」を「する」に設定すると、予約した番組の録画終了時刻が変更されて次の予約番組と重複したときに、次の番組の予約が自動的に取り消されます（☞32ページ）。 ● 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります（☞45ページ）。 ●「予約一覧－お知らせ」画面で、録画されなかった理由を確認してください（☞43ページ）。 ● 地上アナログはAVマウスやシンクロ録画機能を使って録画できません。お使いの録画機器の予約機能を使って録画してください。
AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。	● お使いの録画機器のメーカー名とリモコンコードが正しく入っていて、AVマウスで操作できるかを確認してください（☞34ページ）。 ● お使いの録画機器が、電源スイッチを押すたびに電源が入/切するタイプではなく、入→スタンバイ→切のように切り換わるタイプの場合は、正しく録画できないことがあります（☞34ページ）。 ● 予約後、開始時刻までに本体の電源スイッチで主電源を切っていると、電源が入らないため、録画が実行されません。 ● 予約の際、録画機器の電源を「切」にしましたか？（☞31ページ） ● 録画機器の入力切換は正しいですか？ ● ソニー製のDVDレコーダーやハードディスクレコーダー などで録画するときは、自動的に本機をつないだ入力に切り換わるように設定してください（☞34ページ）。 ● AVマウスの取り付け位置は正しいですか？（☞34ページ） ● 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの予約録画（☞30～42ページ）がうまくいかないことがあります。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
視聴予約した番組に切り換わらない。	● 予約開始時刻までに本機の電源を入れた状態にしておきましたか？ 視聴予約した番組は、電源スタンバイや主電源を切った状態のままだと、自動的に電源が入らないため、番組を見逃してしまいます（☞39ページ）。
予約録画した番組の再生した映像が映らない、乱れる。	●「予約一覧－お知らせ」画面で、録画時の状況を確認してください（☞43ページ）。

メニューやリモコンについて

症状	対処のしかた
メニューが選べない/表示が消えない	
メニューで選べない項目がある。	● 灰色で表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
設定したメニューの項目が正しく反映されていない。	● デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチで主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう1度設定し直してください。
「ICカードとのアクセスが成立しません　ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。	● B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないかを確かめてから、もう1度正しい向きで入れ直してください（☞83ページ）。 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞109ページ）。 ● B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のカスタマーセンター（☞109ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。 ● 付属のB-CASカード以外は使えません（☞83ページ）。
リモコンが働かない	
リモコンで本機を操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンを本機のリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部（☞156ページ）に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。
リモコンの①～⑫の数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）に切り換えましたか？（☞14、16ページ） ● 地上アナログの選局方法を「10キー」に設定していませんか？（☞15ページ） **10キー選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）に切り換えて、10キーを押しましたか？（☞16ページ） ● 地上アナログの選局方法を「ダイレクト」に設定していませんか？地上アナログ放送で10キー選局するときは、あらかじめ「地上アナログ設定」メニューで「選局」を「10キー」に切り換えてください（☞15ページ）。 「（設定）」→「地上アナログ設定」→「選局」→「10キー」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ● 地上デジタルのチャンネルでチャンネル番号に枝番があるときは、チャンネル番号を入力した後で、⑪を押してから枝番を入力してください（☞18ページ）。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫を押してください。 ● ①～⑩の数字ボタンに続けて⑫を押してください。

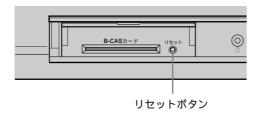
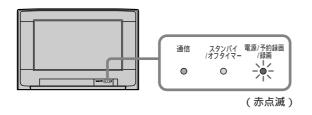
次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

リセットボタンについて

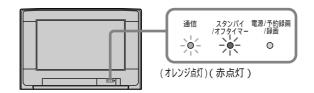
過大な静電気や落雷による電源電圧の異常により、まれに、本機が操作を受け付けなくなったり、映像や音声が正常に出なくなった場合は、ICカード挿入口近くにあるリセットボタンをペンの先などで1回押してください。
本機がリセットされて、正常に動作するようになります。
リセットボタンを押すと、リセットされるのに約15秒間かかります。
また、リセット後に異常が改善されず、かつ、以下の表示が出た場合はお買い上げ店またはソニーサービス窓口に、次のことをお知らせください。

- 本機前面の電源/予約録画/録画ランプが、同時に点滅した場合は、**点滅回数**
- 「デジタル自己診断メニュー」画面が表示された場合は、**緑色の数字**

本機前面
ICカード挿入口

電源スタンバイ中の動作について

電源スタンバイ中（スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯）、以下のデータを受信したときに、「カチッ」と音がして、本機前面の通信ランプが長時間にわたり点灯し続けることがあります。

- 放送局が送信する番組表などの番組情報データ取得中
- デジタル放送を正しく受信するためにデジタル放送から送られてくるデータの受信中および最新のソフトウェアのダウンロード中
- 放送局が送信する有料放送の契約・購入状況、双方向サービス情報の取得中

ダウンロード中/データ取得中の表示

通信ランプ点灯中は、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えを行っていますが、**受信するデータによっては数時間かかる**ことがあります。
データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、通信ランプも消灯します。

ダウンロードの流れについて

自動でデジタル放送からダウンロードする機能について

電源スタンバイ中（スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯）に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、デジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定（「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」）になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、デジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードを行わないように設定すると、デジタル放送を正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。
- 本体の電源スイッチを押して主電源を切ると、ダウンロードは行われません。

電源スタンバイ中に自動でダウンロードを行う

条件1 地上波アンテナまたは衛星アンテナの「現在の受信レベル」が「20」以上または、地上デジタル放送が安定して受信できている。

条件2 「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」の設定になっている。

条件1、2が満たされていないと、ダウンロードが正しく行われません。衛星アンテナのときはアンテナの向きを調整して、受信レベルを「20」以上にしてください。地上波アンテナのときはお買い上げ店にご相談ください。

アンテナの受信レベルを確認するには

「受信設定」メニューの「地上デジタルアンテナレベル」および「衛星アンテナレベル」画面に表示されます。

衛星アンテナのときは、20以上であれば、ダウンロードが正しく行われます。

「地上デジタルアンテナレベル」画面を表示するには

「(メニュー切換)」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「地上デジタルアンテナレベル」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

「衛星アンテナレベル」画面を表示するには

「(メニュー切換)」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナレベル」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ダウンロードが行われるときは

デジタル放送からソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信されてきたときは、次のような**「ダウンロードのお知らせ」**のメールが届きます。

文面は異なる場合があります。

「ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「(メニュー切換)」を選んで、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「お知らせ」を選んで、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「メール」を選んで、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で新しいメールを選んで、決定ボタンを押す。**
「ダウンロードのお知らせ」のときは、上記のような内容のメールが表示されます。

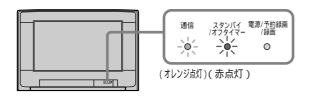
6 **メールを読んだあと、←/→で「閉じる」ボタンを選んで、決定ボタンを押す。**

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

次のページにつづく

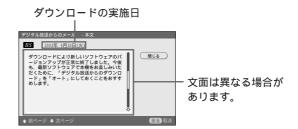
ダウンロードの流れについて（つづき）

ダウンロードの実行中は

ダウンロードは電源スタンバイ時（スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯）にのみ、自動的に行われます。
電源スタンバイ中、数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。書き換えは、30分前後かかります（内容により時間は異なります）。
また、ダウンロード中は、本機前面の通信ランプが点灯します。

ご注意

ダウンロード中は、本機の電源を入れたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

ダウンロードが正常に終了すると

「ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、そのかわりに、**「ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届きます。**

ちょっと一言

新しく「ダウンロードのお知らせ」のメールが送られてくると、「ダウンロード終了のお知らせ」のメールは、自動的に削除されます。

「ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届かないときは

まず、次のことをご確認ください。

- 地上デジタルが安定して受信できていますか？また、衛星アンテナの「現在の受信レベル」が「20」以上になっていますか？
- 電源スタンバイ状態になっていましたか？

それでも、メールが届かないときは、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口へご相談ください。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。
「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。
「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

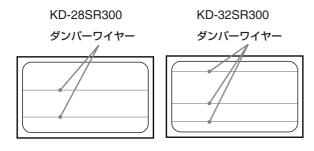
使用上のご注意

別冊の「安全のために」もあわせてご覧ください。

ブラウン管表面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブラウン管表面が汚れているときは、中性洗剤を水で薄め、メガネ拭きなどの柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。また、洗剤が残っているとしみなどの原因になることがありますので、最後に水を布に含ませ、固く絞って拭き取ってください。から拭きはおやめください。
- 塩素系や酸性、アルコール入り、研磨剤入りの洗剤も使わないでください。
- スプレー式の洗剤を直接ブラウン管に吹き付けないでください。本機の内部に洗剤液が入り故障の原因になったり、噴射剤に可燃性のガス成分が使われているときは、静電気による火花で稀に発火の原因になることがあります。
- 化学ぞうきんの使用は避けてください。
- ボールペンやドライバーなどの先の尖ったものでブラウン管面に触れたり、擦ったりしないでください。
- クリーニングクロスにごみが付着したまま強く拭くと、表面を傷つけることがありますのでご注意ください。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下の図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなうような技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： KD-28SR300、KD-32SR300
故障の状態： できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
地上デジタル放送方式
BSデジタル放送方式
110度CSデジタル放送方式

受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
地上アナログ：C13〜C38
地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル（テレビ、ラジオ、独立データ）の各チャンネル

BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数
1022〜2072 MHz

BSデジタル・110度CSデジタル対応ローカル周波数
10.678 GHz

ブラウン管*1　KD-28SR300：
FDトリニトロン102度偏向 28型
KD-32SR300：
FDトリニトロン102度偏向 32型

*1　テレビの型（28型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法　KD-28SR300：
57.5×32.4、66cm対角
KD-32SR300：
66.2×37.3、76cm対角
（幅×高さ、対角径）

使用スピーカー　フルレンジ 5.5×13cm（2）

音声出力　実用最大：
フルレンジ 7W＋7W（JEITA）
負荷インピーダンス 8Ω

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω
F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え）

ビデオ1、2、3入力端子
S1映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上

コンポーネント1、2入力端子
D4映像：
D端子
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上

AVマルチ入力端子　12ピン

デジタル放送/ビデオ出力端子
S1映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 –12dB時の数値です。

音声出力端子　2ch出力、ピンジャック
最大出力レベル 2.0 Vrms
出力インピーダンス 5 kΩ

ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス 16Ω以上

光デジタル音声出力端子
AAC/PCM対応

電話回線端子　モジュラージャック、直流抵抗値 221Ω

AVマウス端子　ミニジャック

電源部・その他

モデム通信速度　56kbps
消費電力　KD-28SR300：180W
KD-32SR300：185W
消費電力（リモコン待機時）：KD-28SR300、KD-32SR300共通です。
予約した録画の実行中：25W
電源スタンバイ中：0.4W
年間消費電力量*2　KD-28SR300：205kW/h年
KD-32SR300：210kW/h年

*2　年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　KD-28SR300
80.4×53.8×51.9cm
KD-32SR300
89.8×60.7×56.2cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　KD-28SR300：約47.9kg
KD-32SR300：約65.5kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品
- リモートコマンダーRM-J1005（1）
- 乾電池　単3形（2）
- VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル（1.5m）（1）
- AVマウス（1.5m）（1）
- テレホンコード（10m）（1）
- モジュラーテレホンコードカプラー（1）
- B-CASカード（デジタル放送用ICカード）とB-CAS用ユーザー登録はがき台紙（各1）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- ソニー用お客様ご登録カード（1）
- 安全のために（1）
- 安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

2004年8月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド　KD-28SR300：SU-B28HR
KD-32SR300：SU-B32HR
ステレオヘッドホン　MDR-AV305
接続ケーブルなど　VM-50（AVマウス）
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
衛星アンテナなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- RSAロゴは、米国RSA Security, Inc の登録商標です。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- Licensed AAC Patents
Pat. 5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189 5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962 5,274,740 5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671 07/640,550 5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087 5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574 5,717,821
- 本機は電気通信事業法第50号第1項の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	KD-28SR300、KD-32SR300
認証番号	A04-0337001

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル（☞107ページ）
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース（飛び越し走査）（☞10ページ）
走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。
本機のDRC-MFモード切換ボタンで選べる「DRC4倍密（標準）モード」は、走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にして、1フィールド目で走査線の525本全部（本来の1フレーム分）を1/60秒で描き、次のフィールドは、1フィールド目の間を525本で飛び越し走査します。

カ行

緊急警報放送（☞47ページ）
地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ（CATV）（☞99、103ページ）
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送（☞47ページ）
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

サ行

三次元Y/C分離回路
本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

識別制御信号（☞72ページ）
識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
– 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS1方式）
– D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

字幕放送（☞49ページ）
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

走査線（☞10ページ）
テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

地上デジタル
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタル・リアリティー・クリエーション：マルチファンクション（DRC-MF）（☞66ページ）
地上アナログやビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になります。また、映像によって、通常のNTSC映像の4倍の情報量で映し出す「DRC4倍密（標準）モード」と、順次走査を行い、チラツキを抑えた映像にする「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルCS放送（☞9、132ページ）
110度CSデジタル放送ではなく、SKY PerfecTV!のことです。
通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

デジタルハイビジョン信号HD（☞10ページ）
デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

ハイビジョン放送（☞123ページ）
BSアナログでのBS9チャンネル（NHKハイビジョン）の放送です。BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン信号HDではありません。

ビスタビジョン（☞71ページ）
画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

標準テレビ信号SD（☞10ページ）
デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

プログレッシブ（順次走査）
（☞10ページ）
飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。
本機のDRC-MFモード切換ボタンで選べる「DRCプログレッシブモード」は、走査線525本の順次走査を行い、静止画の文字やグラフィック、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた映像にします。

マ行

マルチチャンネル放送（☞47ページ）
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する場合と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う場合があります。

マルチビュー放送（☞47、48ページ）
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像切換ボタンで切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数（☞10ページ）
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。地上アナログでは、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログのハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号HDでは、1125本中1080本となっています。
なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ行

臨時放送（☞47ページ）
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送
（☞8、16ページ）
2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

AAC（☞77、136ページ）
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）（☞83ページ）
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BSデジタル放送（☞8、16ページ）
2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

D端子（☞123ページ）
デジタルCS放送やDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどのD端子と、1本の映像信号ケーブルで簡単に接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD4入力端子が付いてます。
- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

EPG（☞24ページ）
「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、デジタル放送の放送局から送信される番組表（タイトルや番組説明、放映時間など）のことです。

ID-1方式（ビデオID-1システム）
（☞71ページ）
ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。
本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1〜3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

PCM（☞77、136ページ）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション（Pulse Code Modulation）」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

PPV（ペイ・パー・ビュー）
（☞50ページ）
「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する番組のことです。

S1映像端子（S1方式）
（☞71、124、127ページ）
S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像を、自動的に「フル」モードに戻す識別制御信号が入っています。
本機はS1方式に対応しています。
S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部のなまえ/

Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel

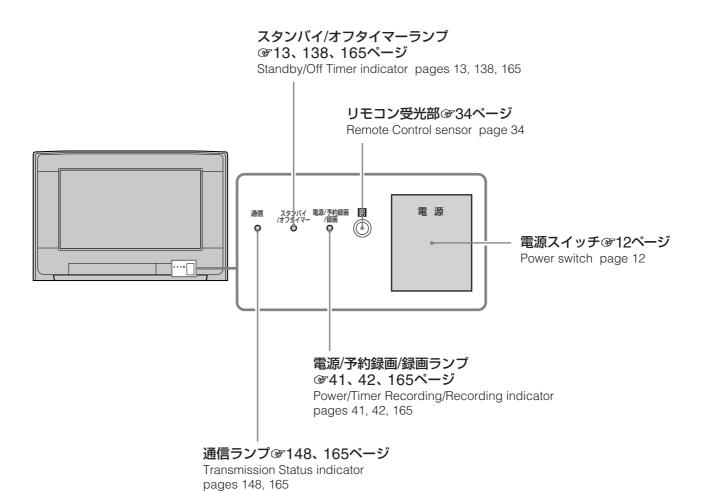
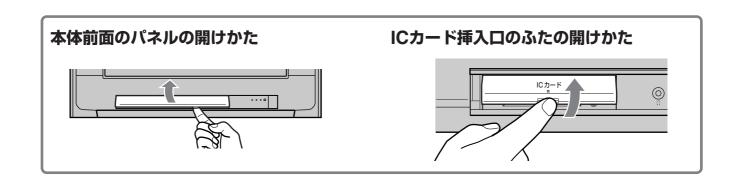
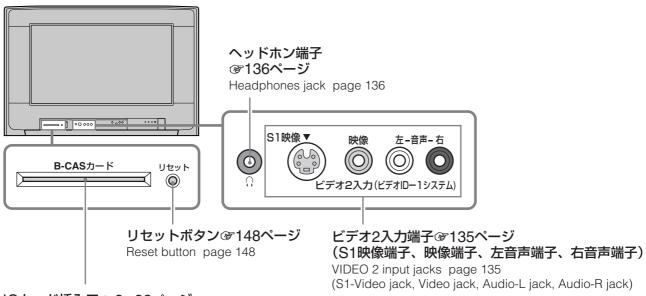
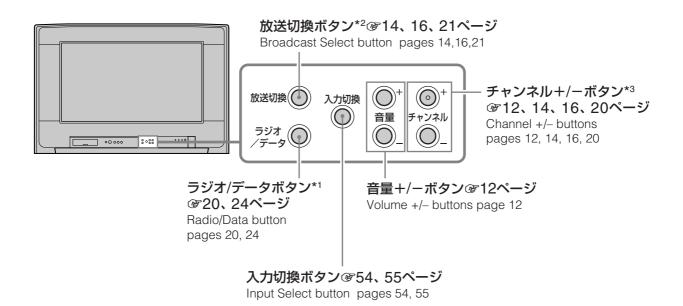
リモコンにある同名のボタンと、同じ働きをします。

スタンバイ/オフタイマーランプ
☞13、138、165ページ
Standby/Off Timer indicator pages 13, 138, 165

リモコン受光部☞34ページ
Remote Control sensor page 34

電源スイッチ☞12ページ
Power switch page 12

電源/予約録画/録画ランプ
☞41、42、165ページ
Power/Timer Recording/Recording indicator
pages 41, 42, 165

通信ランプ☞148、165ページ
Transmission Status indicator
pages 148, 165

ICカード挿入口☞2、83ページ
BS Conditional Access System Card Slot
pages 2, 83

*1 ラジオ/データボタンをくり返し押すと、見ている放送の放送サービスを切り換えられます。

テレビ → ラジオ → データ
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿|

*2 放送切換ボタンをくり返し押すと、次のように切り換えられます。

地上アナログ → 地上デジタル
↑　　　　　　　　　　　　↓
CS2 ← CS1 ← BSデジタル

ちょっと一言

*3 チャンネル＋ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

各部のなまえ/Identifying parts and controls（つづき）

リモコン/Remote Control

ちょっと一言
*の付いたボタン（数字ボタン の「5」、音声切換ボタン、チャンネル＋ボタン）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

ふたを開けたところ
予約一覧ボタン☞43ページ
Reservation List button page 43
映像切換ボタン☞48ページ
Video Select button page 48
字幕ボタン☞49ページ
Subtitles button page 49
ラジオ/データボタン
☞20、24ページ
Radio/Data Select button
pages 20, 24
10キーボタン☞16ページ
10 Key button page 16
デジタル放送切換ボタン
☞16、20、24、26ページ
地上デジタルボタン
BSボタン
CSボタン
Broadcast Select buttons
pages 16, 20, 24, 26
Digital Terrestrial Broadcasting
Select button
BS Select button
CS Select button
番組説明ボタン☞27ページ
Program Explanation button
page 27
番組表ボタン☞24ページ
TV Program button page 24
他機器選択ボタン☞57ページ
VTRボタン
DVDボタン
Equipment Select buttons
pages 57
VTR button
DVD button
他機器操作ボタン☞57ページ
Equipment Operation buttons page 57
青/赤/緑/黄ボタン☞22ページ
Blue/Red/Green/Yellow buttons page 22
番組検索ボタン☞26ページ
Program Search button
page 26
d（連動データ）ボタン☞22ページ
Linkage Data button page 22
消音
画面表示
音声切換
電源
SONY
デジタルテレビ

その他

地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表

リモコンの数字ボタンでダイレクト選局できる各地域の地上デジタルの放送局は下記のとおりです。

102ページの「準備8：地上デジタル放送の設定をする」でチャンネルの自動設定を行うと、お住まいの地域で見ることができる地上デジタルのチャンネルが、リモコンの①〜⑫選局の数字ボタンに自動的に割り当てられます。また、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。このときはダイレクト選局ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の番号として割り当てます。

都道府県名	放送局名	ダイレクト選局ボタン
北海道（帯広）	ＮＨＫ総合・帯広	③
	ＮＨＫ教育・帯広	②
	ＨＢＣ帯広	①
	ＳＴＶ帯広	⑤
	ＨＴＢ帯広	⑥
	ＵＨＢ帯広	⑧
	ＴＶＨ帯広	⑦
北海道（釧路）	ＮＨＫ総合・釧路	③
	ＮＨＫ教育・釧路	②
	ＨＢＣ釧路	①
	ＳＴＶ釧路	⑤
	ＨＴＢ釧路	⑥
	ＵＨＢ釧路	⑧
	ＴＶＨ釧路	⑦
北海道（北見）	ＮＨＫ総合・北見	③
	ＮＨＫ教育・北見	②
	ＨＢＣ北見	①
	ＳＴＶ北見	⑤
	ＨＴＢ北見	⑥
	ＵＨＢ北見	⑧
	ＴＶＨ北見	⑦
北海道（旭川）	ＮＨＫ総合・旭川	③
	ＮＨＫ教育・旭川	②
	ＨＢＣ旭川	①
	ＳＴＶ旭川	⑤
	ＨＴＢ旭川	⑥
	ＵＨＢ旭川	⑧
	ＴＶＨ旭川	⑦
北海道（札幌）	ＮＨＫ総合・札幌	③
	ＮＨＫ教育・札幌	②
	ＨＢＣ札幌	①
	ＳＴＶ札幌	⑤
	ＨＴＢ札幌	⑥
	ＵＨＢ札幌	⑧
	ＴＶＨ札幌	⑦
北海道（函館）	ＮＨＫ総合・函館	③
	ＮＨＫ教育・函館	②
	ＨＢＣ函館	①
	ＳＴＶ函館	⑤
	ＨＴＢ函館	⑥
	ＵＨＢ函館	⑧
	ＴＶＨ函館	⑦
北海道（室蘭）	ＮＨＫ総合・室蘭	③
	ＮＨＫ教育・室蘭	②
	ＨＢＣ室蘭	①
	ＳＴＶ室蘭	⑤
	ＨＴＢ室蘭	⑥
	ＵＨＢ室蘭	⑧
	ＴＶＨ室蘭	⑦

都道府県名	放送局名	ダイレクト選局ボタン
青森	ＮＨＫ総合・青森	③
	ＮＨＫ教育・青森	②
	ＲＡＢ青森放送	①
	ＡＴＶ青森テレビ	⑥
	青森朝日放送	⑤
岩手	ＮＨＫ総合・盛岡	①
	ＮＨＫ教育・盛岡	②
	ＩＢＣテレビ	⑥
	テレビ岩手	④
	めんこいテレビ	⑧
	岩手朝日テレビ	⑤
宮城	ＮＨＫ総合・仙台	③
	ＮＨＫ教育・仙台	②
	ＴＢＣテレビ	①
	仙台放送	⑧
	ミヤギテレビ	④
	ＫＨＢ東日本放送	⑤
秋田	ＮＨＫ総合・秋田	①
	ＮＨＫ教育・秋田	②
	ＡＢＳ秋田放送	④
	ＡＫＴ秋田テレビ	⑧
	ＡＡＢ秋田朝日放送	⑤
山形	ＮＨＫ総合・山形	①
	ＮＨＫ教育・山形	②
	ＹＢＣ山形放送	④
	ＹＴＳ山形テレビ	⑤
	テレビユー山形	⑥
	さくらんぼテレビ	⑧
福島	ＮＨＫ総合・福島	①
	ＮＨＫ教育・福島	②
	福島テレビ	⑧
	福島中央テレビ	④
	ＫＦＢ福島放送	⑤
	テレビユー福島	⑥
茨城	ＮＨＫ総合・水戸	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	放送大学	⑫
栃木	ＮＨＫ総合・東京	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	とちぎテレビ	③
	放送大学	⑫

都道府県名	放送局名	ダイレクト選局ボタン
群馬	ＮＨＫ総合・東京	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	群馬テレビ	③
	放送大学	⑫
埼玉	ＮＨＫ総合・東京	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	テレビ埼玉	③
	放送大学	⑫
千葉	ＮＨＫ総合・東京	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	ちばテレビ	③
	放送大学	⑫
東京	ＮＨＫ総合・東京	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	東京ＭＸテレビ	⑨
	放送大学	⑫
神奈川	ＮＨＫ総合・東京	①
	ＮＨＫ教育・東京	②
	日本テレビ	④
	ＴＢＳ	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	ＴＶＫテレビ	③
	放送大学	⑫
新潟	ＮＨＫ総合・新潟	①
	ＮＨＫ教育・新潟	②
	ＢＳＮ	⑥
	ＮＳＴ	⑧
	ＴｅＮＹテレビ新潟	④
	新潟テレビ21	⑤

都道府県名	放送局名	ダイレクト選局ボタン
富山	ＮＨＫ総合・富山	③
	ＮＨＫ教育・富山	②
	ＫＮＢ北日本放送	①
	ＢＢＴ富山テレビ	⑧
	チューリップテレビ	⑥
石川	ＮＨＫ総合・金沢	①
	ＮＨＫ教育・金沢	②
	テレビ金沢	④
	北陸朝日放送	⑤
	ＭＲＯ	⑥
	石川テレビ	⑧
福井	ＮＨＫ総合・福井	①
	ＮＨＫ教育・福井	②
	ＦＢＣテレビ	⑦
	福井テレビ	⑧
山梨	ＮＨＫ総合・甲府	①
	ＮＨＫ教育・甲府	②
	ＹＢＳ山梨放送	④
	ＵＴＹ	⑥
長野	ＮＨＫ総合・長野	①
	ＮＨＫ教育・長野	②
	テレビ信州	④
	ＡＢＮ長野朝日放送	⑤
	ＳＢＣ信越放送	⑥
	ＮＢＳ長野放送	⑧
静岡	ＮＨＫ総合・静岡	①
	ＮＨＫ教育・静岡	②
	ＳＢＳ	⑥
	テレビ静岡	⑧
	静岡第一テレビ	④
	静岡朝日テレビ	⑤
岐阜	ＮＨＫ総合・岐阜	③
	ＮＨＫ教育・名古屋	②
	東海テレビ	①
	ＣＢＣ	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	岐阜テレビ	⑧
愛知	ＮＨＫ総合・名古屋	③
	ＮＨＫ教育・名古屋	②
	東海テレビ	①
	ＣＢＣ	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ愛知	⑩
三重	ＮＨＫ総合・津	③
	ＮＨＫ教育・名古屋	②
	東海テレビ	①
	ＣＢＣ	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	三重テレビ	⑦
滋賀	ＮＨＫ総合・大津	①
	ＮＨＫ教育・大阪	②
	ＭＢＳ毎日放送	④
	ＡＢＣテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	ＢＢＣびわ湖放送	③
京都	ＮＨＫ総合・京都	①
	ＮＨＫ教育・大阪	②
	ＭＢＳ毎日放送	④
	ＡＢＣテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	ＫＢＳ京都	⑤
大阪	ＮＨＫ総合・大阪	①
	ＮＨＫ教育・大阪	②
	ＭＢＳ毎日放送	④
	ＡＢＣテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ大阪	⑦
兵庫	ＮＨＫ総合・神戸	①
	ＮＨＫ教育・大阪	②
	ＭＢＳ毎日放送	④
	ＡＢＣテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	サンテレビ	③
奈良	ＮＨＫ総合・奈良	①
	ＮＨＫ教育・大阪	②
	ＭＢＳ毎日放送	④
	ＡＢＣテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	奈良テレビ	⑨
和歌山	ＮＨＫ総合・和歌山	①
	ＮＨＫ教育・大阪	②
	ＭＢＳ毎日放送	④
	ＡＢＣテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ和歌山	⑤
鳥取	ＮＨＫ総合・鳥取	③
	ＮＨＫ教育・鳥取	②
	山陰中央テレビ	⑧
	ＢＳＳテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
島根	ＮＨＫ総合・松江	③
	ＮＨＫ教育・松江	②
	山陰中央テレビ	⑧
	ＢＳＳテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
岡山	ＮＨＫ総合・岡山	①
	ＮＨＫ教育・岡山	②
	ＲＮＣ西日本テレビ	④
	ＫＳＢ瀬戸内海放送	⑤
	ＲＳＫテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	ＯＨＫテレビ	⑧
広島	ＮＨＫ総合・広島	①
	ＮＨＫ教育・広島	②
	ＲＣＣテレビ	③
	広島テレビ	④
	広島ホームテレビ	⑤
	ＴＳＳ	⑧
山口	ＮＨＫ総合・山口	①
	ＮＨＫ教育・山口	②
	ＫＲＹ山口放送	④
	ＴＹＳテレビ山口	③
	ＹＡＢ山口朝日	⑤
徳島	ＮＨＫ総合・徳島	③
	ＮＨＫ教育・徳島	②
	四国放送	①
香川	ＮＨＫ総合・高松	①
	ＮＨＫ教育・高松	②
	ＲＮＣ西日本テレビ	④
	ＫＳＢ瀬戸内海放送	⑤
	ＲＳＫテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	ＯＨＫテレビ	⑧
愛媛	ＮＨＫ総合・松山	①
	ＮＨＫ教育・松山	②
	南海放送	④
	愛媛朝日	⑤
	あいテレビ	⑥
	テレビ愛媛	⑧
高知	ＮＨＫ総合・高知	①
	ＮＨＫ教育・高知	②
	高知放送	④
	テレビ高知	⑥
	さんさんテレビ	⑧
福岡	ＮＨＫ総合・福岡 ＮＨＫ総合・北九州	③
	ＮＨＫ教育・福岡 ＮＨＫ教育・北九州	②
	ＫＢＣ九州朝日放送	①
	ＲＫＢ毎日放送	④
	ＦＢＳ福岡放送	⑤
	ＴＶＱ九州放送	⑦
	ＴＮＣテレビ西日本	⑧
佐賀	ＮＨＫ総合・佐賀	①
	ＮＨＫ教育・佐賀	②
	ＳＴＳサガテレビ	③
長崎	ＮＨＫ総合・長崎	①
	ＮＨＫ教育・長崎	②
	ＮＢＣ長崎放送	③
	ＫＴＮテレビ長崎	⑧
	ＮＣＣ長崎文化放送	⑤
	ＮＩＢ長崎国際テレビ	④
熊本	ＮＨＫ総合・熊本	①
	ＮＨＫ教育・熊本	②
	ＲＫＫ熊本放送	③
	ＴＫＵテレビ熊本	⑧
	ＫＫＴくまもと県民	④
	ＫＡＢ熊本朝日放送	⑤
大分	ＮＨＫ総合・大分	①
	ＮＨＫ教育・大分	②
	ＯＢＳ大分放送	③
	ＴＯＳテレビ大分	④
	ＯＡＢ大分朝日放送	⑤
宮崎	ＮＨＫ総合・宮崎	①
	ＮＨＫ教育・宮崎	②
	ＭＲＴ宮崎放送	⑥
	ＵＭＫテレビ宮崎	③
鹿児島	ＮＨＫ総合・鹿児島	③
	ＮＨＫ教育・鹿児島	②
	ＭＢＣ南日本放送	①
	ＫＴＳ鹿児島テレビ	⑧
	ＫＫＢ鹿児島放送	⑤
	ＫＹＴ鹿児島読売テレビ	④
沖縄	ＮＨＫ総合・那覇	①
	ＮＨＫ教育・那覇	②
	ＲＢＣテレビ	③
	ＱＡＢ琉球朝日放送	⑤
	沖縄テレビ（ＯＴＶ）	⑧

ちょっと一言

放送局名は2004年8月現在のものです。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

次のページにつづく

索引
（つづき）

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

本機の状態を示す前面ランプについて

ランプの点灯、点滅のしかたによって本機の状態がわかります。

消灯

通信	スタンバイ/オフタイマー	電源/予約録画/録画	状態
○	○	○	主電源「切」

点灯

通信	スタンバイ/オフタイマー	電源/予約録画/録画	状態
○	○	緑	電源「入」
○	赤	○	電源スタンバイ
○	赤	緑	オフタイマー「入」☞13ページ
オレンジ	赤	○	ダウンロード中/データ取得中 ☞148ページ
○	○	オレンジ	予約録画待機中 ☞38、41ページ — 電源「入」時 —
○	赤	オレンジ	予約録画待機中 ☞38、41ページ — 電源スタンバイ時 —
オレンジ	○	緑	通信中 ☞148ページ
○	○	赤	予約した録画の実行中 ☞39、41ページ — 電源「入」時 —
○	赤	赤	予約した録画の実行中 ☞39、41ページ — 電源スタンバイ時 —

点滅

通信	スタンバイ/オフタイマー	電源/予約録画/録画	状態
○	○	緑	衛星アンテナ電源のショートなど ☞89ページ
○	赤	○	自己診断表示 ☞138ページ

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Malaysia

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。